

平成 25 年度

# 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

---

報告書

# 目次

調査概要	1
調査結果	6
I. 白もの牛乳類の飲用実態	7
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(1) 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度	9
(3) 他のものと混ぜて飲む頻度	10
(4) 季節による変動	11
2. 白もの牛乳類の飲用量	13
3. 白もの牛乳類の飲用シーン	16
4. 白もの牛乳類の飲用理由	18
II. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	20
1. 飲み方別飲用量の増減	20
(1) そのまま飲む量の増減	20
(2) 混ぜて飲む量の増減	21
(3) 全体での増減	22
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因	25
3. 白もの牛乳類の飲用意向	27
III. 白もの牛乳類の購入実態	29
1. 白もの牛乳類の購入頻度	29
2. 白もの牛乳類の購入量	31
3. 白もの牛乳類を購入する人	32
4. 白もの牛乳類の買い方の変化	33
5. 主に購入している白もの牛乳類	34
6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由	35
7. 平成25年10月からの牛乳販売価格の値上げについて	36
IV. 普段よく飲む飲み物	38
1. 普段よく飲む飲み物	38
2. 普段もっともよく飲む飲み物	39
V. 白もの牛乳類を使った料理の実態	41
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動	41
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理	46
VI. 乳製品の飲食実態	47
1. ヨーグルトの飲食状況	47
(1) ヨーグルトの飲食頻度	47
(2) ヨーグルトの食用量	48
(3) ヨーグルトのタイプ	49
2. チーズの食用状況	51
(1) チーズを食べる頻度	51
(2) チーズを食べる量	52
(3) チーズ料理	53
(4) チーズを購入する人	56
(5) 購入するチーズのタイプ	57
(6) ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況	58
(7) 普段チーズを購入する時に意識すること	60
VII. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識	64
1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識	64
2. 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィット	65
3. 白もの牛乳類についてのニーズ	66
VIII. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向	68
調査票、参考資料	72

## 調査概要

# 調査概要

## 1. 調査目的

近年の飲用牛乳などの消費が減少していることを踏まえ、酪農・乳業の安定的発展を図る観点から、飲用牛乳を中心とした消費拡大を推進することが必要である。

このため、全国（沖縄県を除く）の中学生から後期高齢者までの消費者を対象としてアンケート調査を実施し、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好などに関する基本的な調査項目について、地域・年代などに偏りが生じないよう調査設計した

上で、消費構造の変化や消費動向を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取組みなどに役立つ情報を得ることとする。

調査結果については、基本的な調査項目に関してクロス集計、時系列集計などを用いて考察する。また、直近10年間（平成16年度～）のデータ（過去データは、機構から提供）と併せ、これからの我が国の人口動向、諸外国の消費動向などを考慮した上で、今後10年程度の牛乳・乳製品の長期的な消費動向などについて簡易に見通すとともに、誰がいつどのような食べ方で牛乳・乳製品を消費し、牛乳を飲まない人を含め、どのようにすれば牛乳・乳製品の消費拡大につながるかなどについて明らかにすることとする。

## 2. 調査方法

■留置併用訪問面接法により、本人が調査票に回答

## 3. 調査内容

- (1) 白もの牛乳類の飲用実態
- (2) この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化
- (3) 白もの牛乳類の購入実態
- (4) 好きな飲み物（嗜好性）
- (5) 乳製品の飲食実態
- (6) 白もの牛乳類に対する栄養意識・認識

## 4. 調査対象者

■全国の中学生以上の男女個人3200人（回収ベース）

## 5. 抽出方法(エリアサンプリング)

■平成22年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9分類）と都市規模（5分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当てに従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出した。

## 6. サンプル設計について

■消費動向調査では、平成19年度（2007年度）まで、地域（9分類）・都市規模（5分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

平成20年度（2008年度）から、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施している。

## 7. ウェイト集計の実施

■本年度調査では、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成22年国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

## 8. 調査地域

■回収サンプルの地域別内訳は下記の通り（沖縄除く）。

【地域】	地域	回収数	構成比 (%)
	北海道	128	4.0
	東北	211	6.6
	関東	1,246	38.9
	東海	384	12.0
	北陸	80	2.5
	近畿	550	17.2
	中国	193	6.0
	四国	96	3.0
	九州	312	9.8
	計	3,200	100.0

【都市規模】	都市規模	回収数	構成比 (%)
	大都市	1,014	31.7
	15万人以上	1,081	33.8
	5～15万人未満	865	27.0
	5万人未満の市	240	7.5
	計	3,200	100.0

## 9. 調査期間

■平成25年（2013年）11月1日～11月30日

## 10. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

■この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

■択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。

■「SA」の表記は単一回答、「MA」の表記は複数回答、「n」はサンプル数を示す。

■表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

■なお、図表および本文中の年度表記は西暦とした。

## 11. 回答者プロフィール

【性別（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	1,600	50.0
2	女性	1,600	50.0
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【年齢（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	12～15歳	400	4.2
2	16～19歳	400	4.3
3	20～24歳	172	5.5
4	25～29歳	228	6.3
5	30～34歳	150	7.2
6	35～39歳	250	8.6
7	40～44歳	191	7.6
8	45～49歳	209	7.0
9	50～54歳	178	6.7
10	55～59歳	222	7.7
11	60～64歳	209	8.9
12	65～69歳	191	7.3
13	70歳以上	400	18.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【未婚（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	未婚	1,236	23.4
2	既婚	1,889	73.7
3	その他	75	2.9
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【子供の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	子供はいる	1,782	69.5
2	子供はいない	1,411	30.3
	不明	7	0.2
	全体	3,200	100.0

【職業（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林漁業	33	1.3
2	商工サービス業	189	7.3
3	自由業	60	2.3
4	内職	6	0.2
5	管理職	94	3.4
6	専門・技術職	290	10.2
7	事務職	202	7.2
8	労務職	161	5.8
9	販売・サービス職	204	7.2
10	パート・アルバイト	342	12.3
11	専業主婦	484	19.3
12	中学生	400	4.2
13	高校生	275	2.9
14	中高生以外の学生	160	3.2
15	無職	298	12.9
	不明	2	0.1
	全体	3,200	100.0

【学校や職場の給食・食堂の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	給食がある	354	7.7
2	給食はないが、食堂を利用	389	13.5
3	どちらも無い	1,643	77.4
	不明	24	1.3
	非該当	790	
	全体	2,410	100.0

【同居家族人数（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人（ひとり暮らし）	203	7.4
2	2人	660	26.1
3	3人	665	21.3
4	4人	963	26.0
5	5人	452	12.0
6	6人	193	5.4
7	7人以上	64	1.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【回答者の調理等の役割（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	料理する	1,018	41.8
2	食料品の買物をする	1,023	41.5
3	どちらもしていない	1,825	52.3
	不明	6	0.2
	非該当	203	
	全体	2,997	100.0

【家族構成（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	夫婦2人	544	23.9
2	二世帯世帯	1,985	60.5
3	三世帯世帯	445	14.8
4	その他	22	0.8
	不明	1	0.0
	非該当	203	
	全体	2,997	100.0

【同居家族する子供（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	乳児・幼児	380	18.5
2	小学生	637	25.2
3	中学生	431	15.2
4	高校生	431	15.3
5	大学・短大・専門学校生	295	11.2
6	この中にはいない	877	39.8
	不明	5	0.2
	非該当	748	
	全体	2,452	100.0

## 12. 主な分析軸

【性別、性年代別、地域別】

		カテゴリー名	n	%
性別	男性		1,600	50.1
	女性		1,600	49.9
男性×年代	男性-中学生		200	2.1
	男性-10代(中学生除く)		200	2.1
	男性-20代		200	5.9
	男性-30代		200	8.0
	男性-40代		200	7.4
	男性-50代		200	7.2
	男性-60代		200	8.1
	男性-70代以上		200	9.3
女性×年代	女性-中学生		200	2.1
	女性-10代(中学生除く)		200	2.1
	女性-20代		200	5.8
	女性-30代		200	7.8
	女性-40代		200	7.3
	女性-50代		200	7.2
	女性-60代		200	8.1
	女性-70代以上		200	9.3
地域別	北海道		128	4.0
	東北		211	6.6
	関東		1,246	39.1
	東海		384	11.9
	北陸		80	2.5
	近畿		550	17.1
	中国		193	6.0
	四国		96	3.0
	九州		312	9.8
	不明		0	0.0
		全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用頻度】

No.	カテゴリー名	n	%	
1	飲用者・計	2,733	84.2	
2	毎日飲用	1,068	33.4	
3	週1～6日飲用	1,199	36.0	
4	月に2～3日以下飲用	466	14.7	
5	非飲用者	467	15.8	
	不明	0	0.0	
		全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用量増減】

No.	カテゴリー名	n	%	
1	この1年間に飲用量増加計	250	6.8	
2	この1年間に飲用量変化なし	2,163	67.6	
3	この1年間に飲用量減少計	350	10.5	
4	牛乳は元々飲まない	437	15.0	
	不明	0	0.0	
		全体	3,200	100.0

## 調查結果



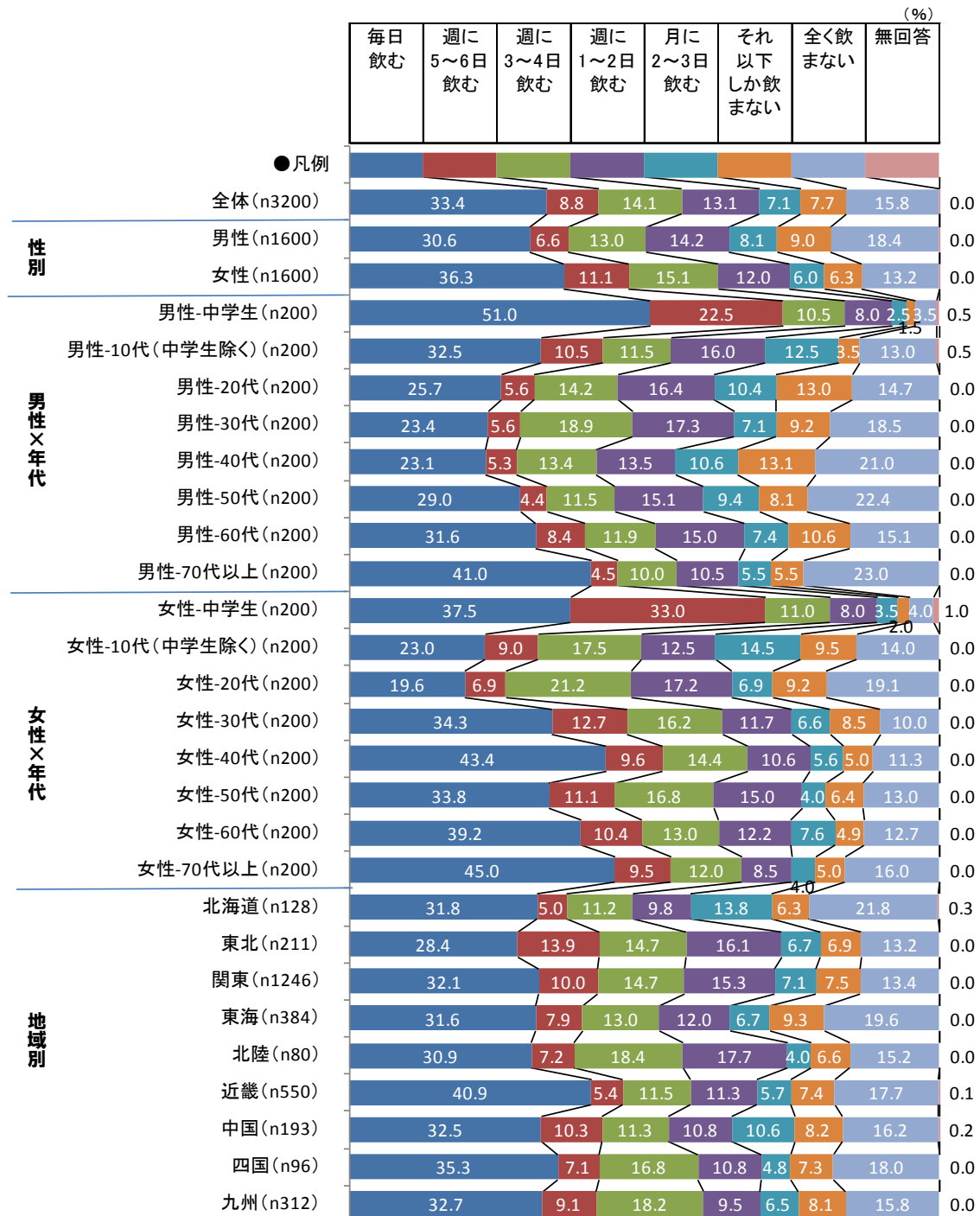
# I. 白もの牛乳類の飲用実態

## 1. 白もの牛乳類の飲用頻度

### (1) 白もの牛乳類の飲用頻度

- コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は全体で33%となり、一方で「まったく飲まない」は16%であった。性別では、女性が「毎日飲む」で36%となり、男性よりも6ポイント高い。性年代別では、男子中学生が51%と最も高い結果となった。その他、女性30代以上は「毎日飲む」が30%以上と高いが、男性は20~40代で2割台と低くなっている。地域別では、「毎日飲む」で近畿が41%と最も高い。

【図表 I-1-1】 性・年代別・地域別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度 (SA)



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

■白もの牛乳類の飲用頻度の時系列変化を見ると、2013年度の平均(日/週)は、昨年度と同様の3.6日となった。  
白もの牛乳類の飲用機会は、依然として少ない状況にある。

【図表 I-1-2】時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)

										(%)
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
2013年	3,200	33.4	8.8	14.1	13.1	7.1	7.7	15.8	0.0	3.6
2012年	3,200	35.4	7.5	14.8	11.8	8.2	6.5	15.8	0.0	3.6
2011年	3,200	35.3	8.6	12.8	13.7	6.8	7.0	15.8	0.0	3.6
2010年	3,200	35.8	9.4	11.7	12.7	9.2	8.0	13.3	0.0	3.7
2009年	3,200	37.9	7.5	13.7	12.3	8.6	7.4	12.6	0.0	3.8
2008年	3,200	36.9	9.3	13.6	12.9	8.2	7.1	12.0	0.0	3.8
2007年	3,486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2006年	3,478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3,896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4,177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4,177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4,778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4,632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4,476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4,472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4,547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4,706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4,668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4,617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4,553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4,651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4,714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4,691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4,579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4,604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4,664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

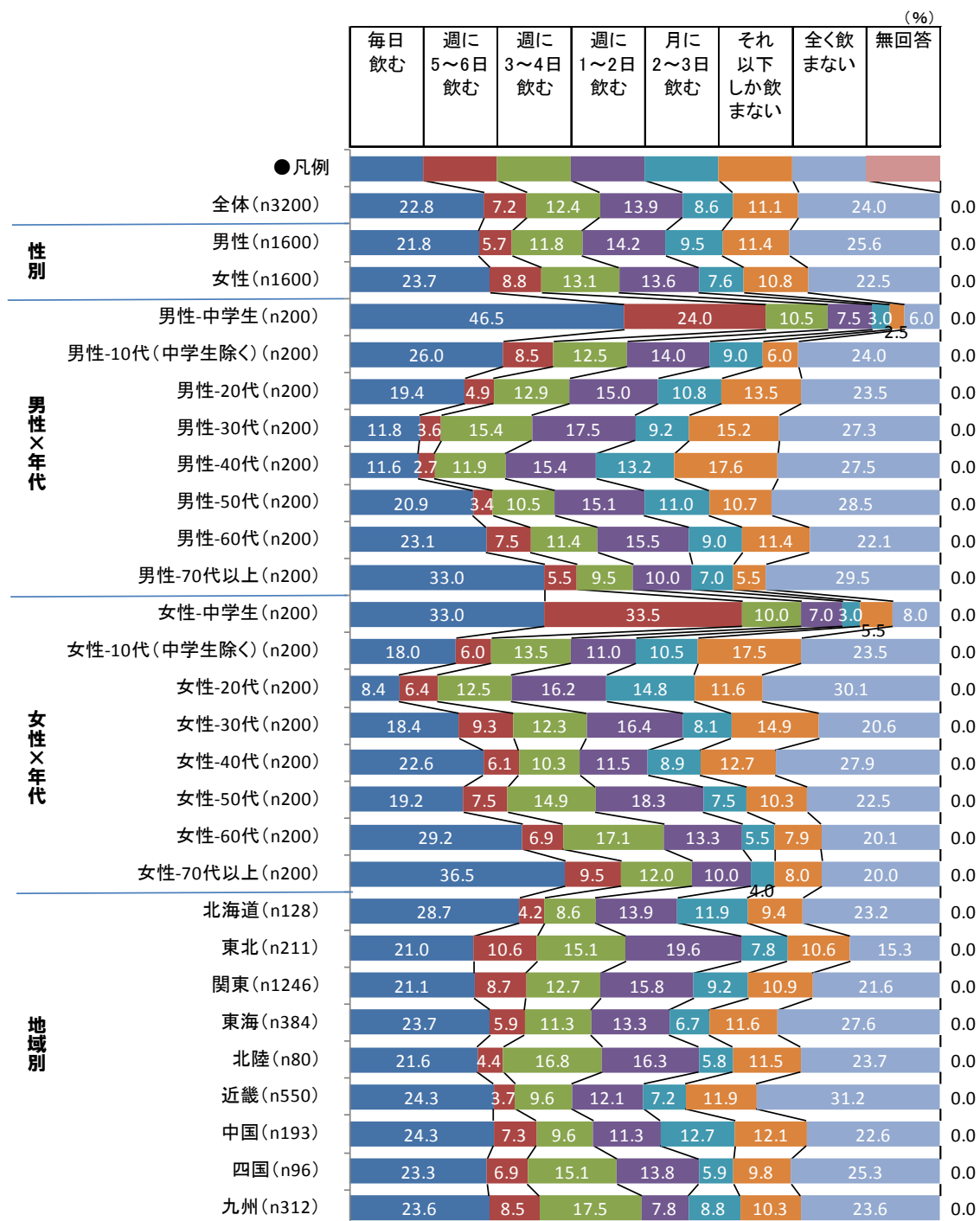
※斜線はデータなし

\* 87～01年は「月に数回飲む」

## (2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

- そのまま飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」人は全体の23%である。一方で、「全く飲まない」という人も同程度の24%を占めた。
- 性別では「毎日飲む」は、男女ともに大きな差異は見られない。
- 性年代別では、男女中学生は「毎日飲む」割合が高い（男子中学生は47%、女子中学生は33%）。また、女性は、年齢の上昇と共に「毎日飲む」割合も高くなる傾向が顕著であり、女性70代以上は37%となった。
- 地域別では、「毎日飲む」で北海道が目立っている。

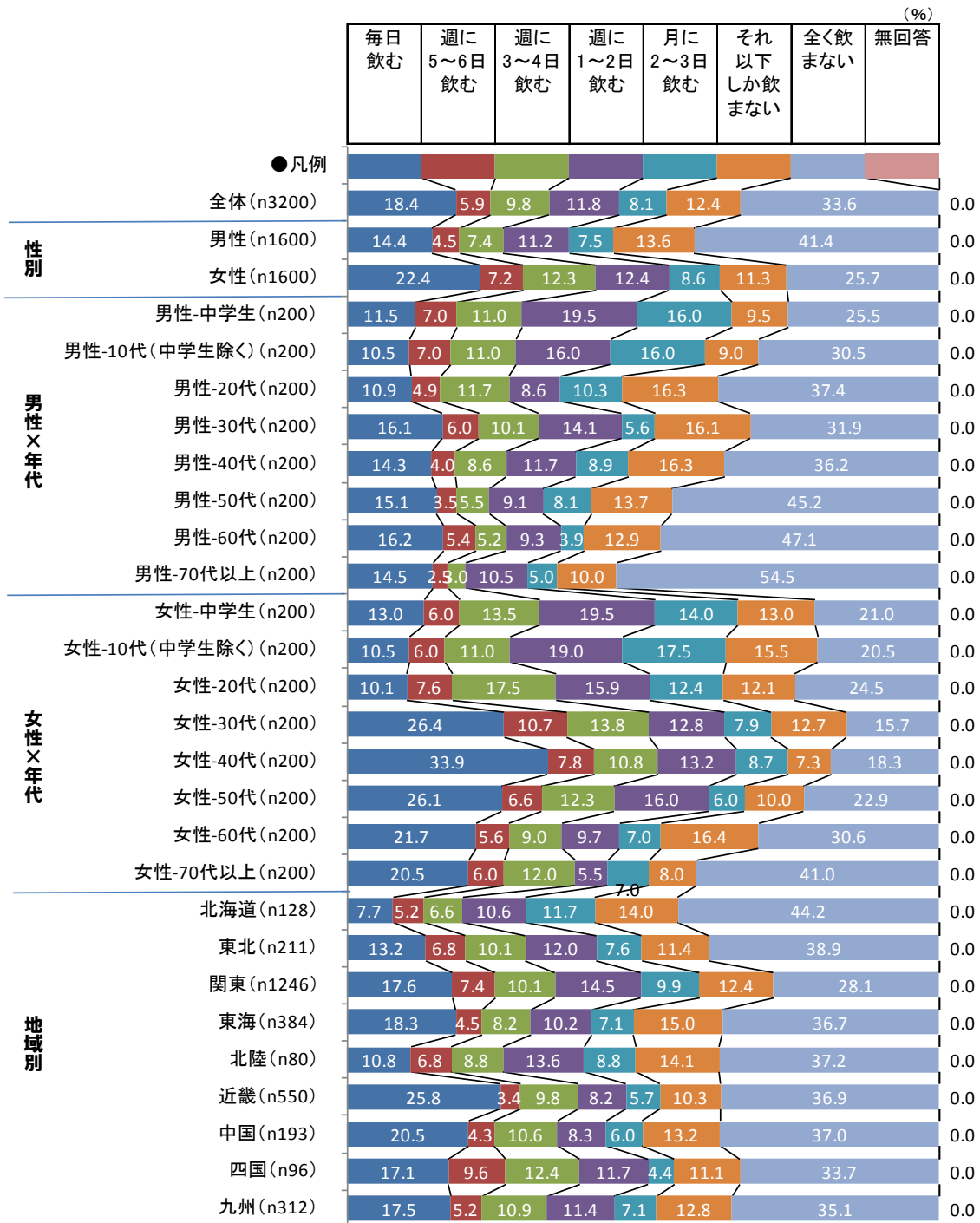
【図表 I-1-3】性・年代別・地域別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（年間平均・SA）



### (3) 他のもものと混ぜて飲む頻度

- コーヒーや紅茶など他のもものと混ぜて飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は18%となった一方で、「全く飲まない」は34%を占めた。
- 性別では、女性が22%となり、男性よりも8%上回っている。
- 性年代別では、女性30～50代で「毎日飲む」割合が高くなっている。
- 地域別では、「毎日飲む」で近畿26%と最も高くなっている。

【図表 I-1-4】 性・年代別・地域別 問3 白もの牛乳類を他のもものと混ぜて飲む頻度 (年間平均・SA)

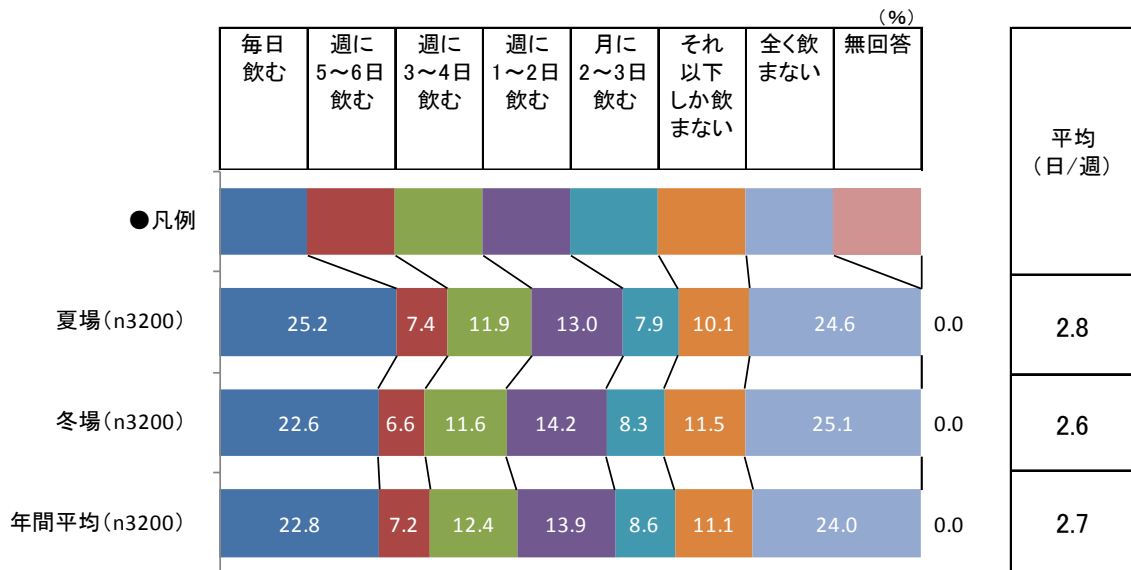


#### (4) 季節による変動

■白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動を見てみると、そのまま飲むが、平均で夏場は 2.8 (日/週)、冬場は 2.6 (日/週) となり、夏場の方が飲まれている。そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が 25% と冬場の 23%より 2ポイントほど高くなっている。他のものと混ぜて飲む飲み方では、平均で夏場は 2.2 (日/週)、冬場は 2.2 (日/週) となり、差異は見られない。「毎日飲む」人は夏場 22%、冬場 19%となり、大きな差異は認められない。「毎日飲む」ような習慣化された人には、季節変動が飲用頻度そのものに与える影響は少ないようである。

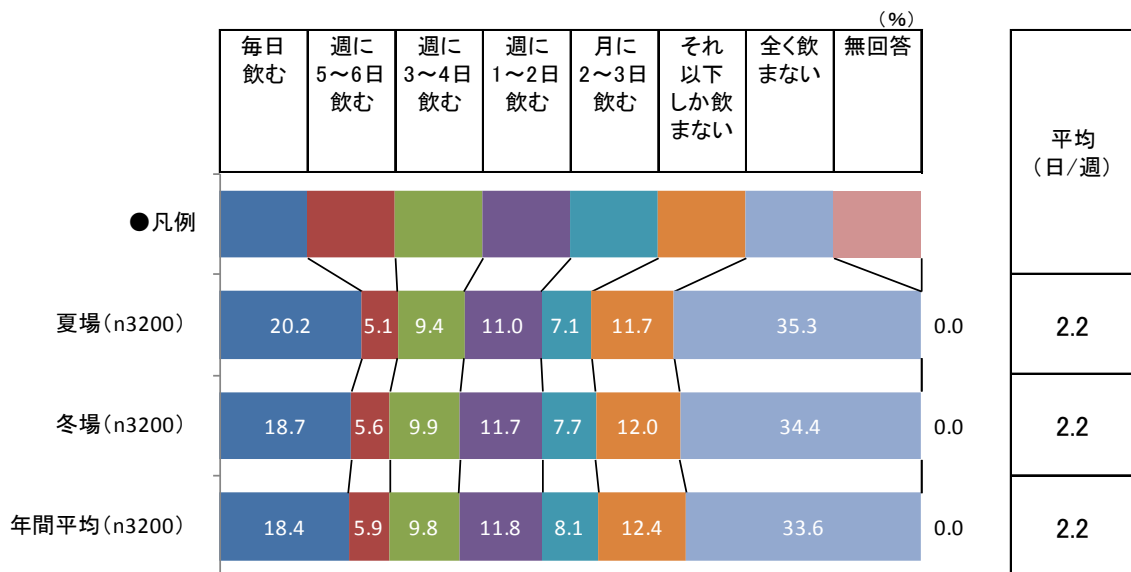
##### <そのまま飲む>

【図表 I-1-5】 季節変動／飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



##### <他のものと混ぜて飲む>

【図表 I-1-6】 季節変動／飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



- 白もの牛乳類（そのまま飲む）の飲用頻度の時系列変化を見ると、平均（日/週）で、2013年度は2.7日（年間平均）となり、前年度と同様である。依然として、飲用頻度は低い水準のままとなっている。
- 他のものと混ぜて飲む頻度は平均で2.2日（日/週・年間平均）となり、前年度と同程度となっている。

【図表 I-1-7】時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答		
夏場	2013年	3,200	25.2	7.4	11.9	13.0	7.9	10.1	24.6	0.0	2.8
	2012年	3,200	27.0	5.8	13.1	12.8	8.1	8.8	24.4	0.0	2.9
	2011年	3,200	26.8	7.2	11.6	14.0	7.3	9.6	23.5	0.0	2.9
	2010年	3,200	25.5	6.9	10.4	13.5	11.0	11.0	21.7	-	2.8
	2009年	3,200	27.3	6.5	13.3	14.1	9.9	9.7	19.3	-	3.0
	2008年	3,200	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	3.1
	2007年	3,486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2006年	3,478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3,896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2004年	4,177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
冬場	2013年	3,200	22.6	6.6	11.6	14.2	8.3	11.5	25.1	0.0	2.6
	2012年	3,200	24.5	5.6	11.9	13.6	9.0	10.7	24.8	0.0	2.7
	2011年	3,200	24.2	6.3	10.9	15.1	7.6	11.0	24.9	0.0	2.7
	2010年	3,200	21.7	6.9	9.9	14.6	10.9	12.7	23.3	-	2.6
	2009年	3,200	24.5	6.3	11.8	15.4	10.5	11.1	20.4	-	2.8
	2008年	3,200	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	2.8
	2007年	3,486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2006年	3,478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3,896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2004年	4,177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
年間平均	2013年	3,200	22.8	7.2	12.4	13.9	8.6	11.1	24.0	0.0	2.7
	2012年	3,200	24.6	6.6	13.4	12.3	9.3	9.9	24.0	0.0	2.7
	2011年	3,200	24.2	7.7	11.4	14.3	7.9	11.0	23.5	0.0	2.7
	2010年	3,200	22.0	7.8	11.3	13.8	11.0	13.0	21.0	0.1	2.7
	2009年	3,200	24.7	7.0	13.6	14.0	11.0	10.7	18.8	0.2	2.9
	2008年	3,200	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	2.9
	2007年	3,486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2006年	3,478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3,896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2004年	4,177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2

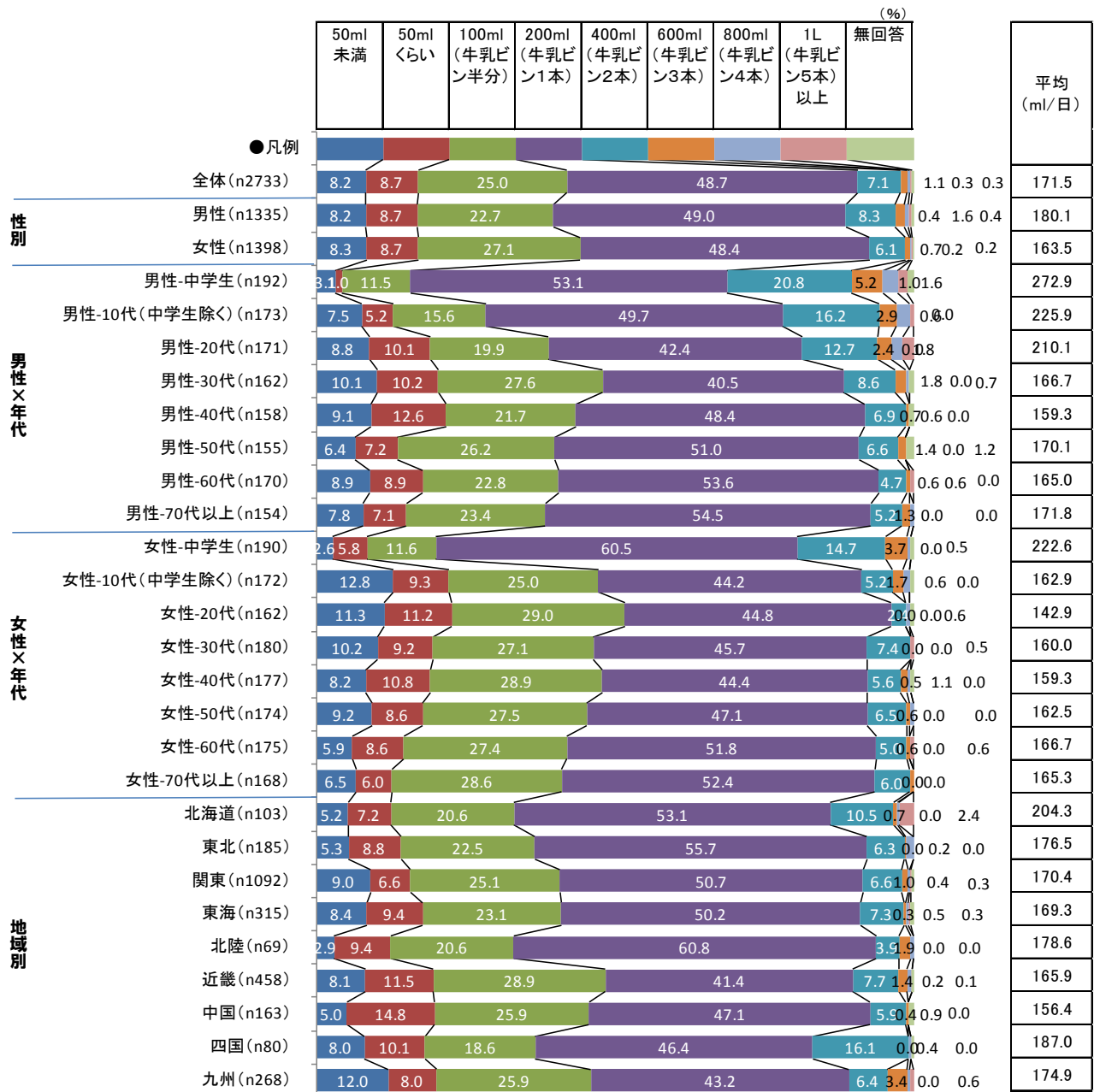
【図表 I-1-8】時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答		
夏場	2013年	3,200	20.2	5.1	9.4	11.0	7.1	11.7	35.3	0.0	2.2
	2012年	3,200	21.0	4.5	8.9	11.3	6.9	10.7	36.5	0.0	2.2
	2011年	3,200	20.7	5.3	9.4	11.4	8.5	10.2	34.4	0.1	2.2
	2010年	3,200	21.5	5.9	9.3	11.2	8.8	11.4	31.8	0.0	2.4
	2009年	3,200	21.5	5.9	8.6	11.5	9.2	11.9	31.5	0.0	2.4
	2008年	3,200	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	2.3
	2007年	3,486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2006年	3,478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3,896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2004年	4,177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
冬場	2013年	3,200	18.7	5.6	9.9	11.7	7.7	12.0	34.4	0.0	2.2
	2012年	3,200	19.5	5.0	9.3	11.3	7.6	11.4	35.9	0.0	2.1
	2011年	3,200	19.4	5.0	10.3	12.3	8.4	10.7	33.8	0.1	2.2
	2010年	3,200	19.8	6.1	9.8	11.4	9.5	11.4	32.0	0.0	2.3
	2009年	3,200	20.2	5.5	9.0	12.4	9.1	12.4	31.4	0.0	2.3
	2008年	3,200	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	2.3
	2007年	3,486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2006年	3,478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3,896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2004年	4,177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
年間平均	2013年	3,200	18.4	5.9	9.8	11.8	8.1	12.4	33.6	0.0	2.2
	2012年	3,200	19.0	5.2	9.9	11.2	7.9	11.4	35.2	0.0	2.1
	2011年	3,200	19.0	5.3	10.3	12.7	8.7	10.8	33.0	0.2	2.2
	2010年	3,200	19.3	6.2	10.5	11.2	9.8	12.1	30.7	0.2	2.3
	2009年	3,200	19.6	6.0	9.6	11.9	9.6	12.5	30.5	0.3	2.3
	2008年	3,200	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	2.3
	2007年	3,486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2006年	3,478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3,896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2004年	4,177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3

## 2. 白もの牛乳類の飲用量

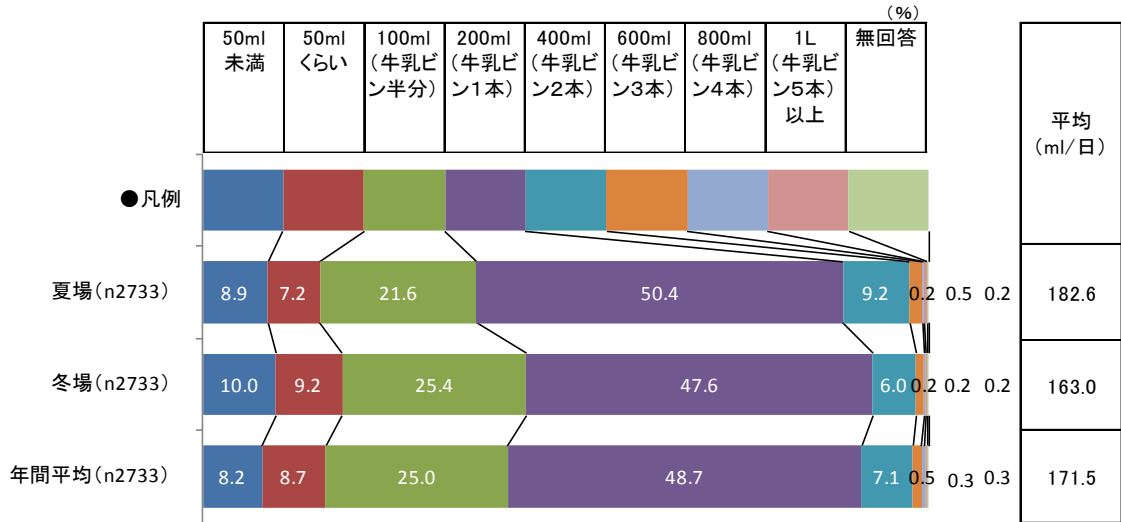
- そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを質問した。
- 全体では「200ml」が最も多く、49%を占めた。性別や性年代別、地域別で見ても、「200ml」が多くなっている。
- 平均飲用量（ml/日）を算出したところ、全体では「171.5ml」となった。性年代別で最も平均飲用量が多いのは、男子中学生であり、「272.9ml」となっている。一方、平均飲用量が少ないのは、男性40代、女性20・40代である。また、地域別では、四国で平均飲用量が多くなっている。

【図表 I-2-1】 性・年代別・地域別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（年間平均・SA）＜飲用者ベース＞



- 白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動を見てみると、平均量で夏場182.6ml、冬場163.0mlとなっており、夏場が冬場より19.6mlほど多くなっている（冬場よりも夏場が飲まれている）。
- 性・年齢別にみると、各層全てにおいて夏場の方が冬場より平均飲用量は多くなっている。中でも、男子中学生の夏場の飲用量は多くなっている。

【図表 I-2-2】 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>



【図表 I-2-3】 性・年齢別・地域別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

カテゴリー名		n	夏場	冬場	年間平均
全体		2,733	182.6	163.0	171.5
性別	男性	1,335	191.5	171.0	180.1
	女性	1,398	174.1	155.5	163.5
男性×年代	男性-中学生	192	291.3	261.3	272.9
	男性-10代 (中学生除く)	173	240.0	219.8	225.9
	男性-20代	171	222.2	202.4	210.1
	男性-30代	162	175.0	153.7	166.7
	男性-40代	158	169.4	155.7	159.3
	男性-50代	155	184.2	164.6	170.1
	男性-60代	170	185.7	157.3	165.0
	男性-70代以上	154	173.2	157.0	171.8
女性×年代	女性-中学生	190	238.3	212.8	222.6
	女性-10代 (中学生除く)	172	170.3	158.8	162.9
	女性-20代	162	154.0	136.9	142.9
	女性-30代	180	165.5	152.9	160.0
	女性-40代	177	169.9	149.6	159.3
	女性-50代	174	176.8	153.7	162.5
	女性-60代	175	180.2	157.3	166.7
	女性-70代以上	168	174.4	158.3	165.3
地域別	北海道	103	200.0	200.4	204.3
	東北	185	185.4	170.6	176.5
	関東	1,092	180.0	161.0	170.4
	東海	315	184.0	166.0	169.3
	北陸	69	173.9	169.1	178.6
	近畿	458	178.9	154.5	165.9
	中国	163	174.4	152.0	156.4
	四国	80	203.6	176.7	187.0
	九州	268	190.1	164.2	174.9



- 白もの牛乳類の1日の平均飲用量の時系列変化を見ると、ダウントレンドとなっており、夏場・冬場・年間平均を問わず、年々飲用量は減少している。
- 2004年度⇒2013年度の変化を見ると、夏場が▲15.4%、冬場が▲10.2%、年間平均が▲13.0%、それぞれ減少している。

【図表 I-2-4】 季節変動/時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

(%)

		n	50ml未満	50mlくらい	100ml(牛乳ビン半分)	200ml(牛乳ビン1本)	400ml(牛乳ビン2本)	600ml(牛乳ビン3本)	800ml(牛乳ビン4本)	1L(牛乳ビン5本)以上	無回答	平均(ml/日)
夏場	2013年	2,733	8.9	7.2	21.6	50.4	9.2	1.7	0.2	0.5	0.2	182.6
	2012年	2,749	10.2	6.2	20.8	50.3	9.7	1.7	0.5	0.4	0.1	184.3
	2011年	2,744	9.5	6.9	19.4	52.3	8.2	2.1	0.3	0.9	0.4	187.6
	2010年	2,827	10.6	6.5	18.1	48.9	11.9	2.3	0.5	1.2	-	198.5
	2009年	2,831	7.7	6.5	18.3	52.7	11.1	2.3	0.7	0.7	0.0	199.3
	2008年	2,851	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5	200.2
	2007年	3,044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2006年	3,001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3,497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
2004年	3,726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9	
冬場	2013年	2,733	10.0	9.2	25.4	47.6	6.0	1.1	0.2	0.2	0.2	163.0
	2012年	2,749	11.7	7.5	25.1	47.3	6.1	1.3	0.3	0.4	0.3	165.0
	2011年	2,744	11.2	8.6	22.9	49.0	5.9	1.1	0.3	0.6	0.4	167.6
	2010年	2,827	12.9	8.6	23.2	45.5	7.4	1.3	0.5	0.5	0.1	168.0
	2009年	2,831	9.9	8.2	22.0	50.1	7.4	1.1	0.7	0.5	0.0	175.8
	2008年	2,851	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7	173.0
	2007年	3,044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2006年	3,001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3,497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
2004年	3,726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6	
年間平均	2013年	2,733	8.2	8.7	25.0	48.7	7.1	1.1	0.5	0.3	0.3	171.5
	2012年	2,749	10.3	7.4	23.9	48.3	7.6	1.5	0.2	0.6	0.1	175.0
	2011年	2,744	9.7	9.0	21.2	49.9	7.0	1.6	0.4	0.9	0.3	178.4
	2010年	2,827	10.9	8.1	21.6	46.8	8.8	1.8	0.6	1.4	-	187.0
	2009年	2,831	8.2	7.4	21.2	51.1	9.2	1.4	0.6	0.8	0.0	187.7
	2008年	2,851	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3	183.6
	2007年	3,044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2006年	3,001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3,497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
2004年	3,726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2	

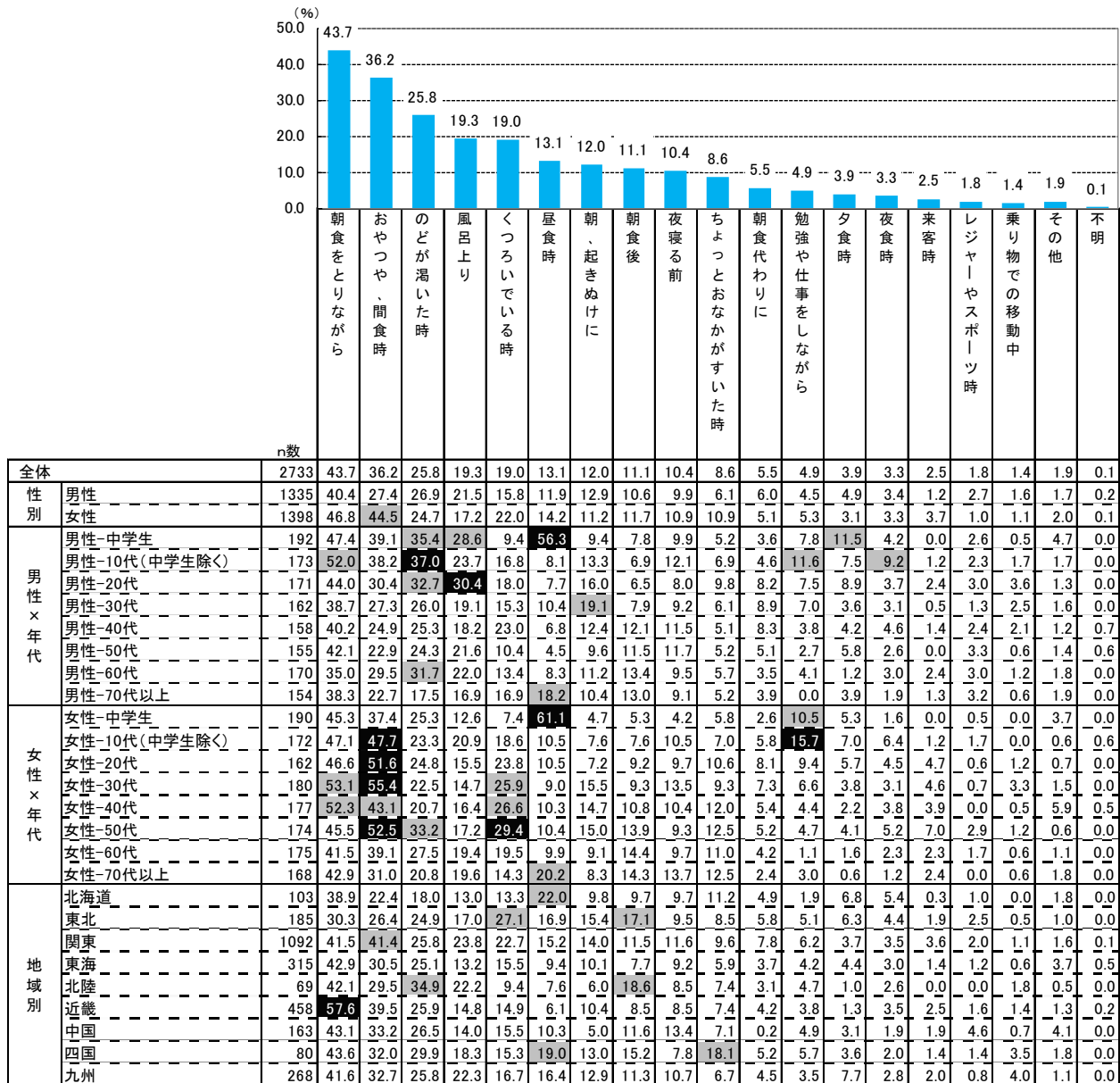
【図表 I-2-5】 性・年齢別/時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
		n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)
全体		3896	126.9	3478	122.5	3486	121.6	3200	112.9	3200	113.5	3200	111.0	3200	109.3	3200	107.7	3200	104.6
性・年齢別	中学生	54	324.8	52	339.4	75	235.1	200	287.3	200	268.9	200	271.0	200	267.6	200	269.5	200	251.8
	10代(中学生除)	89	226.7	95	217.8	97	205.6	200	190.0	200	175.5	200	197.2	200	235.9	200	197.9	200	161.6
	20代	184	117.3	187	144.6	253	137.3	200	126.3	200	114.4	200	108.9	200	118.4	200	101.1	200	142.3
	30代	236	113.3	266	118.4	291	94.7	200	85.1	200	92.4	200	100.6	200	110.9	200	102.4	200	89.3
	40代	277	100.1	227	115.3	241	79.7	200	85.1	200	92.7	200	101.3	200	84.6	200	112.4	200	72.7
	50代	355	105.1	315	98.8	290	106.8	200	93.9	200	78.1	200	82.2	200	70.7	200	69.0	200	75.1
	60代	323	118.2	271	112.7	243	109.5	200	97.7	200	91.6	200	95.2	200	37.9	200	80.1	200	102.2
	70代以上	252	126.8	250	109.4	233	114.6	200	107.6	200	124.7	200	97.7	200	81.9	200	55.3	200	74.8
	中学生	46	210.7	50	246.7	67	179.3	200	199.1	200	215.2	200	177.5	200	204.9	200	209.3	200	198.9
	10代(中学生除)	110	157.3	91	116.1	89	110.9	200	98.7	200	115.2	200	87.7	200	100.9	200	133.8	200	104.8
20代	234	106.8	189	114.6	242	123.3	200	110.0	200	110.1	200	115.8	200	105.0	200	115.3	200	67.4	
30代	355	126.6	280	105.9	265	134.9	200	107.4	200	127.6	200	82.6	200	116.5	200	127.7	200	119.1	
40代	292	137.2	284	119.1	234	109.2	200	117.2	200	100.7	200	134.5	200	125.8	200	120.6	200	112.8	
50代	430	129.2	342	110.7	281	131.6	200	103.9	200	113.6	200	106.4	200	127.5	200	120.0	200	109.1	
60代	373	121.5	263	124.7	243	117.0	200	125.5	200	132.8	200	119.1	200	125.8	200	109.8	200	113.7	
70代以上	286	123.7	316	111.9	342	123.3	200	118.9	200	111.3	200	120.8	200	111.8	200	90.1	200	98.9	
男性計		1770	125.0	1663	127.5	1723	118.1	1600	109.8	1600	107.7	1600	108.3	1600	96.8	1600	97.6	1600	100.4
女性計		2126	128.5	1815	118.0	1763	125.1	1600	115.7	1600	119.1	1600	113.6	1600	121.8	1600	117.8	1600	108.8

### 3. 白もの牛乳類の飲用シーン

- 白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを質問した。
- 全体では、「朝食をとりながら (44%)」、「おやつや間食時 (36%)」、「のどがかわいたとき (26%)」が上位。
- 性別では、女性の「おやつや間食時 (45%)」が全体の35%より8ポイント上回っている。
- 性年代別では、男性は男子中学生の「昼食時 (56%)」、男性10代の「のどが渴いた時 (37%)」、男性20代の「風呂入り (30%)」が全体より10%以上上回っている。女性では、女子中学生の「昼食時 (61%)」、女性10代の「おやつや間食時 (48%)」「勉強や仕事をしている時 (16%)」、女性20代の「おやつや間食時 (52%)」、女性40代の「おやつや間食時 (55%)」、女性50代の「おやつや間食時 (53%)」「くつろいでいる時 (29%)」が全体より10%以上上回っている。男女中学生の場合、当然のことながら、給食時の飲用が背景にあると思われる。概ね女性は、「おやつや間食時」に、その友として牛乳を飲用していることがうかがえる。
- 地域別では、近畿・中国において「朝食をとりながら」が5割台と目立っている。

【図表 I-3-1】 性・年齢別・地域別 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い    ■ = 全体より、5%以上高い

■2012年度との比較では、2013年度も同様の傾向となり、大きな変動は見られなかった。

■長期的に見ると、「朝食をとりながら」は横ばい、「のどが渴いた時」「風呂上り」が下降傾向にあることがうかがえる。「朝食をとりながら」は横ばいではあるが、牛乳の飲用シーンとしてもっとも多く、朝食時の飲料として「牛乳」をアピールを続けることは、消費量拡大に寄与することと思われる。

【図表 I-3-2】時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

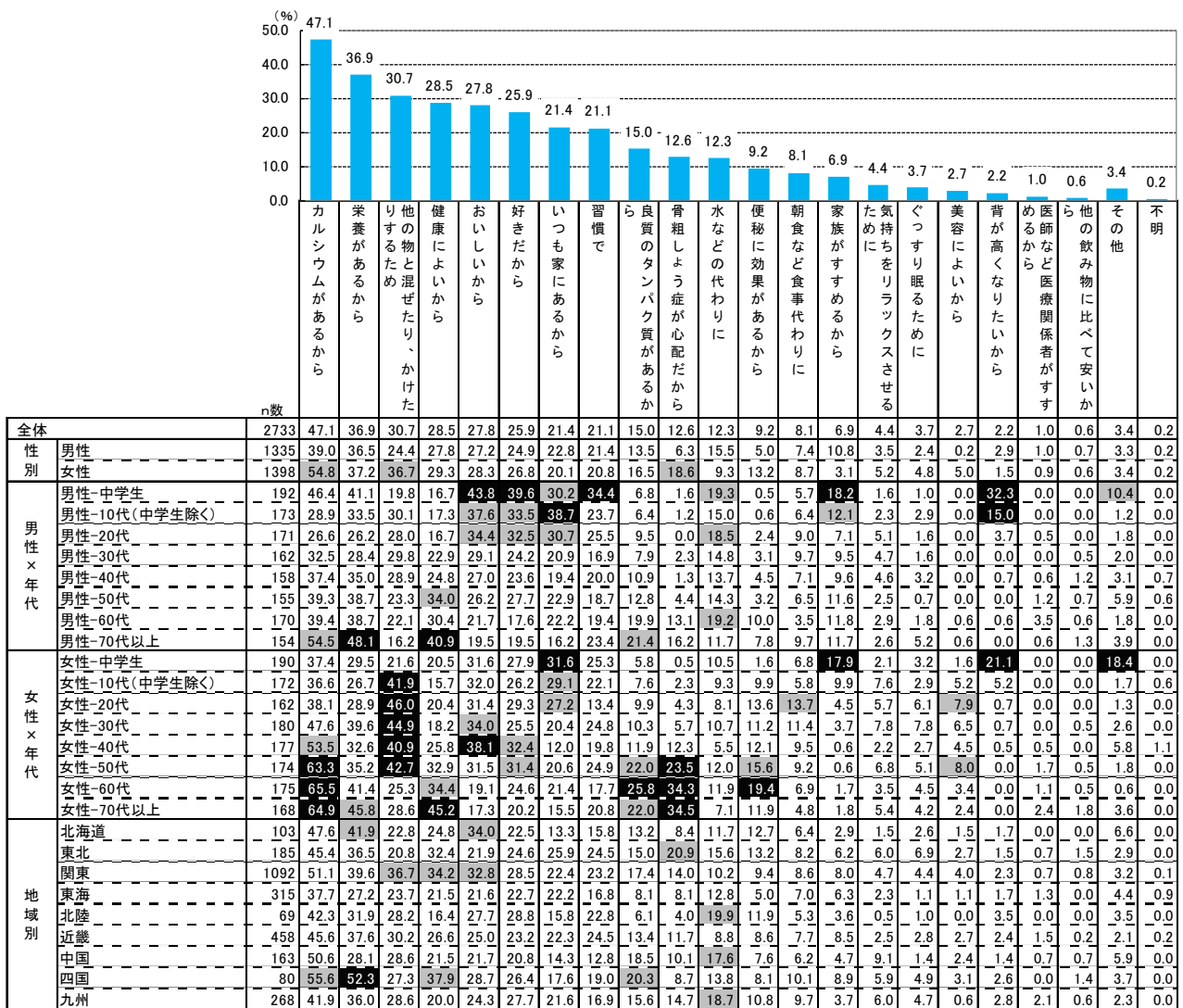
(%)

	n	朝食をとりながら	おやつや、間食時	のどが渴いた時	風呂上り	くつろいでいる時	昼食時	朝起きぬけに	朝食後	夜寝る前	ちよつとおながすいた時	朝食代わりに	勉強や仕事をしながら	夕食時	夜食時	レジャーやスポーツ時	乗り物での移動中	来客時	その他
2013年	2,733	43.7	36.2	25.8	19.3	19.0	13.1	12.0	11.1	10.4	8.6	5.5	4.9	3.9	3.3	1.8	1.4	2.5	1.9
2012年	2,749	44.4	34.5	24.8	17.8	16.3	12.5	10.7	11.1	9.7	8.5	5.3	3.8	4.4	3.7	1.1	0.9	2.3	1.8
2011年	2,744	43.2	33.8	25.3	17.9	15.7	13.0	12.1	11.4	9.5	8.4	4.5	3.6	3.5	3.3	1.5	1.2	2.2	2.2
2010年	2,827	44.7	35.7	36.3	19.9	20.7	12.3	11.0	12.4	11.4	11.4	4.6	4.4	6.0	3.2	1.2	2.1	3.2	3.6
2009年	2,831	42.5	36.5	36.7	22.2	22.7	13.5	10.8	12.3	10.5	11.4	5.2	5.3	6.0	3.5	1.6	2.0	4.1	2.7
2008年	2,851	43.5	34.9	38.7	24.6	22.5	15.0	11.6	12.5	12.0	13.2	6.0	4.8	5.9	3.8	1.7	2.0	3.3	2.3
2007年	3,044	42.9	34.1	39.4	24.8	20.3	14.7	12.4	11.5	11.2	12.2	6.0	4.5	5.7	3.5	1.8	2.1	3.3	2.6
2006年	3,001	40.4	35.7	41.2	26.7	21.4	15.0	12.1	13.8	14.1	13.8	6.7	4.6	6.7	3.7	2.3	2.0	2.9	2.7
2005年	3,497	41.6	37.0	43.0	26.9	21.1	15.3	11.6	13.5	14.5	14.1	6.4	4.3	6.6	4.5	1.9	2.1	2.9	2.3
2004年																			
2003年																			
2002年	3,810	46.8	43.3	53.3	38.5	25.1	18.8	17.2	18.0	18.7	20.8	11.3	6.4	8.1	6.0	4.2	2.8	3.6	2.3

#### 4. 白もの牛乳類の飲用理由

- 白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を質問した。
- 全体では、「カルシウムがあるから (47%)」、「栄養があるから (37%)」、「他の物と混ぜたり、かけたりするため (31%)」、「健康によいから (29%)」、「おいしいから (28%)」、「好きだから (26%)」が上位となった。
- 性別では、女性は「カルシウムがあるから (55%)」「他の物と混ぜたり、かけたりするため (37%)」、「骨粗しょう症が心配だから (19%)」が全体よりも5%以上上回っている。
- 性年代別では、女性50代以上の世代で「カルシウムがあるから」を飲用理由とする割合が目立ち、60%を超えている。女性50代以上は「骨粗しょう症が心配だから」も目立っている。女性10～50代では、「他の物と混ぜたり、かけたりするため」も4割前後と高くなっている。

【図表 I-4-1】性・年齢別・地域別 問6 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い    ■ = 全体より、5%以上高い

■白もの牛乳類を飲む理由の時系列変化を見ると、大きく変化したものは下記の通りとなっている（飲用者ベース）。

- 「他のものと混ぜたりする」・・・2002年度⇒2013年度：+5%
- 「健康によいから」・・・2002年度⇒2013年度：▲17%
- 「骨粗しょう症が心配だから」・・・2000年度⇒2013年度：▲15%
- 「カルシウムがあるから」・・・2000年度⇒2013年度：▲14%
- 「栄養があるから」・・・2000年度⇒2013年度：▲12%

■これらを見ると、一般的に知られている白もの牛乳類の長所である“健康面でのメリット（健康によい、骨粗しょう症の防止、カルシウムがある、栄養がある）”での訴求力が弱まっていることがうかがえる。一方、ポイントが増加しているのは、「他のものと混ぜたりする」であり、新たな飲み方提案によって拡大する可能性がうかがえる。

【図表 I-4-2】時系列 問6 白もの牛乳類を飲む理由（MA）

		(%)																									
		カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	好きだから	他のものと混ぜたりする	おいしいから	いつも家にあるから	習慣で	水などの代わりに	骨粗しょう症が心配だから	良質のタンパク質がある	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	気持ちをリラックスさせる	ぐっすり眠るために	美容に良いから	背が高くなりたいから	他の飲み物に比べ安い	医療関係者がすすめる	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	
n																											
△飲用者ベース▽	2013年	2,733	47.1	36.9	28.5	25.9	30.7	27.8	21.4	21.1	12.3	12.6	15.0	9.2	8.1	6.9	4.4	3.7	2.7	2.2	0.6	1.0				3.4	
	2012年	2,749	46.7	38.0	28.4	26.3	26.8	26.3	20.8	19.3	11.3	11.4	13.5	9.7	7.7	6.6	5.2	4.1	2.8	2.2	0.9	0.9				3.3	
	2011年	2,744	44.1	34.9	27.7	25.9	24.7	26.8	19.5	19.1	13.0	10.8	10.8	9.2	7.0	5.2	3.8	3.5	2.6	2.0	0.4	1.0				3.6	
	2010年	2,827	45.2	34.3	30.0	27.4	33.5	28.8	21.5	19.8	15.9	15.0	13.9	11.4	6.6	5.3	4.7	4.1	2.3	2.3	0.8	0.8				3.2	
	2009年	2,831	48.7	38.7	33.4	28.0	31.1	28.3	23.1	21.9	16.3	13.7	13.7	10.8	7.6	5.0	5.0	4.1	3.0	2.8	1.5	1.0				3.6	
	2008年	2,851	48.3	37.6	33.6	29.9	24.3	29.4	23.0	22.2	15.4	19.0	14.2	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.3	2.6	1.4	1.2				3.3	
	2007年	3,044	48.0	38.6	34.2	27.8	23.0	27.4	21.6	21.3	16.3	18.8	13.8	10.1	8.0	5.9	4.7	4.2	2.7	2.9	1.2	1.0				3.0	
	2006年	3,001	56.8	45.1	40.5	28.1	27.4	27.7	23.2	19.7	14.6	22.5	16.1	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.7	3.4	1.6	2.0				3.5	
	2005年	3,497	55.4	42.6	41.6	28.5	24.9	27.6	21.3	19.4	16.6	23.3	16.8	13.1	7.9	4.8	5.3	4.9	3.8	3.1	1.6	1.9				2.1	
	2002年	3,810	60.6	49.2	45.9	29.7	25.7	29.9	26.9	20.0	19.4	27.3	20.8	14.9	7.9	5.3	3.9	5.0	4.1	3.7	2.0	1.8				2.1	
2000年	4,171	61.2	49.2		36.9		34.9	33.3	19.0	21.5	28.5	20.7	18.1	10.5	9.2	4.9	5.1	5.2			2.5	4.8				2.7	
△全体ベース▽	1999年	4,476	54.8	45.1		29.2	32.9	31.4	18.0	20.6	25.1	19.1	17.9	9.7	7.7	5.2	5.3	4.7			2.2	5.2				2.4	10.6
	1997年	4,547	55.4	41.0		23.5	24.4	27.8	13.1	17.3	24.1	15.2	16.0	8.1	7.6			3.1				3.6				3.3	11.1
	1996年	4,706	50.3	40.7		23.3	22.2	19.9	15.5	17.3	19.3			7.9	5.7											3.2	10.4
	1995年	4,668	51.5	45.3		22.0	20.6	20.6	16.1	16.9	16.1			8.3	4.6			4.6	4.6	2.2	1.6		2.8		2.6	11.7	
	1994年	4,617	58.7	53.9		26.5	26.5	31.0	14.3	13.4				8.6	6.5			5.7	5.7	2.8	2.5		4.5		2.9	13.4	
	1993年	4,553	59.2	58.2		27.9	28.0	34.3	16.2	12.7				9.4	6.2			9.2	7.1	4.0	2.9		5.2		2.2	12.8	
	1992年	4,651	51.3	52.8		28.2	25.2	30.3	14.7	14.5				8.5	6.3			4.9	5.5	2.3	2.7		3.7	2.1	2.1	13.7	
	1991年	4,714	50.1	54.3		28.2	25.5	31.1	14.0	15.4				8.3	6.0			5.6	6.3	2.0	2.9		5.1	2.8	2.0	12.5	
	1990年	4,691	54.3	58.3		26.6	23.0	30.7	13.5	14.2				8.4	5.7			7.7	5.9	2.1	2.7		4.1	2.5	2.0	12.8	
	1989年	4,579	46.9	54.9		26.0	22.1	29.6	12.1	14.0				8.8	5.5			6.9	4.7	2.2	3.0		3.9	2.2	1.7	15.4	
1988年	4,604	44.4	55.7		25.9	23.0	29.7	11.5	14.0				9.2	6.2			9.0	6.6	2.8	2.4		5.3	2.4	1.6	15.4		
1987年	4,664	38.4	53.4		27.5	23.7	27.4	14.7	18.2				9.1	5.1			8.6	5.5	2.5	2.0		4.8	3.2	1.6	16.1		

※斜線はデータなし  
 ※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし  
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

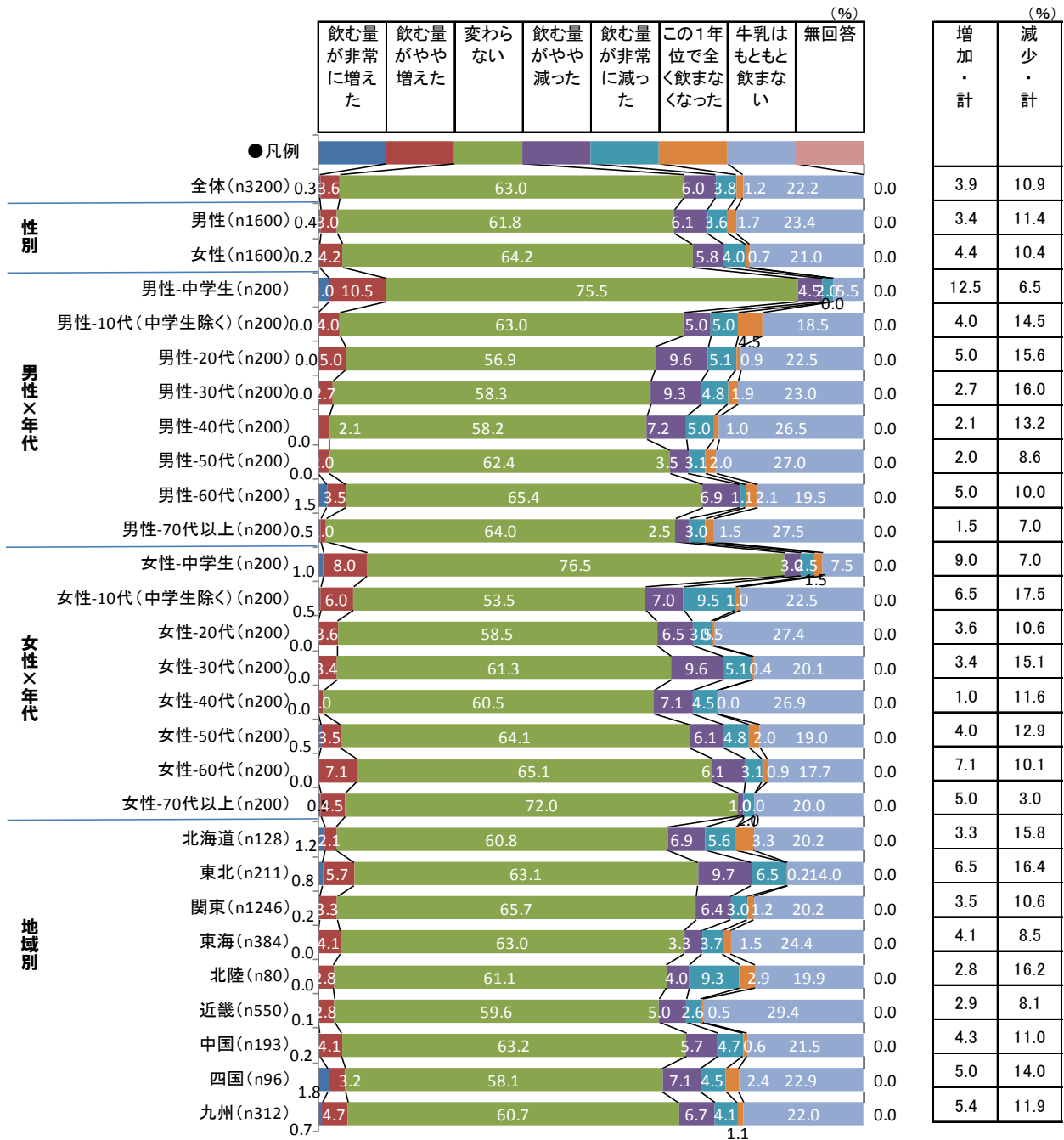
## II. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

### 1. 飲み方別飲用量の増減

#### (1) そのまま飲む量の増減

- この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて質問した。
- そのまま飲む場合、「減少計（非常に減った+やや減った+1年位で全く飲まなくなった）」と答えた人は11%となり、「増加計」（非常に増えた+やや増えた）と答えた人（4%）を約7ポイント上回っている。
- 性別では、男女の増減の変化に大きな差は見られない。
- 性年代別では、男子中学生は、「増加計」が「減少計」を6ポイント上回っている。
- 地域別では、「減少計」が大きいのは、北海道・東北・北陸（16%）などである。

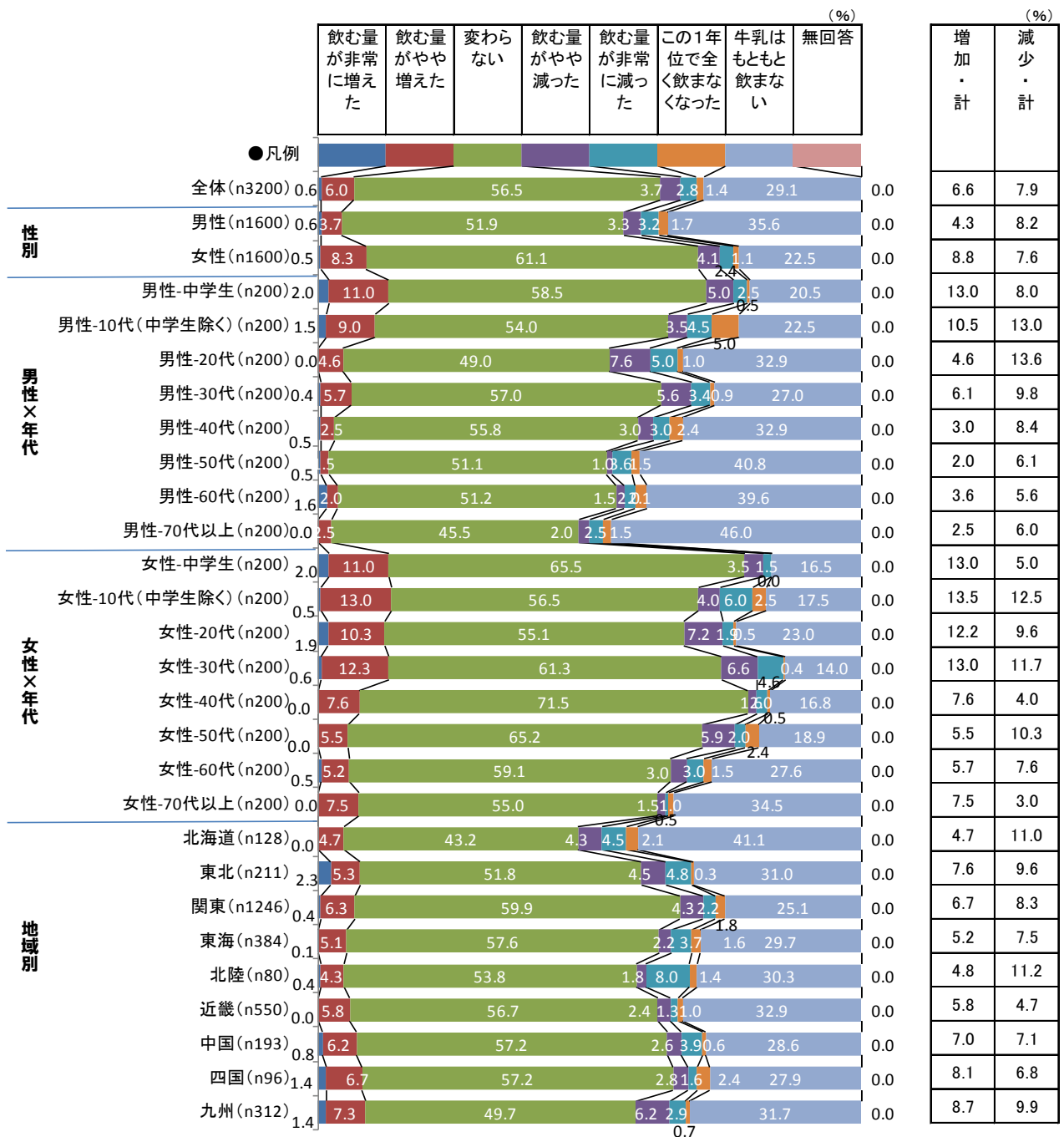
【図表II-1-1】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合 (SA)



(2) 混ぜて飲む量の増減

- 他のものと混ぜて飲む場合では、「増加計」が7%、「減少計」が8%となり、わずかだが、「減少計」が1ポイント上回っている。
- 性別では、男性は「増加計」が4%、「減少計」が8%、女性は「増加計」が9%、「減少計」が8%となった。女性は、「増加計」が「減少計」をわずかに上回っている。
- 性年代別では、男子中学生、女子中学生～40代・70代以上で「減少計」よりも「増加計」が上回っている。
- 地域別では、近畿・四国では、わずかであるが、「減少計」よりも「増加計」が上回っている。

【図表II-1-2】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合 (SA)

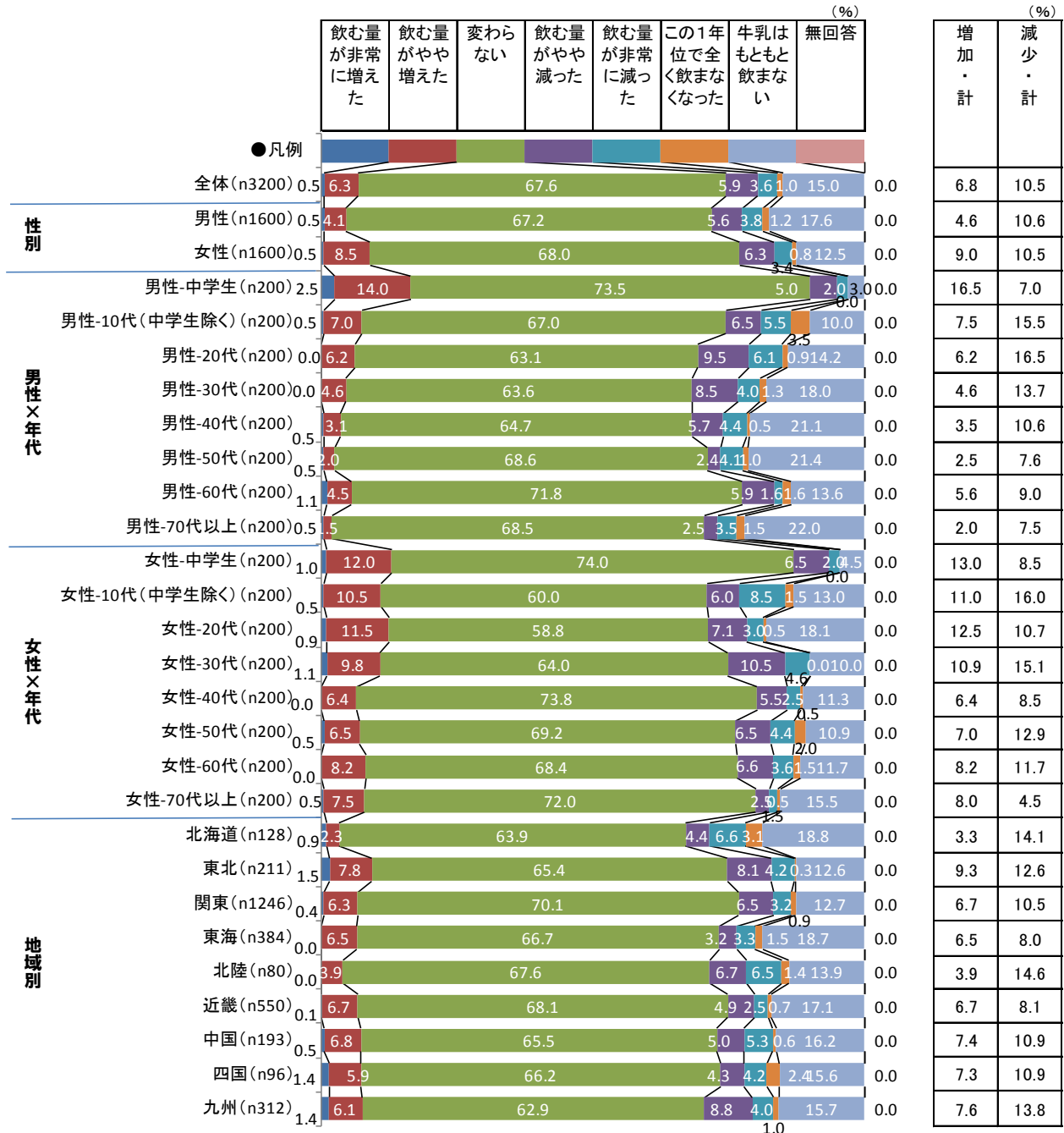




(3) 全体での増減

- 白もの牛乳類の飲用全体では、「増加計」が7%、「減少計」が11%となり、「減少計」が4ポイント上回っている。
- 性別では、男性は「増加計」が5%、「減少計」が11%、女性は「増加計」が9%、「減少計」が11%となった。
- 性年代別では、男子中学生と女子中学生、女性20代・70代以上が「増加計」が「減少計」を上回っている。
- 地域別では、全てのエリアで「減少計」が多くなっている。

【図表II-1-3】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体 (SA)





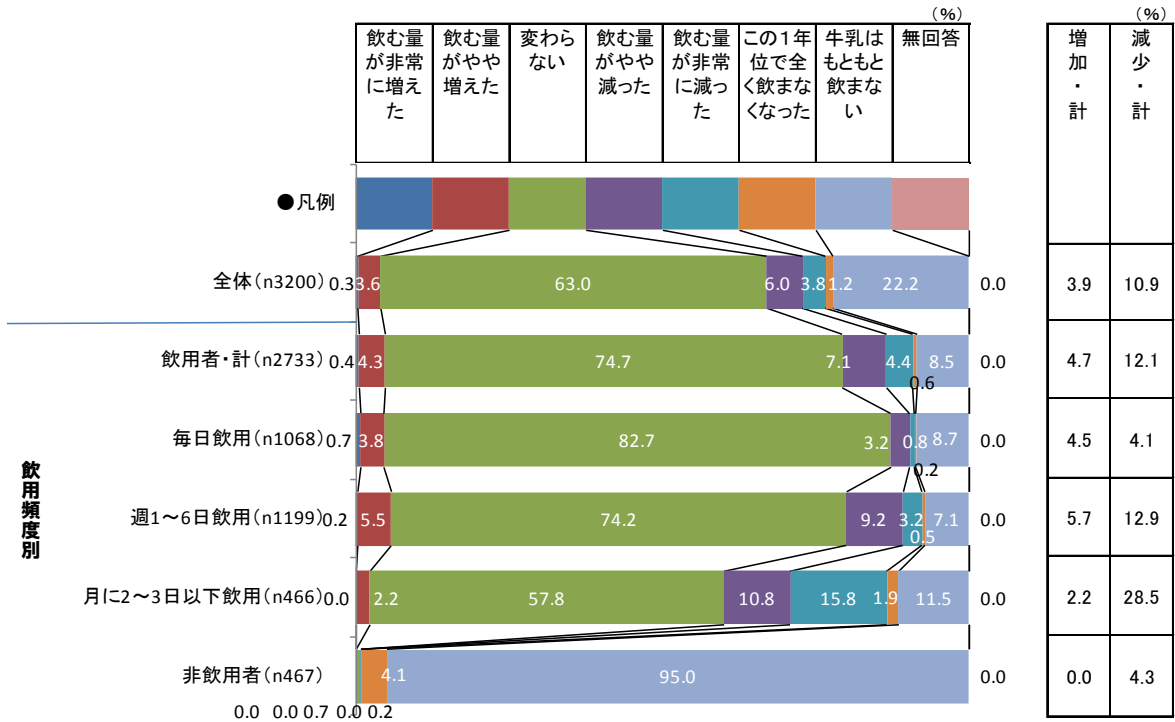
■白もの牛乳類の飲用行動別に、飲用量増減の感じ方を見してみる。

■毎日飲用者は、そのまま飲む場合と混ぜて飲む場合において、「増加計」が「減少計」を上回っている。混ぜて飲む場合は、毎日飲用者は「増加計」が「減少計」を5ポイント上回っている。

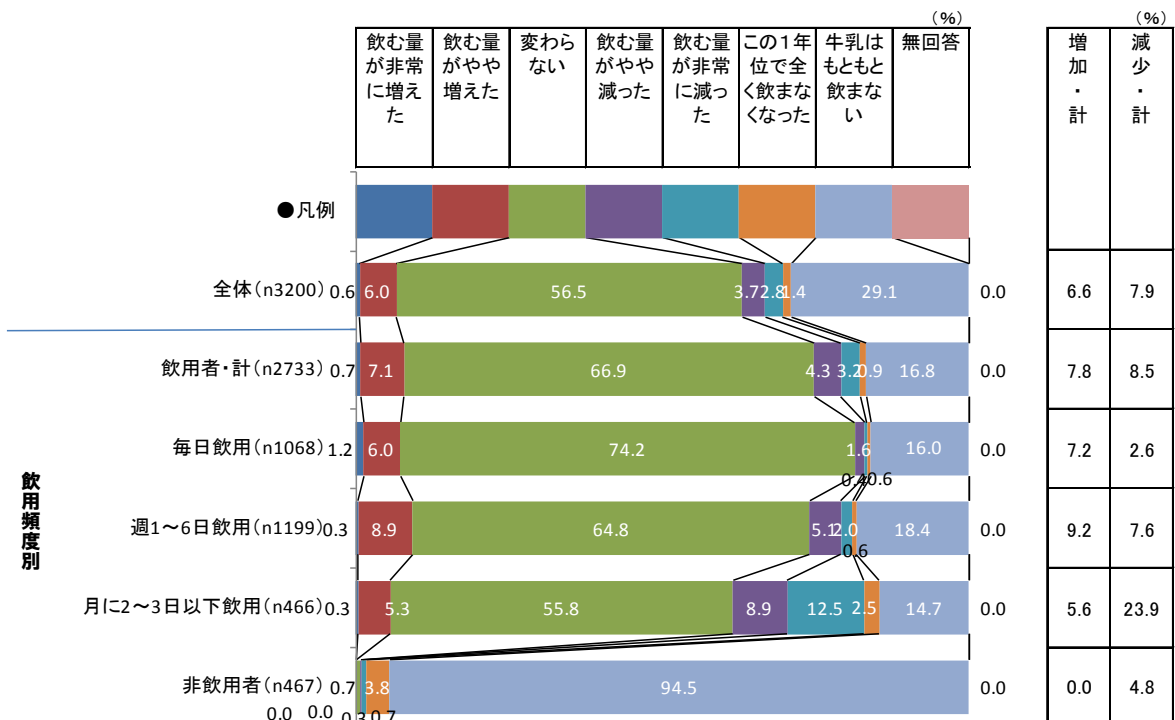
■週1～6日という中程度の層では、そのまま飲む場合は「減少計」が「増加計」を7ポイント上回る。

■低頻度層では（月に2～3日以下）、そのまま飲む場合で「減少計」が29%にのぼる。混ぜて飲む場合も「減少計」が24%となっている。

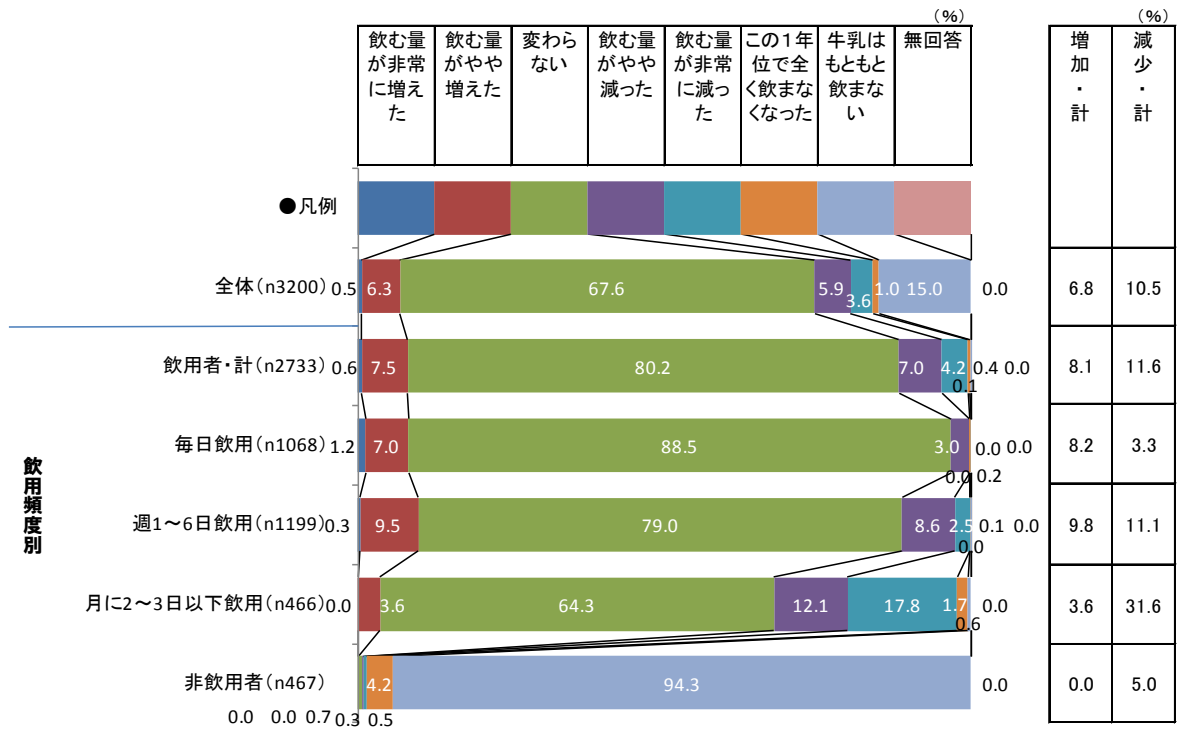
【図表Ⅱ-1-4】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（1）そのまま飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-5】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（2）混ぜて飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-6】 飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体 (SA)

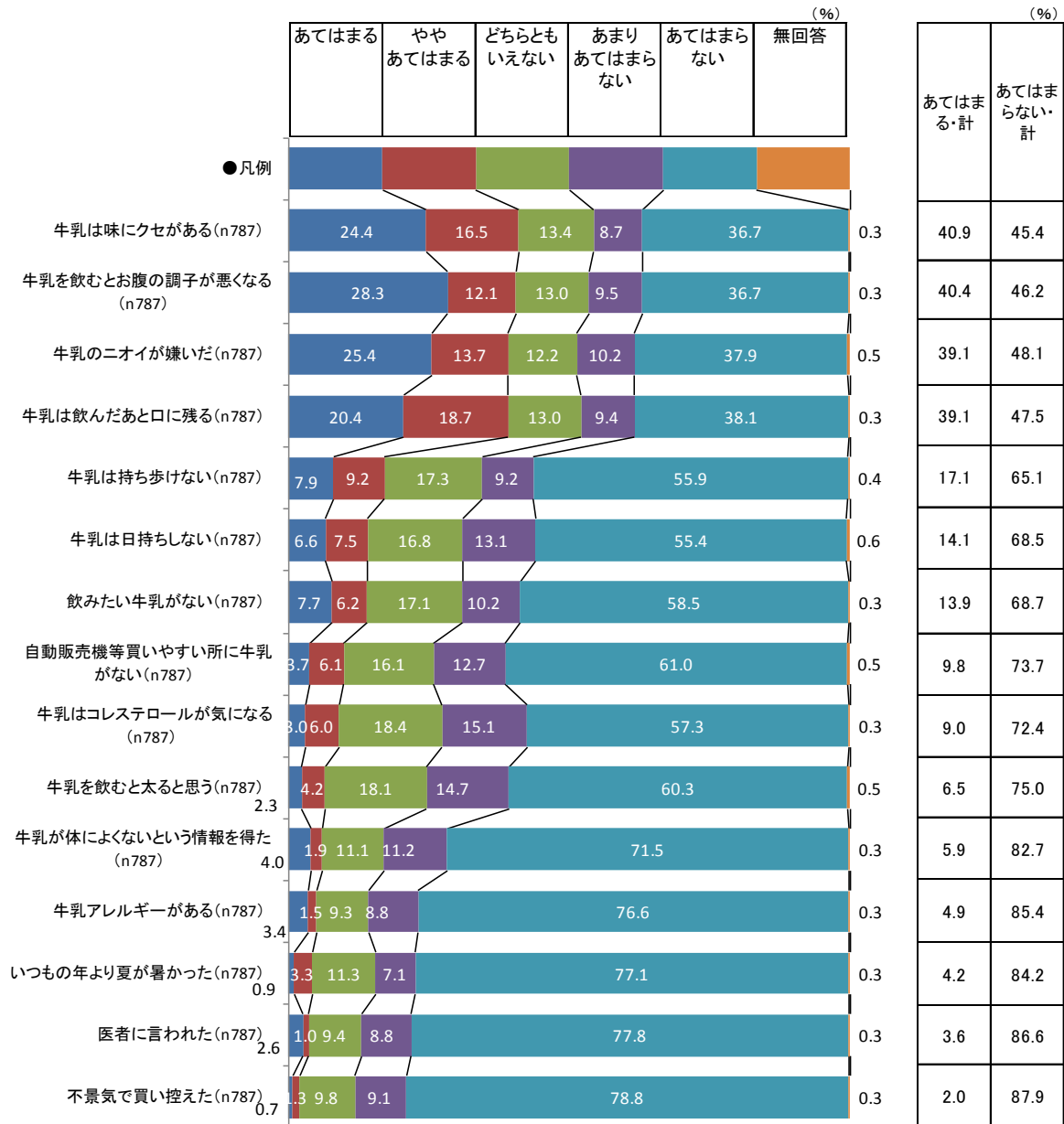


## 2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

■この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った・牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（15項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で質問した。

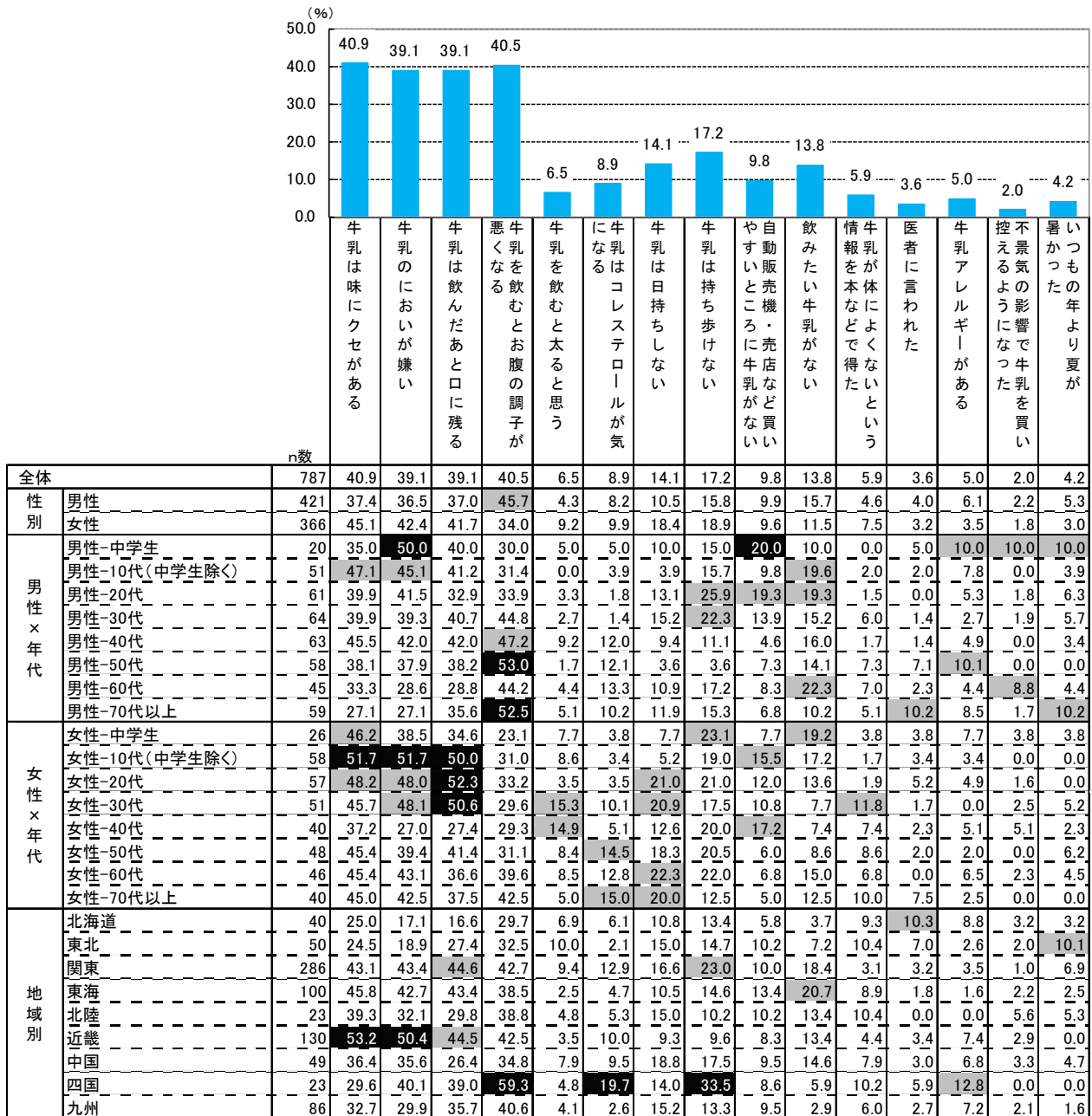
■「あてはまる計」で見ると、「牛乳は味にクセがある（41%）」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる（40%）」「牛乳のにおいが嫌い（39%）」「牛乳は飲んだあと口に残る（39%）」が上位となる。

【図表II-2-1】問8 飲用量減少・非飲用理由（SA）＜飲用量が減少した人/非飲用者ベース＞



- 「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、性別で見ると、男性では「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」という体質要因が46%と最も高くなっている。
- 性年代別では、男性50代の「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が53%と高くなっている。また、女性10～30代では、「牛乳を飲んだあと口に残る」を理由に敬遠する割合が高くなっている。その他、女性10代は「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」といった項目も高い。

【図表II-2-2】性・年代別・地域別 問8 飲用量減少・非飲用理由 「あてはまる計」(SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



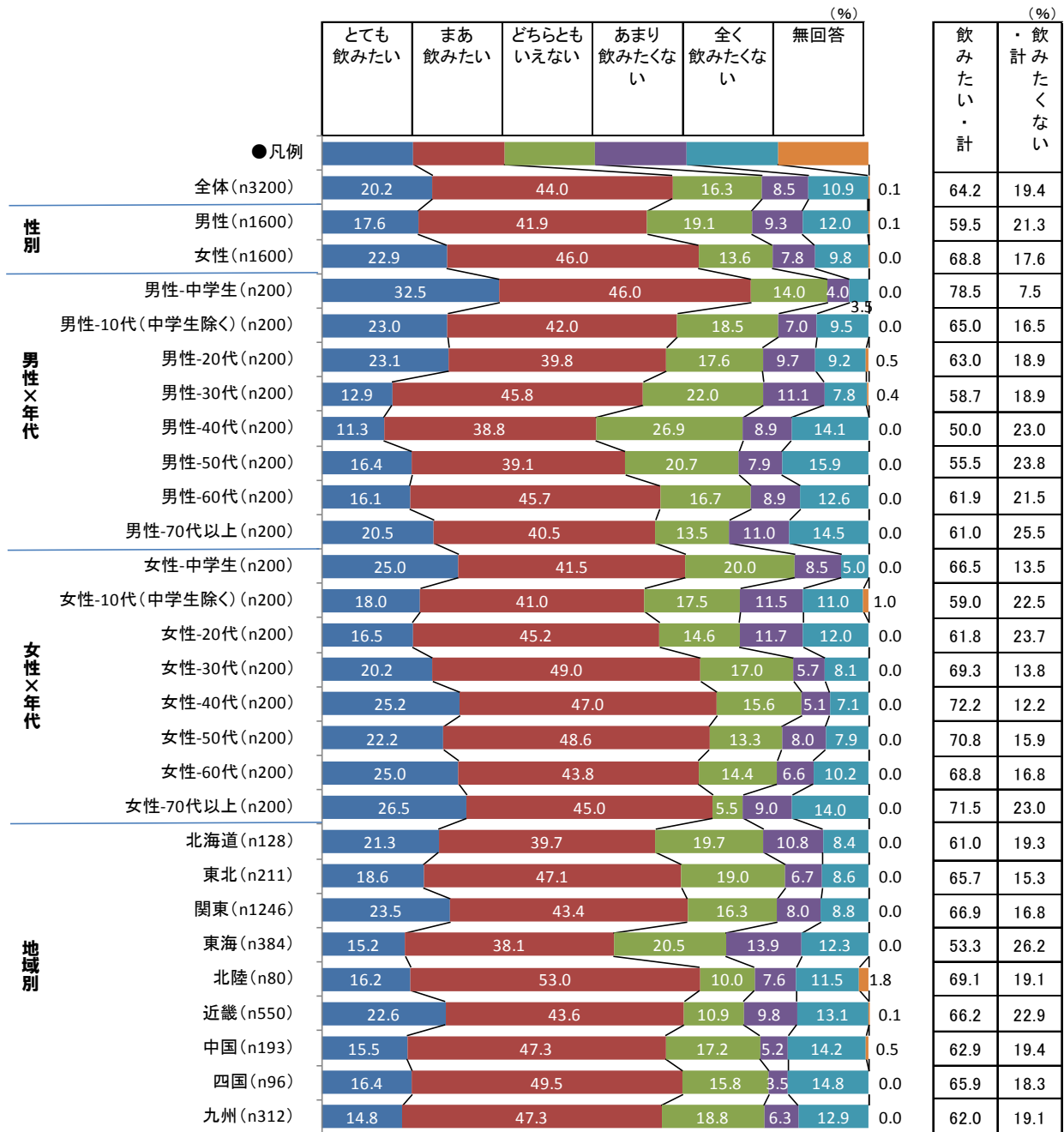
※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

※2009年より「価格が上がった」項目が削除され、「不景気の影響で牛乳を買い控える」「いつもより夏が暑かった」が追加された

### 3. 白もの牛乳類の飲用意向

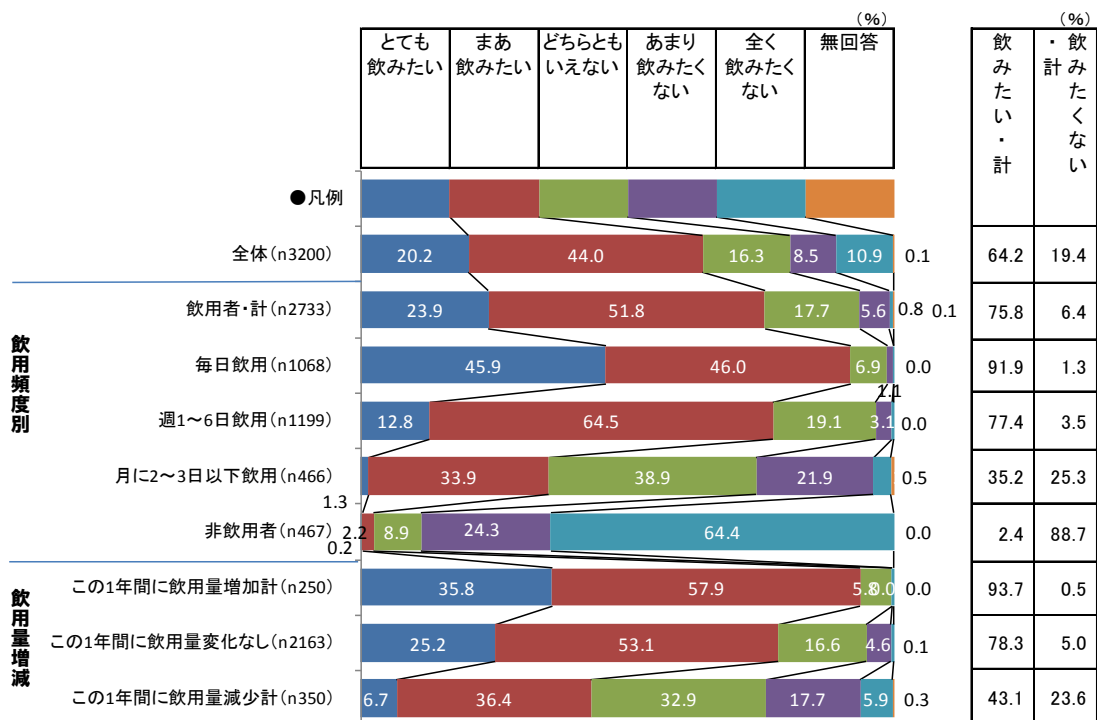
- 現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で質問した。
- 白もの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」20%、「まあ飲みたい」44%となっており、飲みたい計64%が飲用意向を示している。一方、「全く飲みたいくない」は11%、「あまり飲みたいくない」は9%で、飲みたいくない計は20%となる。
- 性別では、飲みたい計で男性が60%、女性が69%となり、女性の方が飲用意向は強い。
- 性年代別では、男子中学生の飲みたい計が79%と最も高い。また、男性は40代で飲用意向が低くなっている。
- 地域別では、近畿において、飲用意向（とても飲みたい）が強い。

【図表Ⅱ-3-1】性・年代別・地域別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



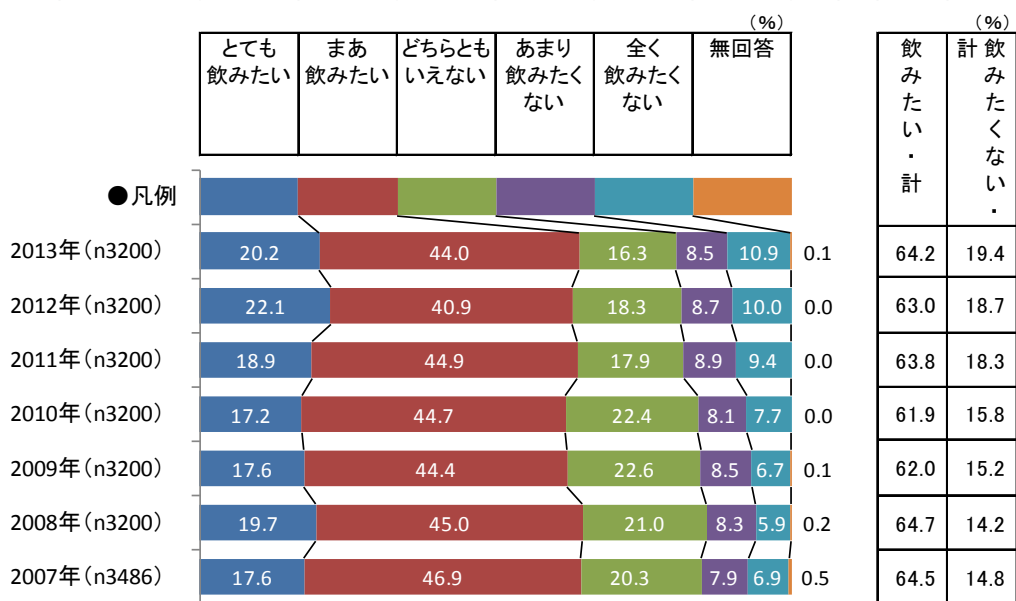
- 現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は、飲用者全体では24%、毎日飲用する人では46%となった。飲みたい計（とても飲みたい+まあ飲みたい）で見ると、毎日飲用する人は92%の飲用意向を示した。
- この1年間の飲用量増減別にみると、増加した人は、飲みたい計で94%、「変化なし」の人でも78%と高い。この1年間に飲用量が減少した人では、43%が飲用意向を示している。

【図表Ⅱ-3-2】 飲用行動別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



■2007年からの時系列で白もの牛乳類の飲用意向を見ると、飲みたいくない計が増加している。

【図表Ⅱ-3-3】 時系列 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

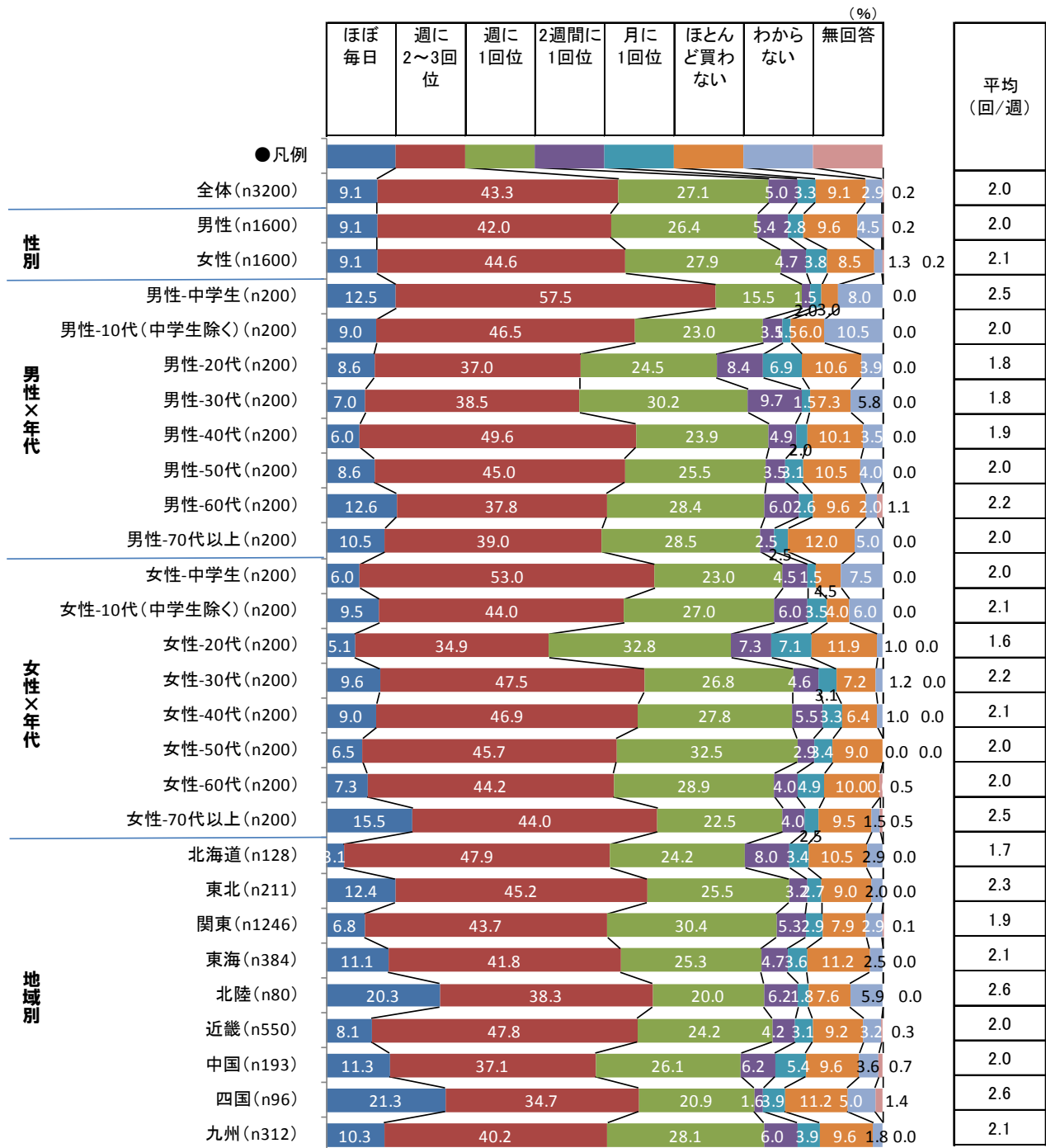


### Ⅲ. 白もの牛乳類の購入実態

#### 1. 白もの牛乳類の購入頻度

- 世帯として白もの牛乳類をどの位の頻度で購入するかを質問した。
- 全体では、「週に2~3回位」が43%で最も多く、次に「週に1回位」が27%となっている。「ほぼ毎日」は9%となっている。週あたりの平均購入頻度は2.0回である。
- 性別では、男性が「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計で51%（平均購入頻度2.0回）、女性が同54%（平均購入頻度2.1回）となっている。
- 性年代別では、「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計で男子中学生が70%と最も高い（平均購入頻度2.5回）。
- 地域別では、北海道・関東の平均購入頻度が少ない。

【図表Ⅲ-1-1】性・年代別・地域別 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）



■白もの牛乳類を購入する頻度を時系列で見ると、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」は、長期的に見ると、減少している傾向がうかがえる。

【図表Ⅲ-1-2】時系列 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）

		(%)							(%)
	n	ほぼ毎日	週に2～3回位	週に1回位	2週間に1回位	月に1回位	ほとんど買わない	わからない無回答	ほぼ毎日＋週に2～3回位
2013年	3,200	9.1	43.3	27.1	5.0	3.3	9.1	3.1	52.4
2012年	3,200	9.7	42.7	28.1	5.4	2.8	8.8	2.4	52.4
2011年	3,200	12.2	41.1	26.9	4.5	3.3	8.9	3.1	53.3
2010年	3,200	13.9	39.9	25.2	6.0	4.0	8.0	1.3	53.8
2009年	3,200	16.4	42.1	23.1	6.2	3.5	7.4	1.3	58.5
2008年	3,200	17.3	41.3	23.9	5.0	3.4	7.3	1.9	58.6
2006年	3,478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5	53.5
2005年	3,896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1	59.2
2004年	4,177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4	61.0
2001年	4,778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7	67.4
2000年	4,632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5	69.7
1999年	4,476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1	72.5
1998年	4,472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3	71.7
1997年	4,547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3	75.0
1996年	4,706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4	72.9
1995年	4,668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7	73.3
1994年	4,617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3	76.0
1993年	4,553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7	75.5
1992年	4,651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0	74.6
1991年	4,714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6	76.5
1990年	4,691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7	78.0
1989年	4,579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0	75.8
1988年	4,604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5	75.4

※2001年までは主婦役割主担当者が回答

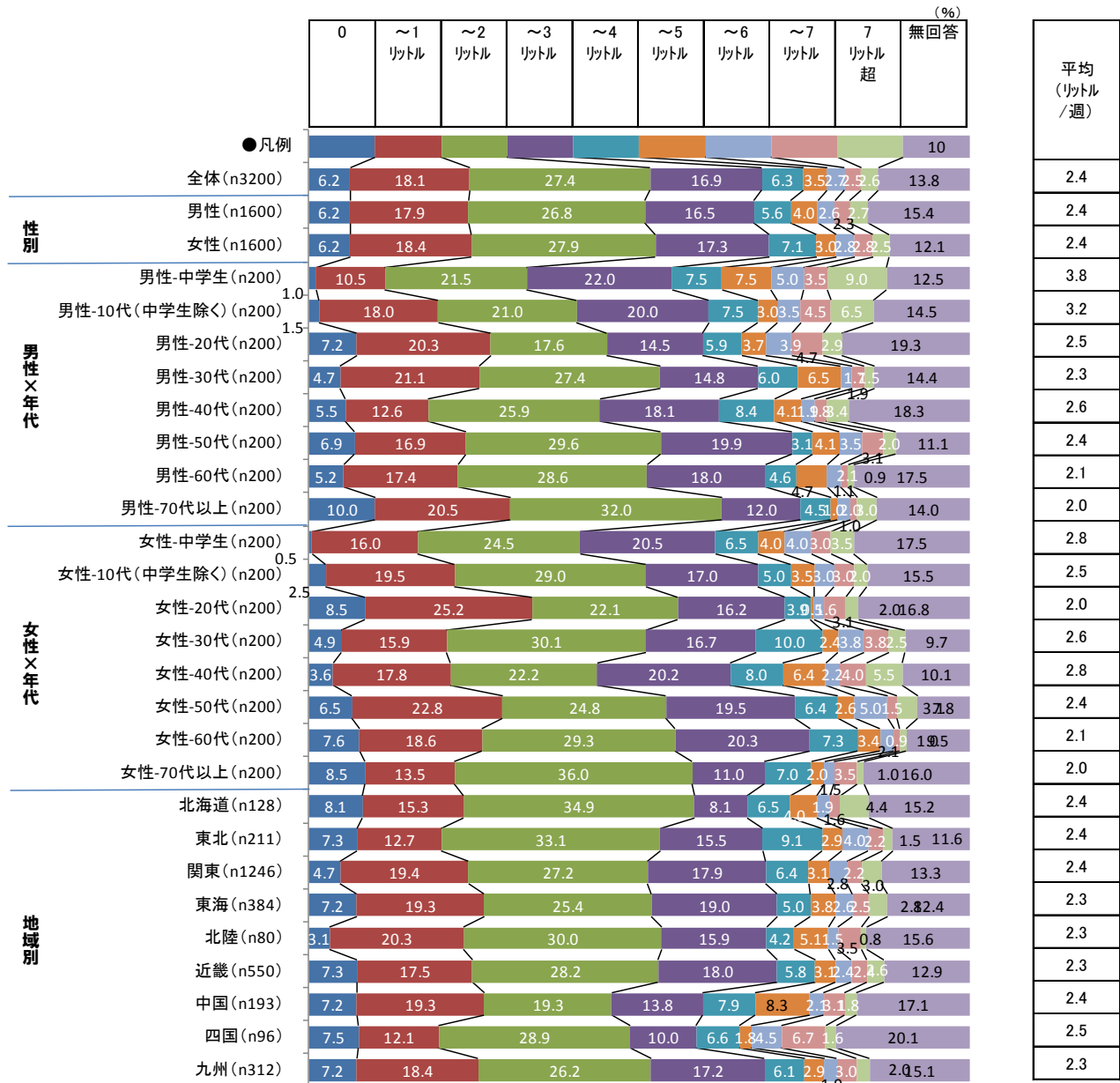
※2004年、2005年、2006年、2008年、2011～2013年の無回答は、「わからない」＋「無回答」



## 2. 白もの牛乳類の購入量

- 世帯として、平均して1週間に白もの牛乳類をどの位購入しているかを質問した。
- 全体では、「1リットル以下」が24%、「1リットル超2リットル以下」がそれぞれ27%で高く、平均で2.4リットルとなっている。
- 性別では、男女ともに平均で2.4リットルとなっている。
- 性・年齢別に見ると、男性10代以下で、平均3リットル以上と多い。
- 地域別では、各エリアで大きな差異は見られない。

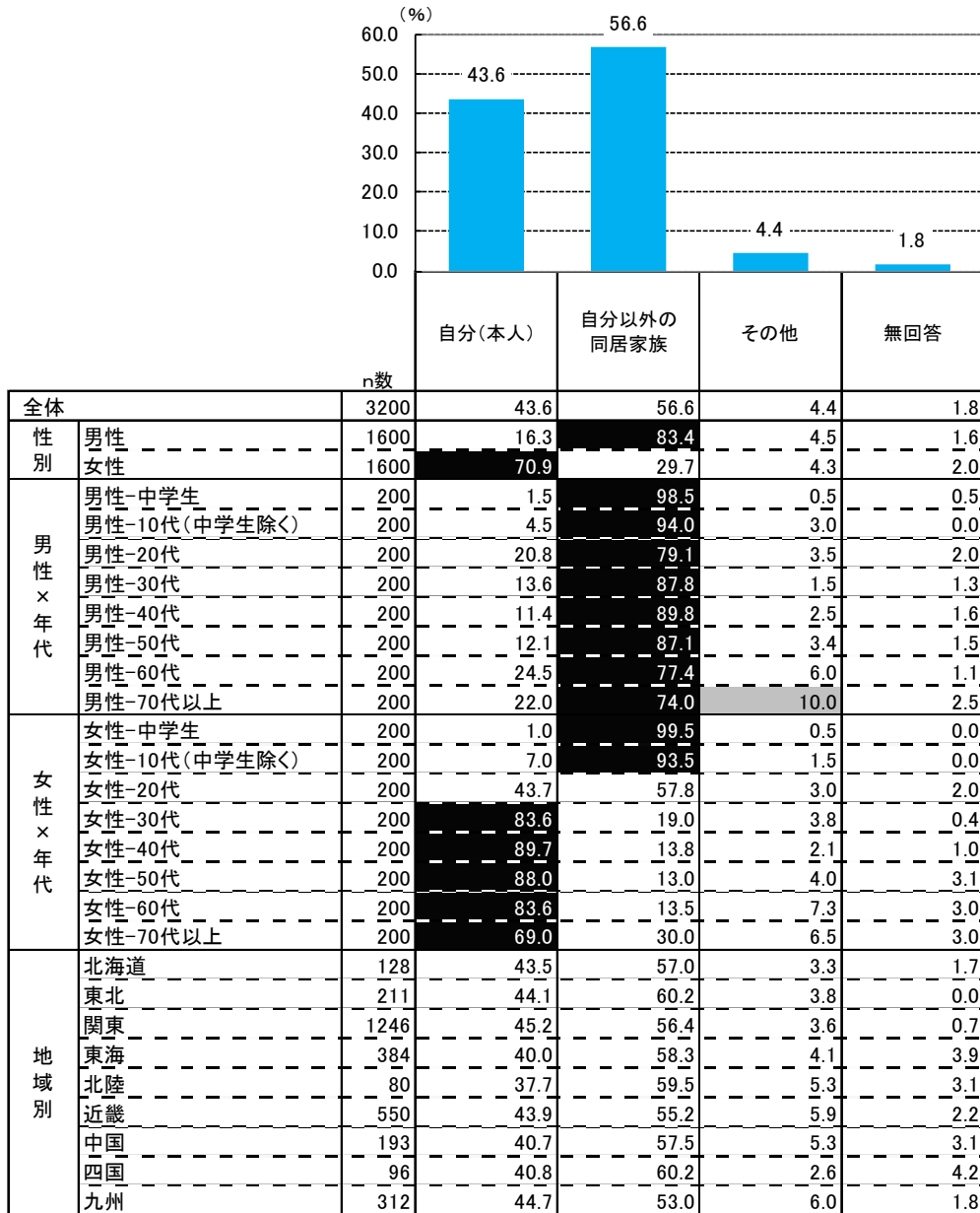
【図表Ⅲ-2-1】性・年代別・地域別 問11 一週間の白もの牛乳類の購入量（SA）



### 3. 白もの牛乳類を購入する人

- 世帯の中で白もの牛乳類の購入者を複数回答で質問した。
- 全体では、「自分（本人）」が44%、「自分以外の同居している家族」が57%となっている。
- 性別では、男性は「自分以外の同居している家族」が83%、女性は「自分（本人）」が71%となる。

【図表Ⅲ-3-1】性・年代別・地域別 問12 白もの牛乳類を購入する人 (MA)

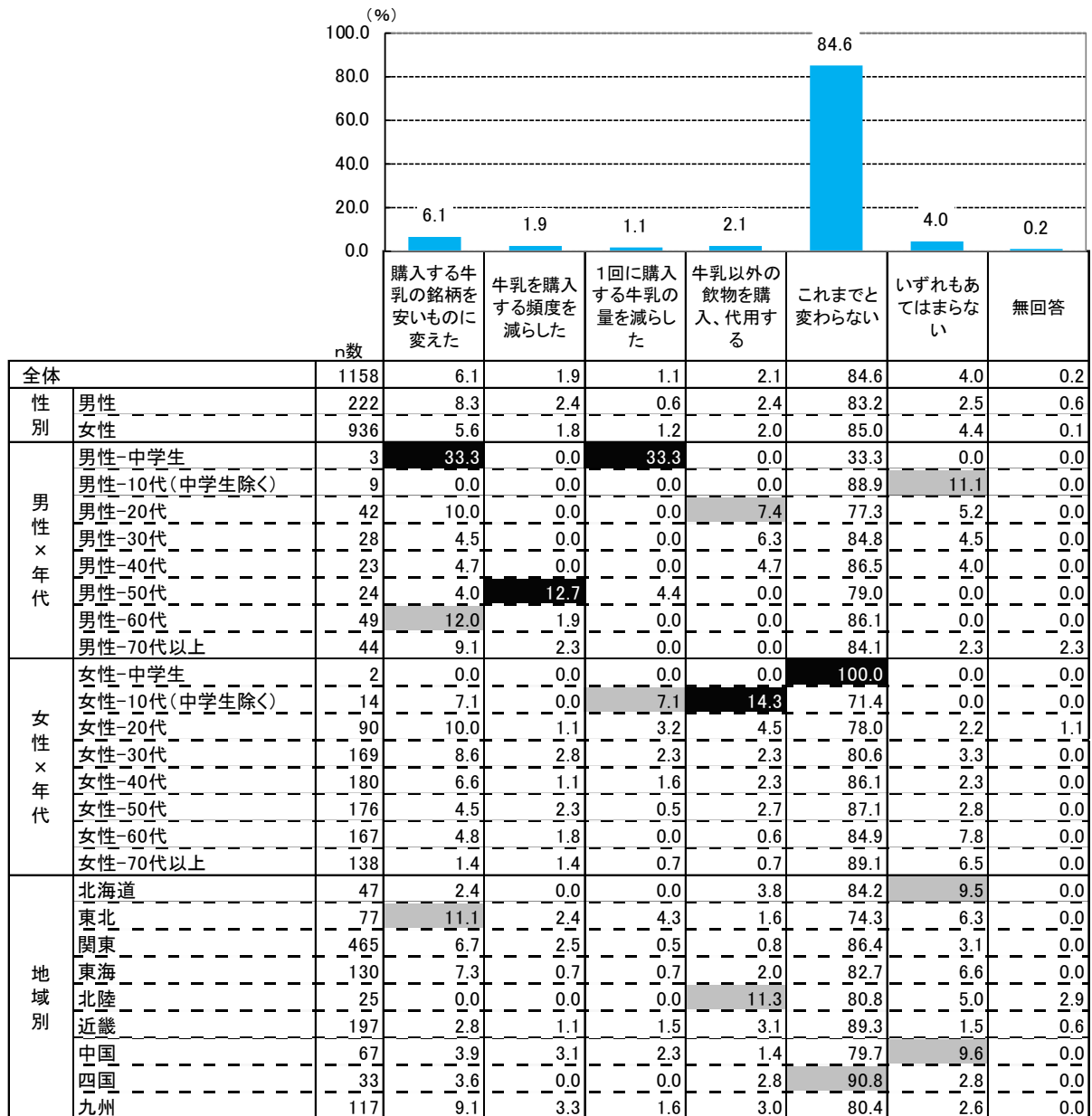


※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

#### 4. 白もの牛乳類の買い方の変化

- 白もの牛乳類を自分で購入する人に、この1年間に買い方が変わったかを質問した。
- 「これまでと変わらない」は、全体では85%となった。性別では、男性が83%、女性が85%となっており、8割程度が変化なしと回答している。

【図表Ⅲ-4-1】性・年代別・地域別 問13 白もの牛乳の「買い方」は変わったか（SA）

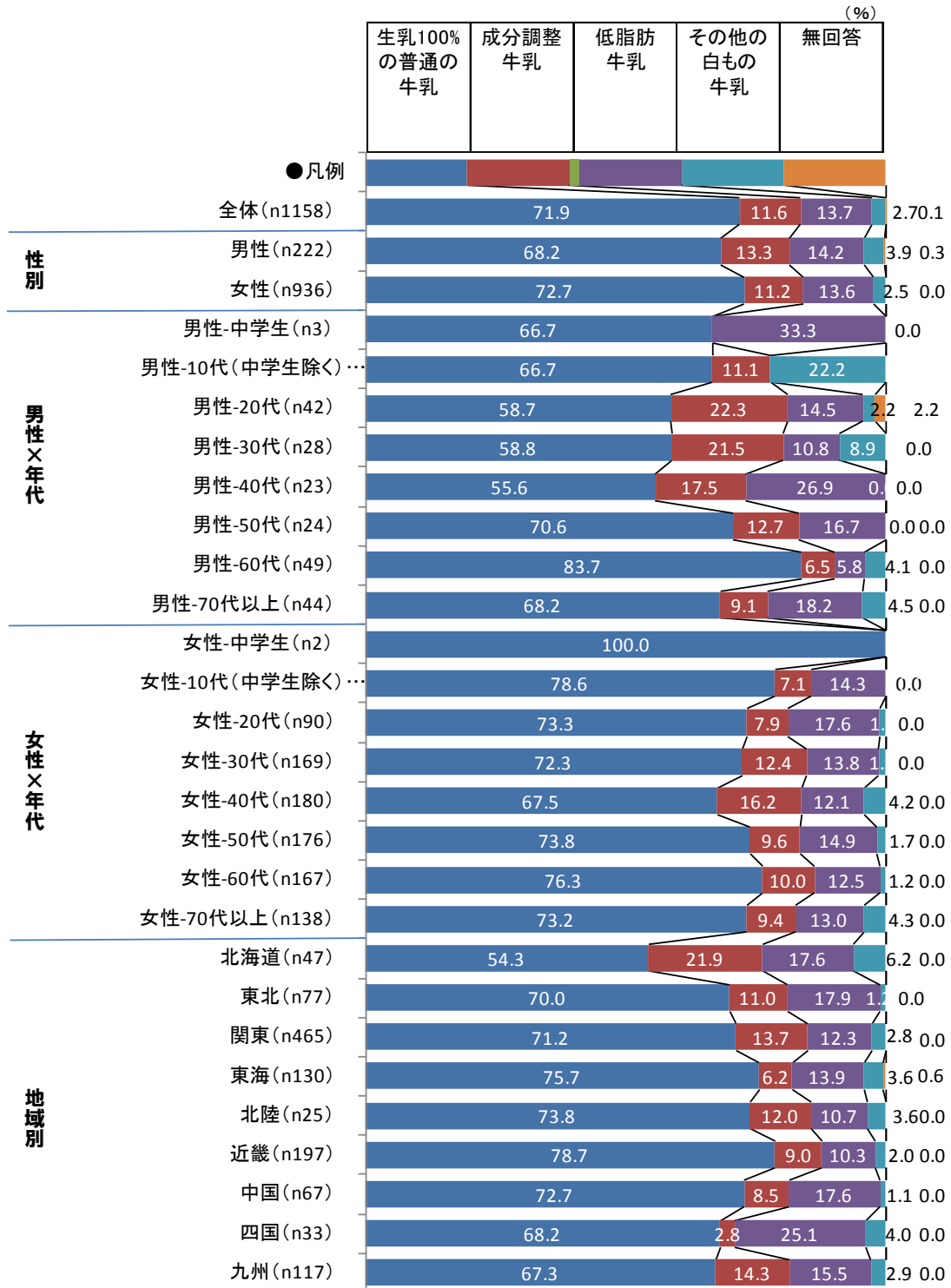


※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

## 5. 主に購入している白もの牛乳類

■ 普段主に購入している白もの牛乳類は、全体では「生乳100%の普通牛乳」が72%で最も多く、次いで「低脂肪牛乳」は14%、「成分調整牛乳」は12%となっている。

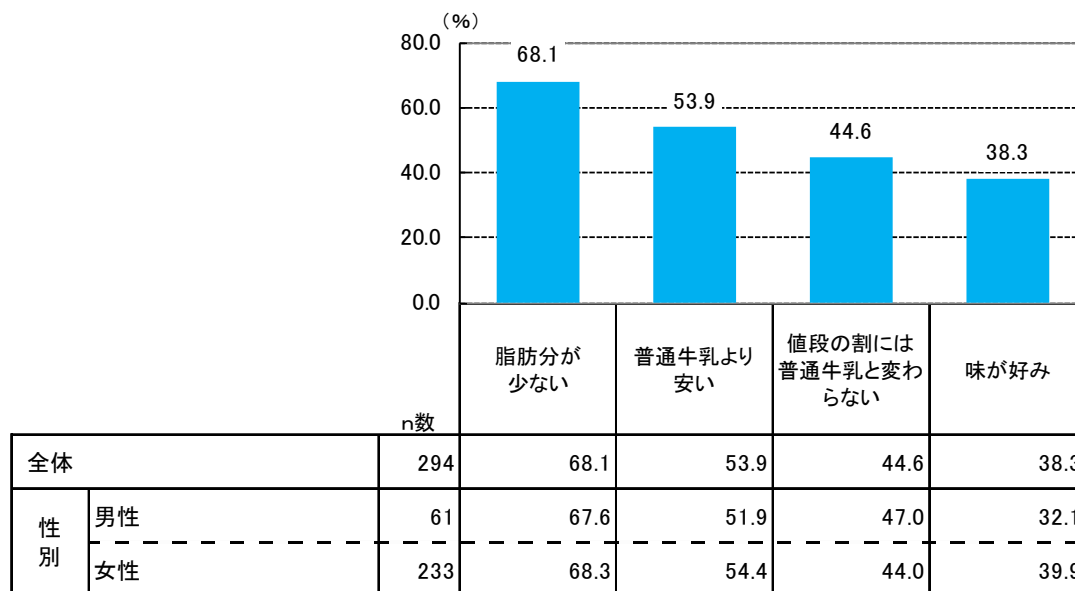
【図表Ⅲ-5-1】性・年代別・地域別 問14 普段購入している白もの牛乳（S.A）



## 6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由

■「成分調整牛乳」「低脂肪乳」を購入する理由は、「脂肪分が少ない」が68%と最も多く、次いで「普通牛乳より安い」が54%、「値段の割には普通牛乳と変わらない」が45%となっている。

【図表Ⅲ-6-1】性・年代別 問15 成分調整牛乳・低脂肪乳購入理由 (MA) <成分調整牛乳・低脂肪乳購入者ベース>



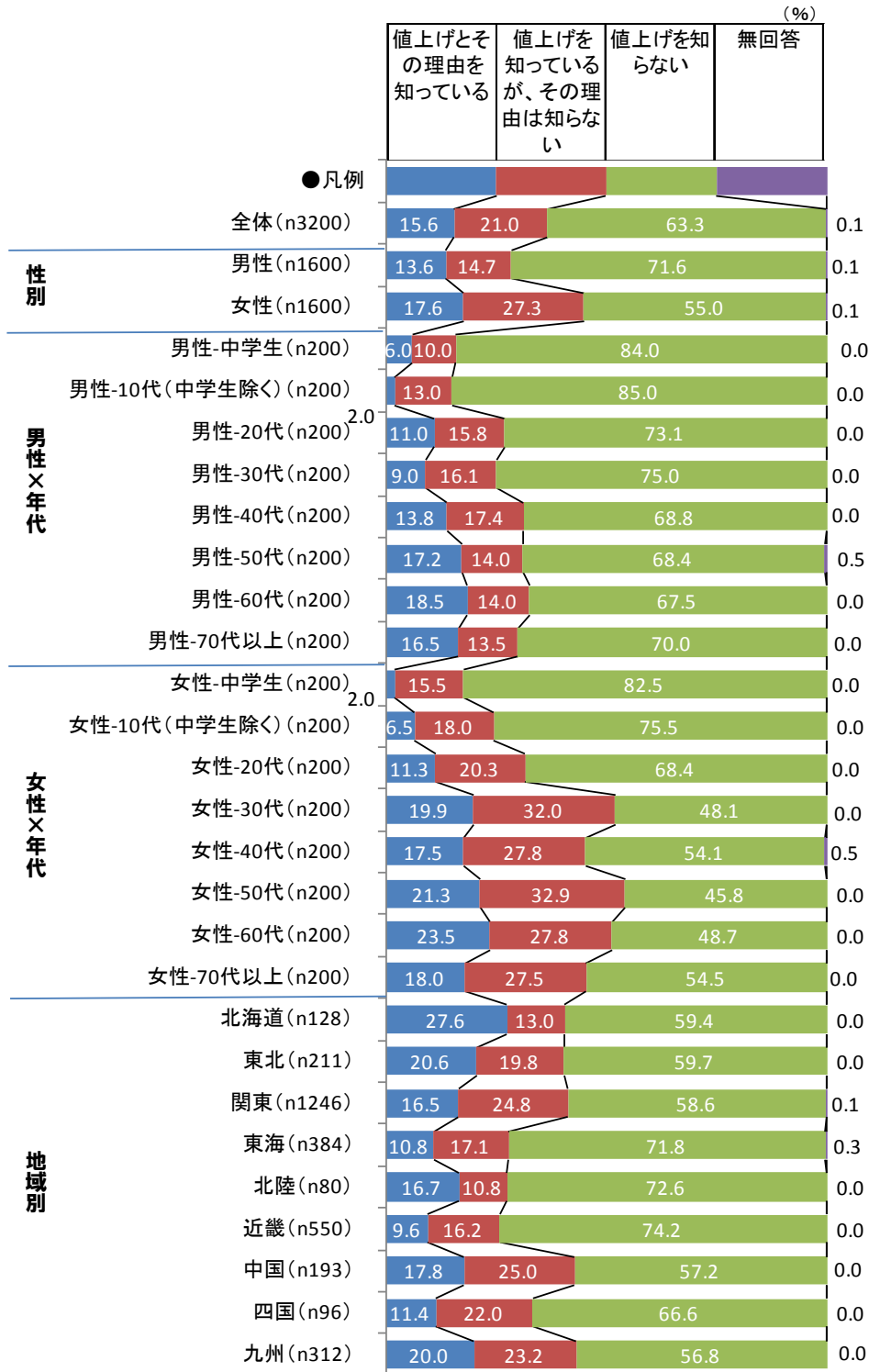
※あてはまる計

7. 平成 25 年 10 月からの牛乳販売価格の値上げについて

(1) 値上げについての認知度

- 平成 25 年 10 月からの牛乳販売価格の値上げについての認知度計（「値上げとその理由を知っている」＋「値上げを知っているが、その理由は知らない」）は 37%であった。半数以上が値上げについて、認知していない。
- 認知度が高いのは、性別では男性よりも女性であり、性年代別では女性 30 代以上である。

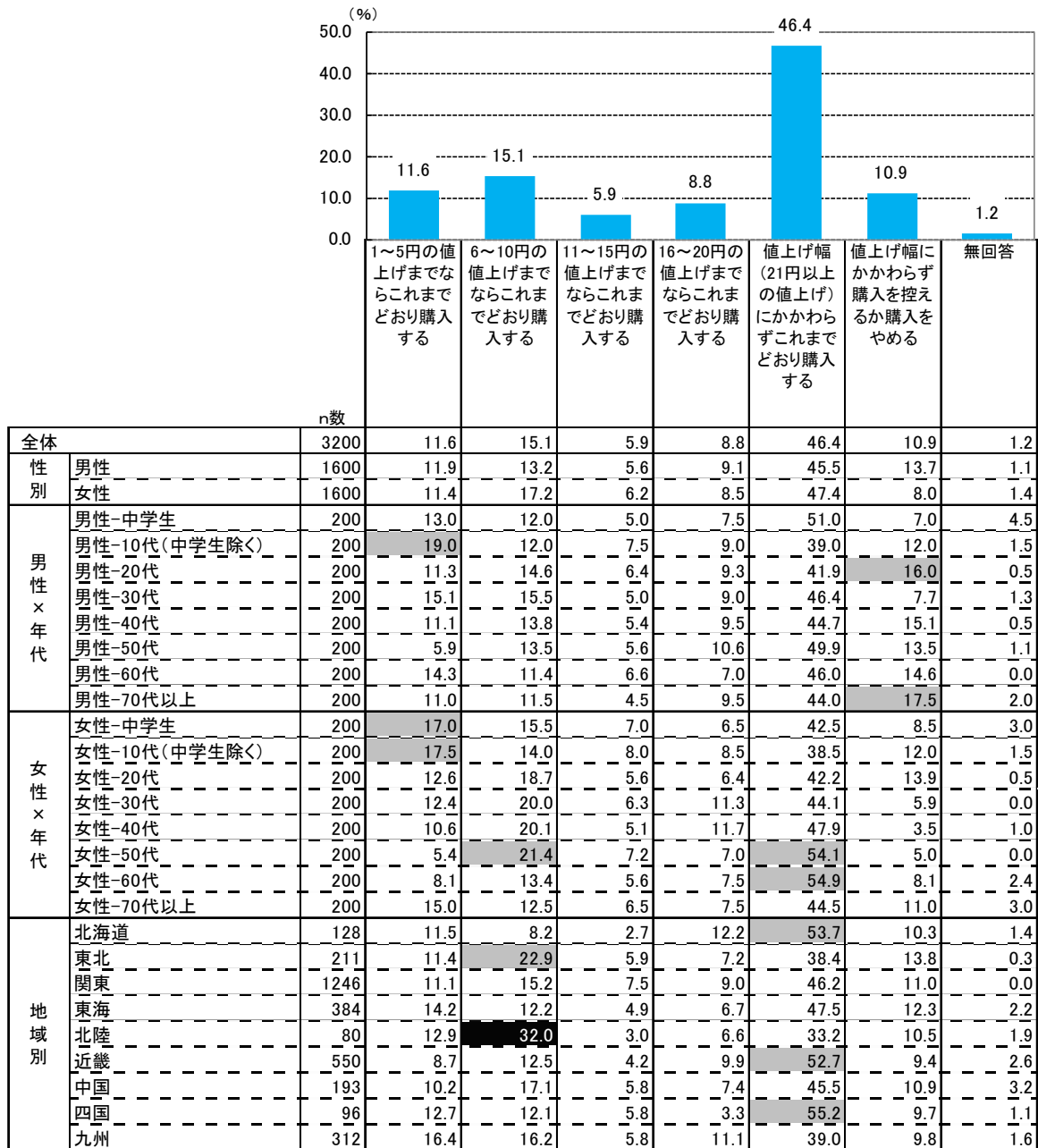
【図表Ⅲ-7-1】性・年代別 問16-1 値上げの認知度（SA）



(2) 値上げになった場合の購入意向

- 値上げになった場合の購入意向（1リットルパックの場合）をたずねると、9割の人が「これまで通り購入する」と回答している。ただし、内訳を見ると、「1～5円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が12%、「6～10円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が15%、「11～15円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が6%、「16～20円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が9%、「値上げ幅（21円以上の値上げ）にかかわらずこれまでどおり購入する」が46%となっている。10円以下の値上げでも、27%が購入をやめる可能性がある。
- 乳価引上げに伴う、牛乳販売価格の値上げに加えて、2014年度は消費税も増税される。消費者の購入意向については、今後も慎重に推移を見守る必要がある。

【図表Ⅲ-7-2】性・年代別 問16-2 値上げになった場合の購入意向（SA）



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

## IV. 普段よく飲む飲み物

### 1. 普段よく飲む飲み物

■ 普段よく飲用する飲み物の種類を質問した。

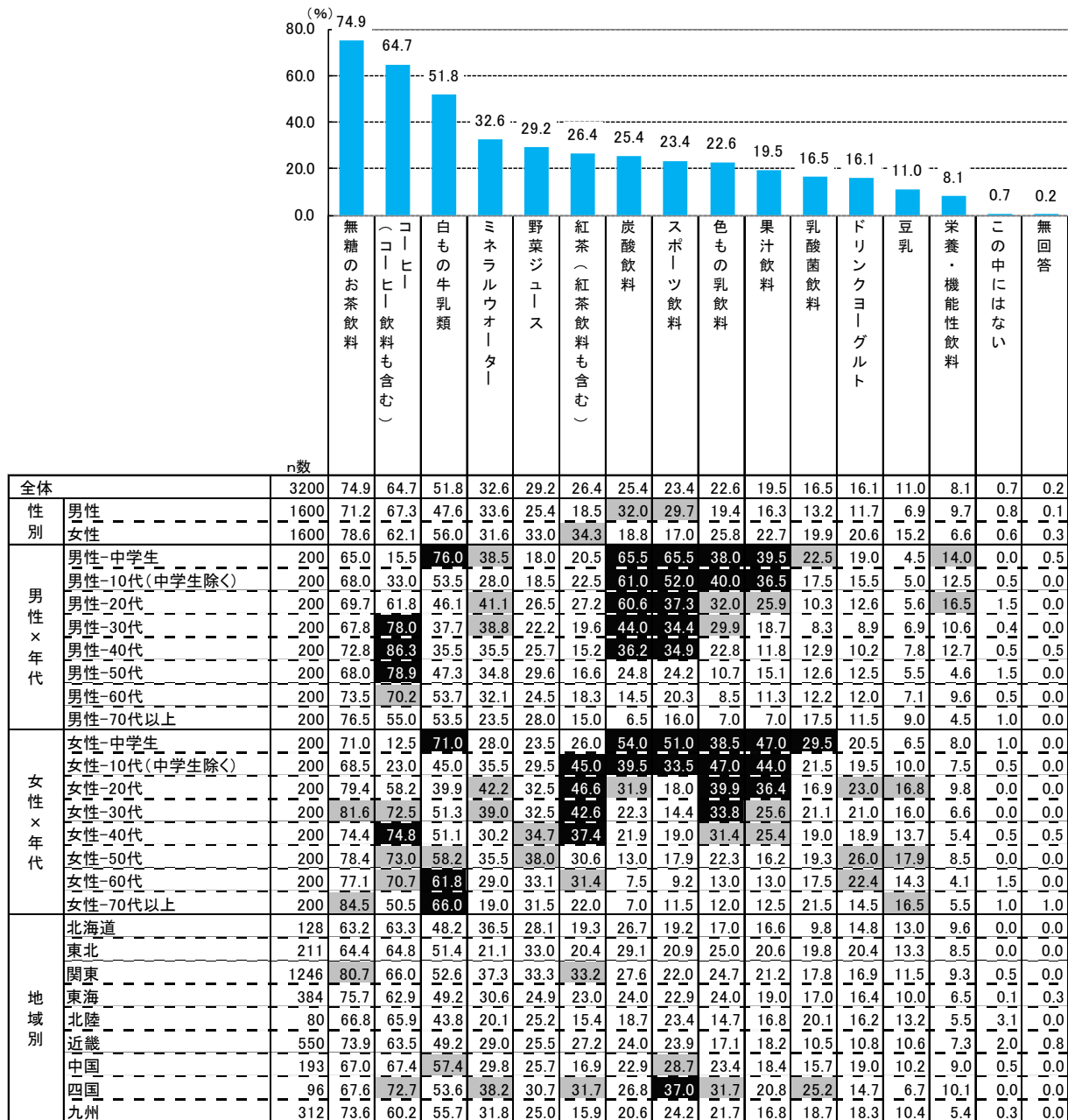
■ 全体では「無糖のお茶飲料」が75%と、他の飲み物に比べ最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」が65%、「白もの牛乳類」が52%で上位。以下、「ミネラルウォーター（33%）」「野菜ジュース（29%）」「紅茶（26%）」「炭酸飲料（25%）」「スポーツ飲料（23%）」が続いている。

■ 性別では、「白もの牛乳類」は男性が48%、女性が56%となっている。

■ 性年代別では、「白もの牛乳類」は男子中学生、女子中学生、女性60代で、全体より10%以上ポイントが高くなっており、「白もの牛乳類」が普段よく飲用する飲み物として位置付けられている。

■ 地域別では、「白もの牛乳類」は中国で全体より5%以上ポイントが高くなっている。

【図表IV-1-1】 性・年代別・地域別 問17 普段よく飲む飲み物（MA）



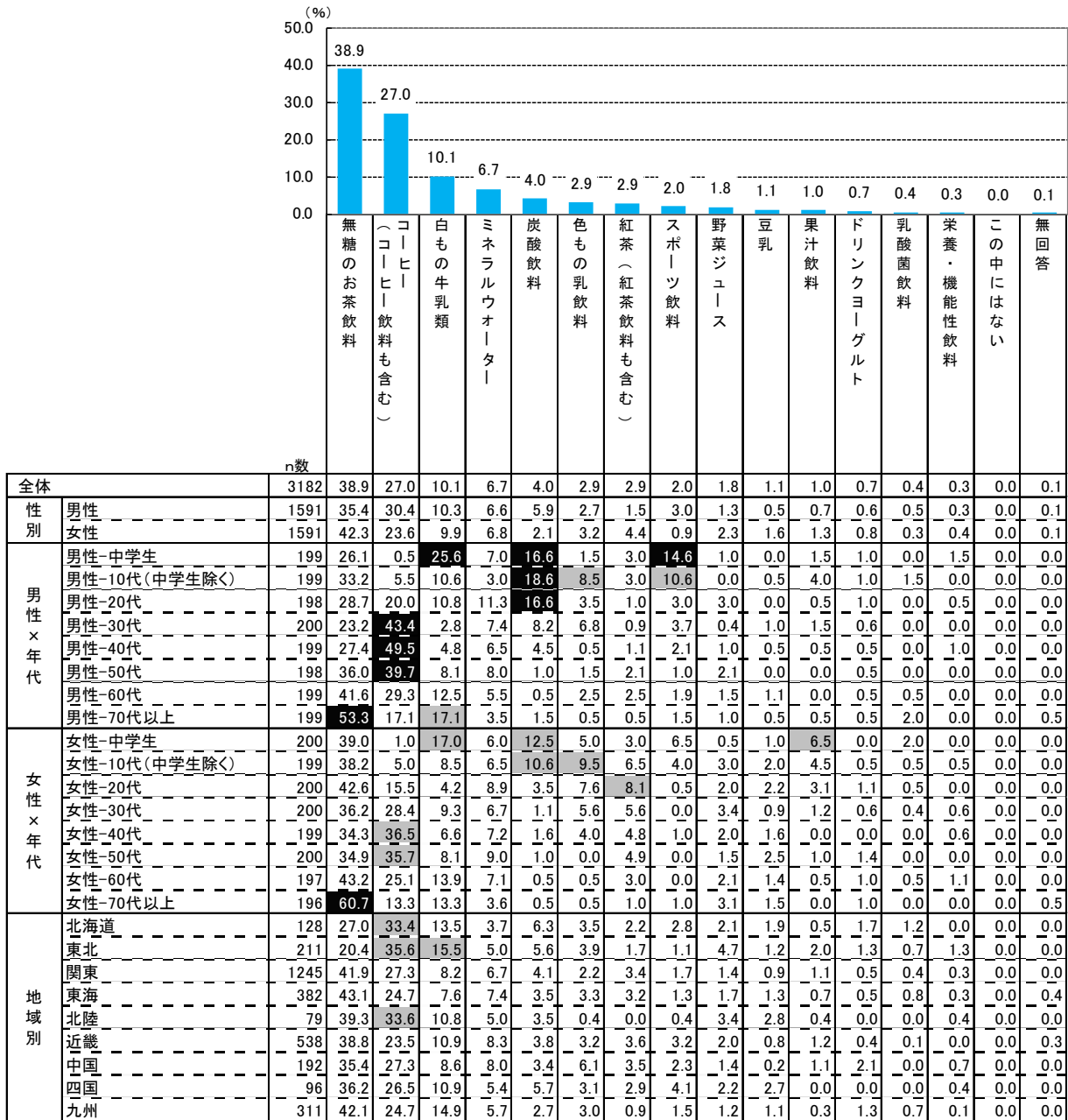
※ ■ = 全体より、10%以上高い、 ■ = 全体より、5%以上高い、



## 2. 普段もっともよく飲む飲み物

- 普段よく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを質問した。
- 全体では「無糖のお茶飲料」が39%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」(27%)、「白もの牛乳類」(10%)の順となっている。
- 性別では、「白もの牛乳類」は男女ともに10%となっている。
- 性年代別では、「白もの牛乳類」は男子中学生が、全体より10%以上ポイントが高くなっている。
- 地域別では、「白もの牛乳類」は東北で全体より5%以上ポイントが高くなっている。

【図表IV-2-1】性・年代別・地域別 問18 普段もっともよく飲む飲み物 (SA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い | ■ = 全体より、5%以上高い

■参考に、普段よく飲む飲み物を2007年からの時系列変化で見ると、「ミネラルウォーター」「炭酸飲料」が伸びている。

【図表IV-2-2】時系列 問17 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2013年	3,200	51.8	22.6	16.1	16.5	19.5	29.2	11.0	25.4	64.7	26.4	74.9	23.4	8.1	32.6	0.7	0.2
2012年	3,200	56.2	22.8	15.3	18.8	21.1	28.9	10.3	26.6	64.2	25.1	73.2	26.8	8.4	32.3	0.4	0.0
2011年	3,200	53.2	23.1	13.8	17.7	19.2	28.1	9.0	23.9	61.4	24.4	74.2	25.0	6.8	30.3	0.8	0.1
2010年	3,200	48.8	24.7	12.7	18.3	19.3	23.6	8.9	22.7	63.0	22.6	70.1	26.3	6.2	27.7	0.2	0.0
2009年	3,200	54.8	25.9	14.6	19.8	19.2	24.0	8.4	21.0	60.8	22.6	71.7	24.3	8.5	26.8	0.3	0.0
2008年	3,200	56.7	19.6	11.8	16.4	17.1	24.1	7.8	19.2	55.1	22.0	65.2	25.1	8.9	22.2	0.7	0.1
2007年	3,486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2006年	3,478	49.5	/	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3,896	64.0	/	22.7	/	27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1	/	29.4	0.4	0.1
2002年	4,277	67.9	/	19.5	/	28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9	/	30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし

※02年、05年は、06年・07年・08年とは質問形式が異なる

■最もよく飲む飲み物を2007年からの時系列変化で見ると、「コーヒー(飲料)」が伸びている。

【図表IV-2-3】時系列 問18 普段もっともよく飲む飲み物 (SA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2013年	3,182	10.1	2.9	0.7	0.4	1.0	1.8	1.1	4.0	27.0	2.9	38.9	2.0	0.3	6.7	0.1
2012年	3,191	10.8	3.0	0.7	0.8	1.3	1.4	1.2	4.0	25.2	2.9	39.0	2.6	0.3	6.4	0.2
2011年	3,194	10.8	3.3	0.5	1.0	1.1	1.6	1.1	4.3	23.4	2.8	39.6	2.7	0.6	7.0	0.2
2010年	3,192	10.9	3.2	0.8	1.2	1.3	1.7	0.7	3.3	26.6	2.5	37.0	2.4	0.3	6.4	1.4
2009年	3,193	11.7	2.9	0.8	1.3	1.3	2.0	0.6	3.0	24.5	2.5	39.9	2.5	0.6	5.9	0.7
2008年	3,178	16.0	3.0	0.9	1.5	1.8	2.4	0.9	2.6	24.2	2.1	35.7	2.8	0.6	5.2	0.3
2007年	3,475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2006年	3,478	11.8	/	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3,877	15.4	/	0.6	/	0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3	/	4.8	0.1
2002年	4,259	15.2	/	0.5	/	1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8	/	2.5	0.5

※斜線はデータなし

※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース

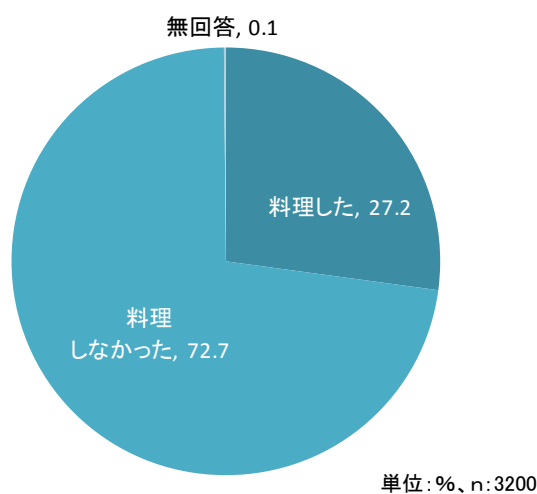
※02年、05年は、06年以降とは質問形式が異なる

## V. 白もの牛乳類を使った料理の実態

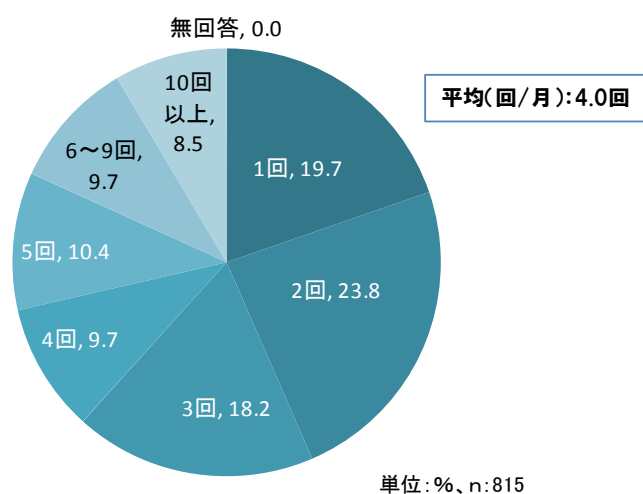
### 1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

- 白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを質問した。次に、料理を作ったと回答した人には、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を質問した。
- 白もの牛乳類を使って料理をしたのは、全体で27%となった。
- 料理回数は「2回(24%)」とする人が最も多く、「1回(20%)」、「3回(18%)」と続く。平均料理回数は4.0回(回/月)である。
- 白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1リットル以上」とする人が26%で最も多く、次いで「1カップ(200cc)」が24%である。平均使用量は479.5ml(ml/月)であった。

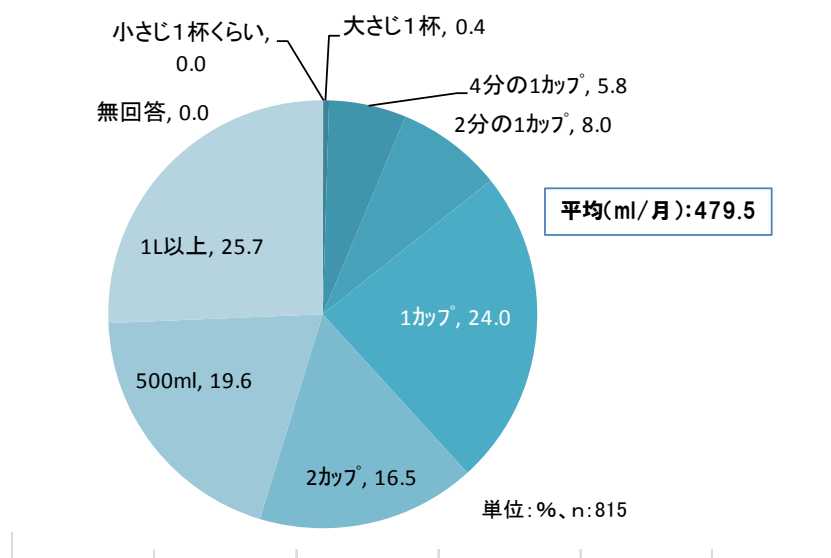
【図表V-1-1】 問19 白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



【図表V-1-2 問】 19-1 白もの牛乳類の料理回数 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

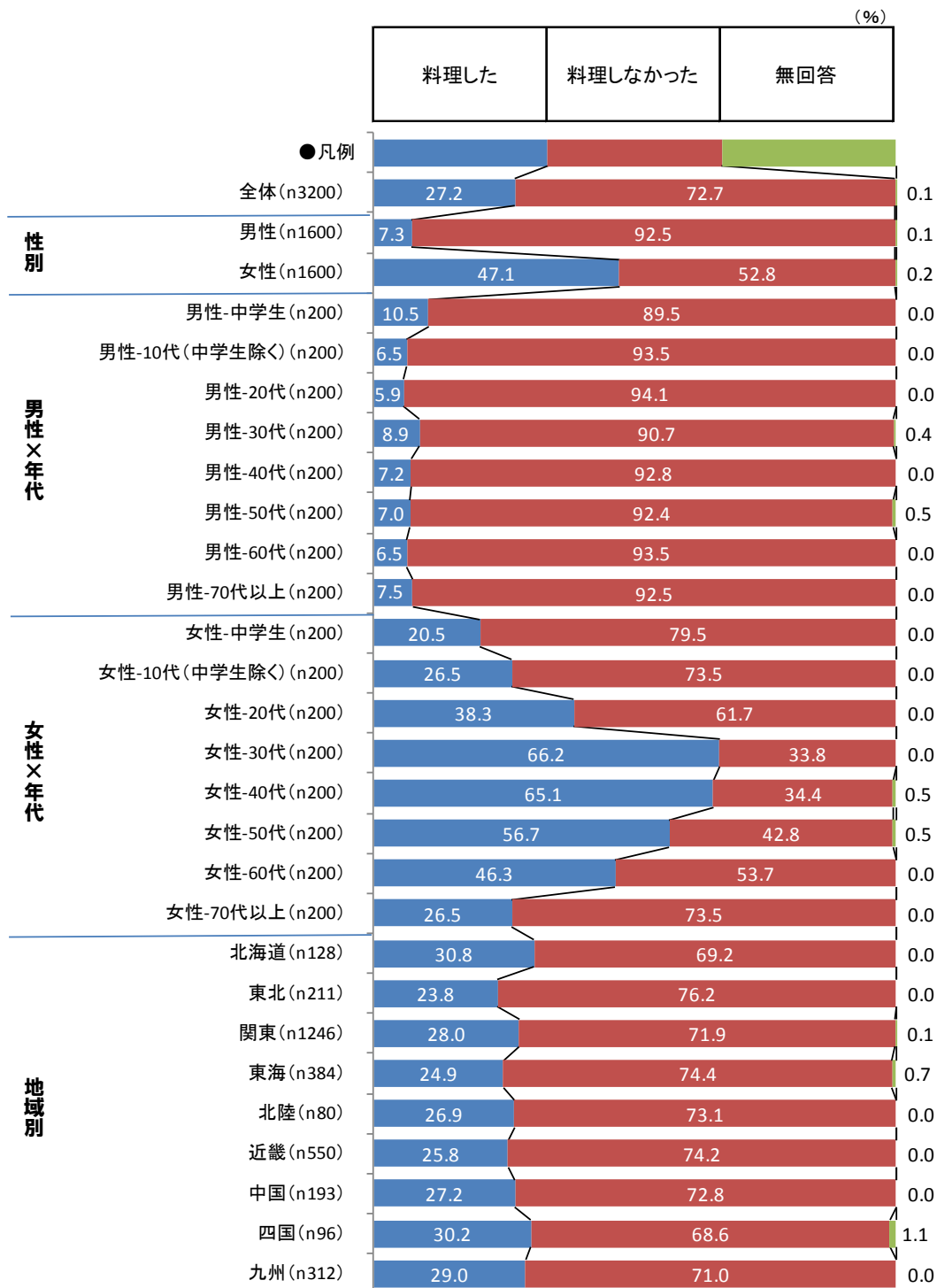


【図表V-1-3】 問 19-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）＜この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース＞



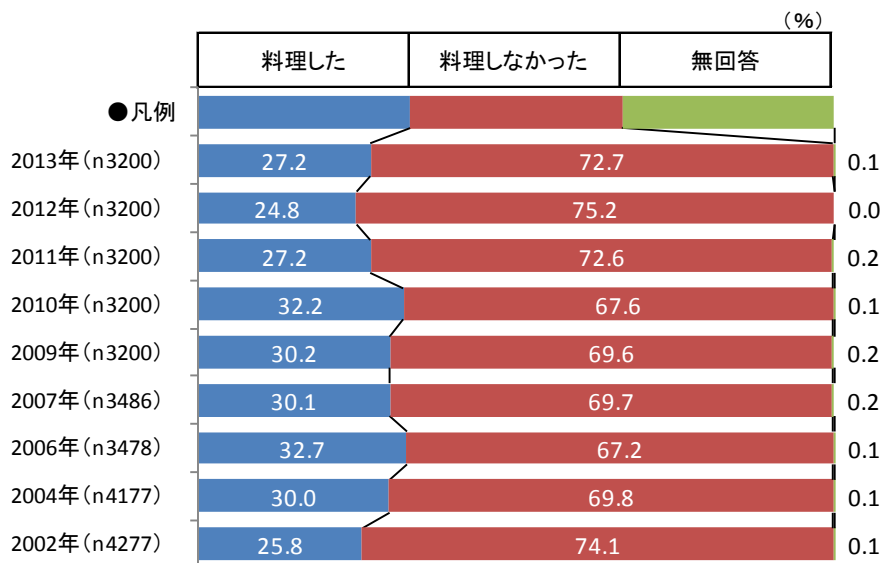
- 調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を性別にみると、男性が7%、女性が47%となった。
- 性年代別では、女性では30~40代が6割程度と高くなっている。
- 地域別では、北海道の31%、四国の30%が目立っている。

【図表V-1-4】性・年代別・地域別 問19 白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



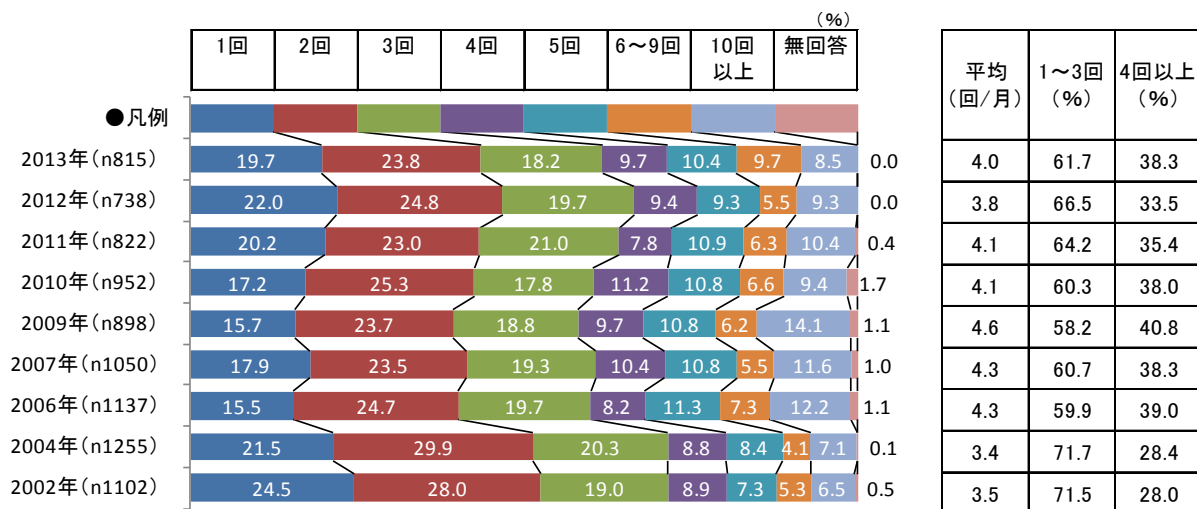
■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を時系列で見ると、2013年度は2012年度より2ポイント上昇している。

【図表V-1-5】時系列 問19 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした回数を時系列で見ると、2013年度は月平均4.0となり、0.2回増加している。

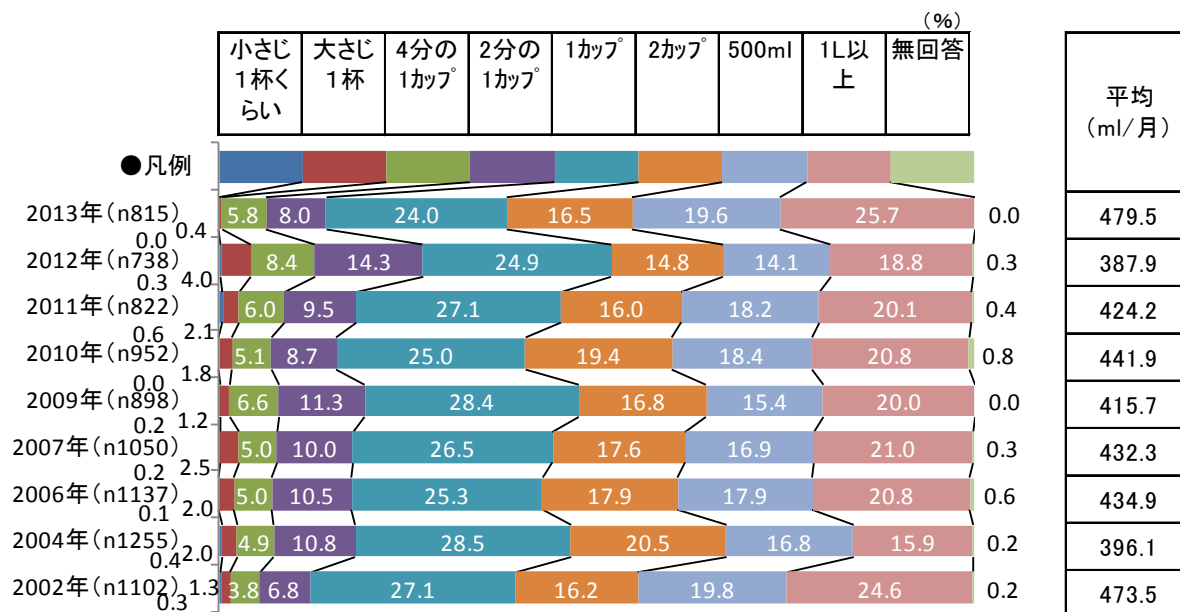
【図表V-1-6】時系列 問19-1 白もの牛乳類の料理回数（SA） <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



■白もの牛乳類の料理使用量を時系列で見ると、2013年度は平均479.5ml（ml/月）となり、2012年度よりも91.6ml増加している。

【図表V-1-7】時系列 問19-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

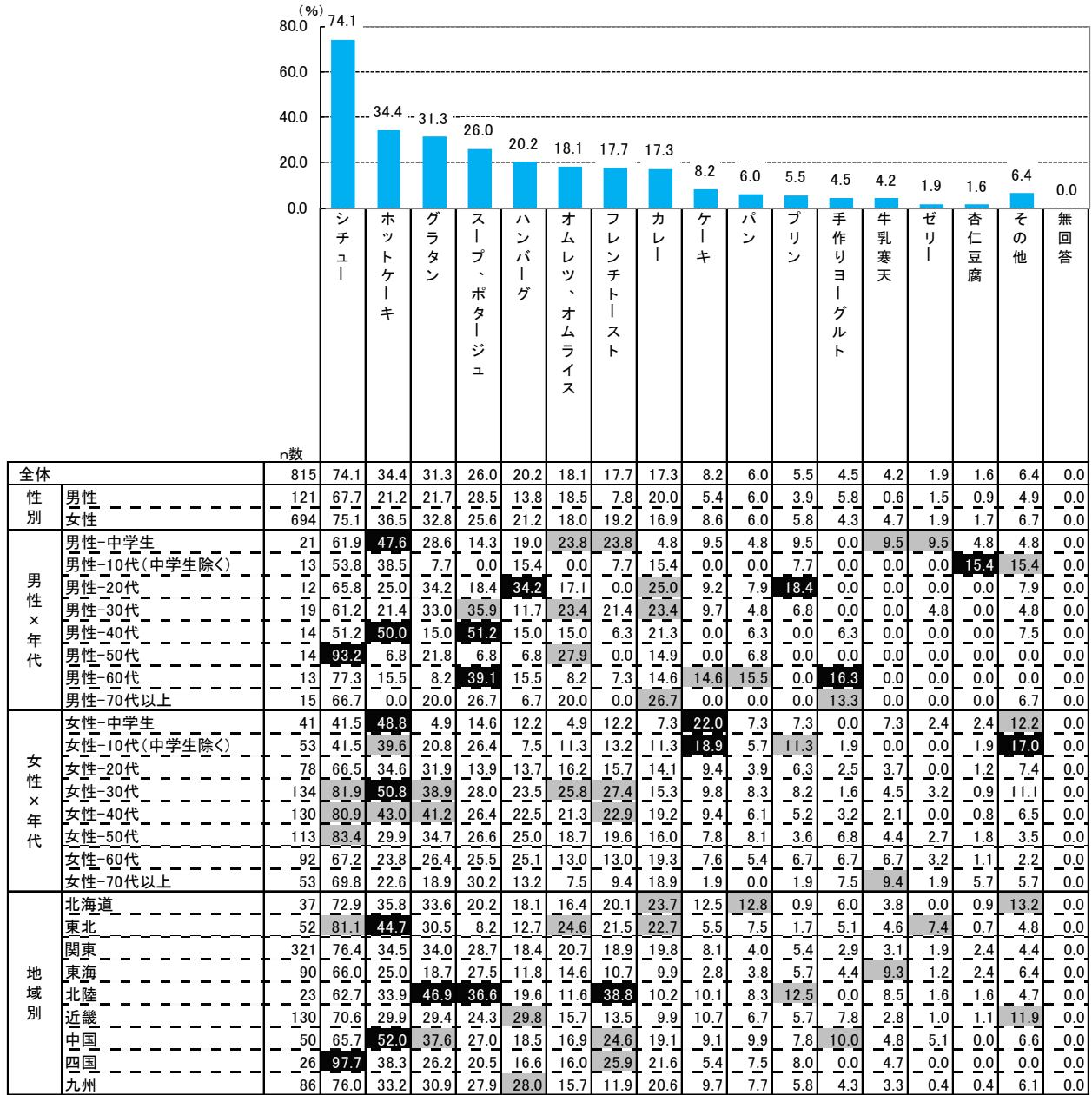


## 2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理

- 調査時点の1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人に、その種類を質問した。
- 全体では「シチュー」が74%、「ホットケーキ」が34%、「グラタン」が31%となっている。

【図表V-2-1】 性・年齢別・地域別 問19-2 この1ヶ月の牛乳を使った料理 (MA)

〈この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース〉



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い



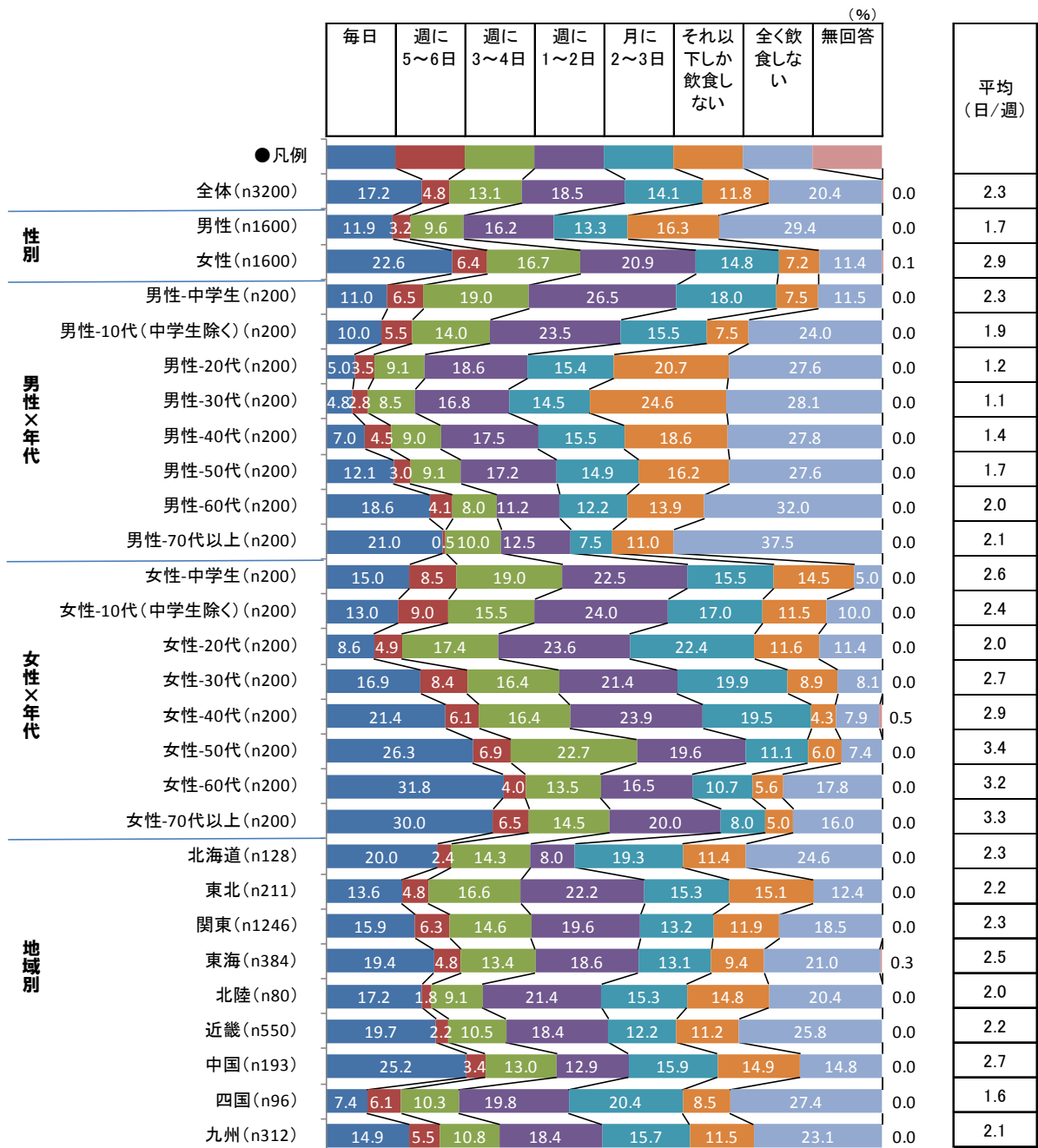
## VI. 乳製品の飲食実態

### 1. ヨーグルトの飲食状況

#### (1) ヨーグルトの飲食頻度

- 日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを質問した。
- 全体では、「毎日」飲食する人は17%であり、週に1日以上飲食する人までの合計で54%となっている。平均の飲食頻度は2.3日（日/週）。一方、「全く飲食しない」という人は20%である。
- 性別では、週に1日以上飲食する人の計で男性は41%、女性は67%となり、女性の方が飲食頻度は高い。
- 性年代別に見ると、男性は70代まで、女性は50代までは、年代の上昇とともに飲食頻度も高くなるのがわかる。
- 地域別では、東海・中国での飲食頻度が比較的高く、飲食頻度は東海が平均2.5日（日/週）、中国が平均2.7日（日/週）となっている。

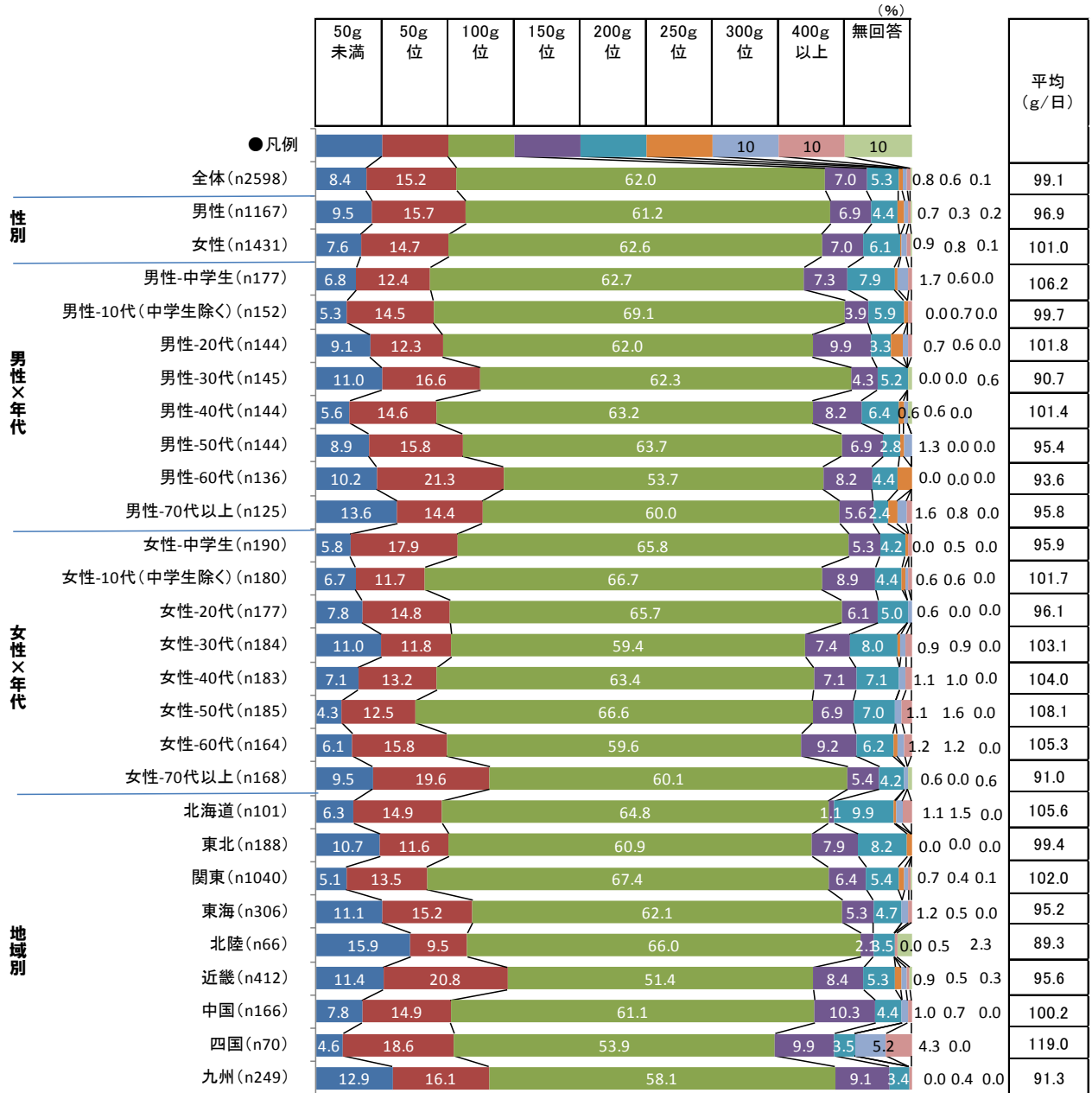
【図表VI-1-1】性・年代別・地域別 問20 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度（SA）



## (2) ヨーグルトの飲食用量

- ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食用量を質問した。
- 全体では「100g位」と答えた人が62%を占め、平均では一日に99.1gとなっている。
- 性別では、一日の平均は男性が96.9g、女性が101.0gであり、女性の方が飲食用量はやや多い。
- 性年代別には、男性では、若年層の方が飲食用量は多い傾向がうかがえる。

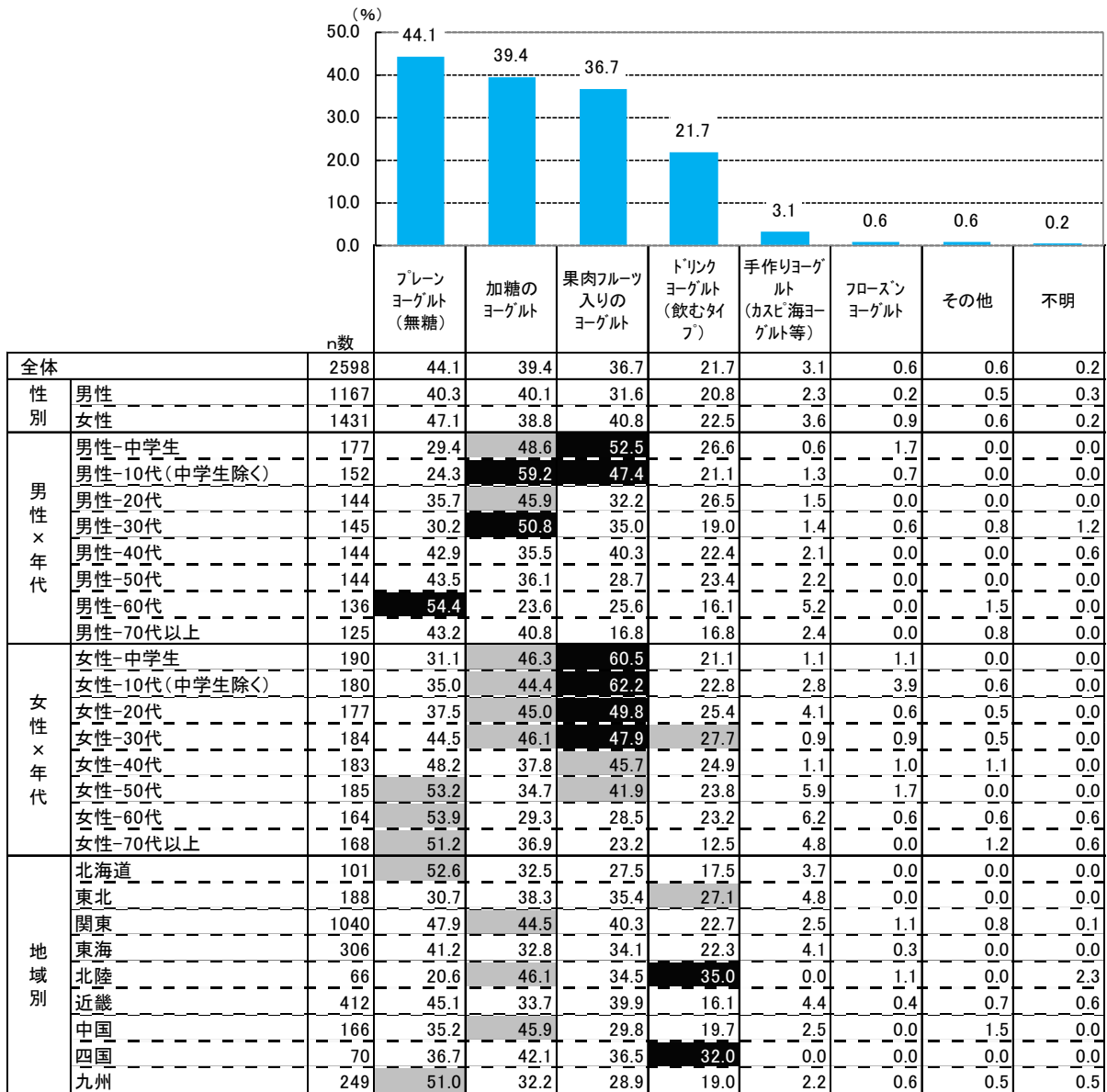
【図表VI-1-2】 性・年代別・地域別 問21 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA） <飲食者ベース>



### (3) ヨーグルトのタイプ

- ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを質問した。
- 全体では、上位は「プレーンヨーグルト」が44%、「加糖のヨーグルト」が39%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が37%となっている。
- 性別で見ると、女性の「プレーンヨーグルト」が47%であり、男性よりも7ポイント上回っている。
- 性年代別では、若年層は「加糖のヨーグルト」や「果肉フルーツ入りのヨーグルト」を食べる傾向が強い。

【図表VI-1-3】性・年代別・地域別 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

■日頃ヨーグルトを飲食する頻度を時系列で見ると、2013年度の「週に1日以上食べる」割合は54%であり、2012年度と比較すると、同程度であった。

【図表VI-1-4】時系列 問20 日頃ヨーグルトを飲食する頻度 (SA)

(%)

	n	毎日食べる/飲む	週に5~6日食べる/飲む	週に3~4日食べる/飲む	週に1~2日食べる/飲む	月に2~3日食べる/飲む	それ以下しか食べない/飲まない	全く食べない/飲まない	無回答	週に1日以上食べる・計
2013年	3,200	17.2	4.8	13.1	18.5	14.1	11.8	20.4	0.0	53.7
2012年	3,200	18.4	5.5	13.3	17.3	14.6	10.9	20.1	0.0	54.4
2011年	3,200	15.4	5.7	11.1	20.1	16.4	12.1	18.9	0.3	52.3
2010年	3,200	15.2	5.2	13.2	17.6	18.2	12.7	17.9	0.0	51.2
2009年	3,200	15.0	6.3	12.2	18.9	17.8	12.1	17.7	0.1	52.4
2008年	3,200	14.6	5.0	13.9	20.3	17.6	11.8	16.8	0.1	53.8
2007年	3,486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1	54.7
2006年	3,478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1	54.1
2005年	3,896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1	58.6

■1日のヨーグルトの飲食量を時系列で見ると、2013年度は前年度と比較では、ほぼ同程度の結果となった。

【図表VI-1-5】時系列 問21 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量 (SA) <ヨーグルト飲食者ベース>

(%)

	n	50g未満	50g位	100g位	150g位	200g位	250g位	300g位	400g以上	無回答	50g以下・計	100g位	200g以上・計
2013年	2,598	8.4	15.2	62.0	7.0	5.3	0.6	0.8	0.6	0.1	23.6	77.1	7.3
2012年	2,615	8.5	14.6	62.8	5.7	6.0	0.6	1.3	0.5	0.1	23.1	77.4	8.3
2011年	2,586	9.9	16.6	59.2	6.7	5.7	0.8	0.4	0.6	0.1	26.5	75.8	7.5
2010年	2,663	11.6	12.9	55.8	8.0	8.8	1.0	0.5	1.0	0.4	24.5	68.7	11.3
2009年	2,677	8.7	12.5	59.6	9.0	7.7	0.9	0.7	0.8	0.0	21.2	72.1	10.1
2008年	2,695	10.8	12.7	59.1	7.4	7.7	1.0	0.8	0.5	0.0	23.5	71.8	10.0
2007年	2,910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2	19.5	71.1	12.0
2006年	2,858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2	17.0	69.8	13.1
2005年	3,324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2	17.7	71.3	12.3

■飲食するヨーグルトのタイプを時系列で見ると、2013年度は前年度と比較すると、「ドリンクヨーグルト」が増加している。

【図表VI-1-6】時系列 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>

(%)

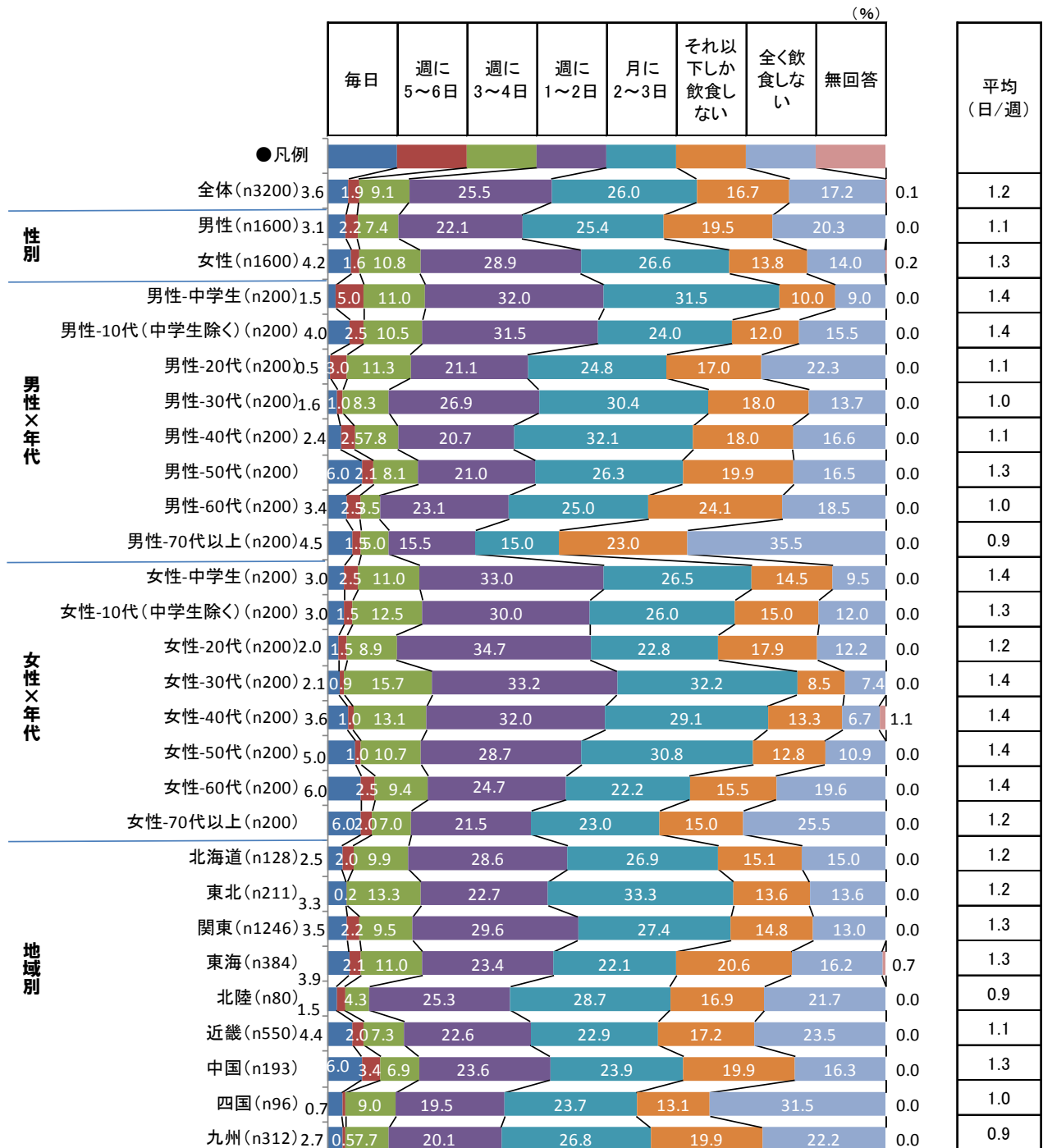
	n	プレーンヨーグルト(無糖)	加糖のヨーグルト	果肉フルーツ入りのヨーグルト	ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	フローズンヨーグルト	その他	無回答
2013年	2,598	44.1	39.4	36.7	21.7	3.1	0.6	0.6	0.2
2012年	2,615	45.4	38.0	36.1	17.9	3.0	0.4	0.6	0.0
2011年	2,586	46.0	36.5	34.2	15.9	4.3	0.6	0.6	0.3
2010年	2,663	44.8	39.3	38.1	19.3	4.5	0.4	1.1	0.3
2009年	2,677	43.8	40.3	41.0	22.0	4.6	1.0	1.2	0.1
2008年	2,695	42.6	40.1	39.3	20.8	6.5	1.4	1.6	0.0
2007年	2,910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2006年	2,858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3,324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2

## 2. チーズの食用状況

### (1) チーズを食べる頻度

- 日頃どの位の頻度でチーズを食べているかを質問した。
- 全体では、「毎日」食べる人は4%であり、週に1日以上食べる人は合わせて40%である。一方、「全く食べない」という人は17%となった。
- 性別では、週に1日以上食べる人は男性が35%、女性が45%となり、女性の方が高頻度でチーズを食べている。
- 性年代別では、男性は男子中学生・10代・50代、女性は女子中学生・30～60代で、比較的高頻度でチーズを食べている。
- 地域別では、関東・東海・近畿で、チーズの飲食頻度はやや高くなっている。

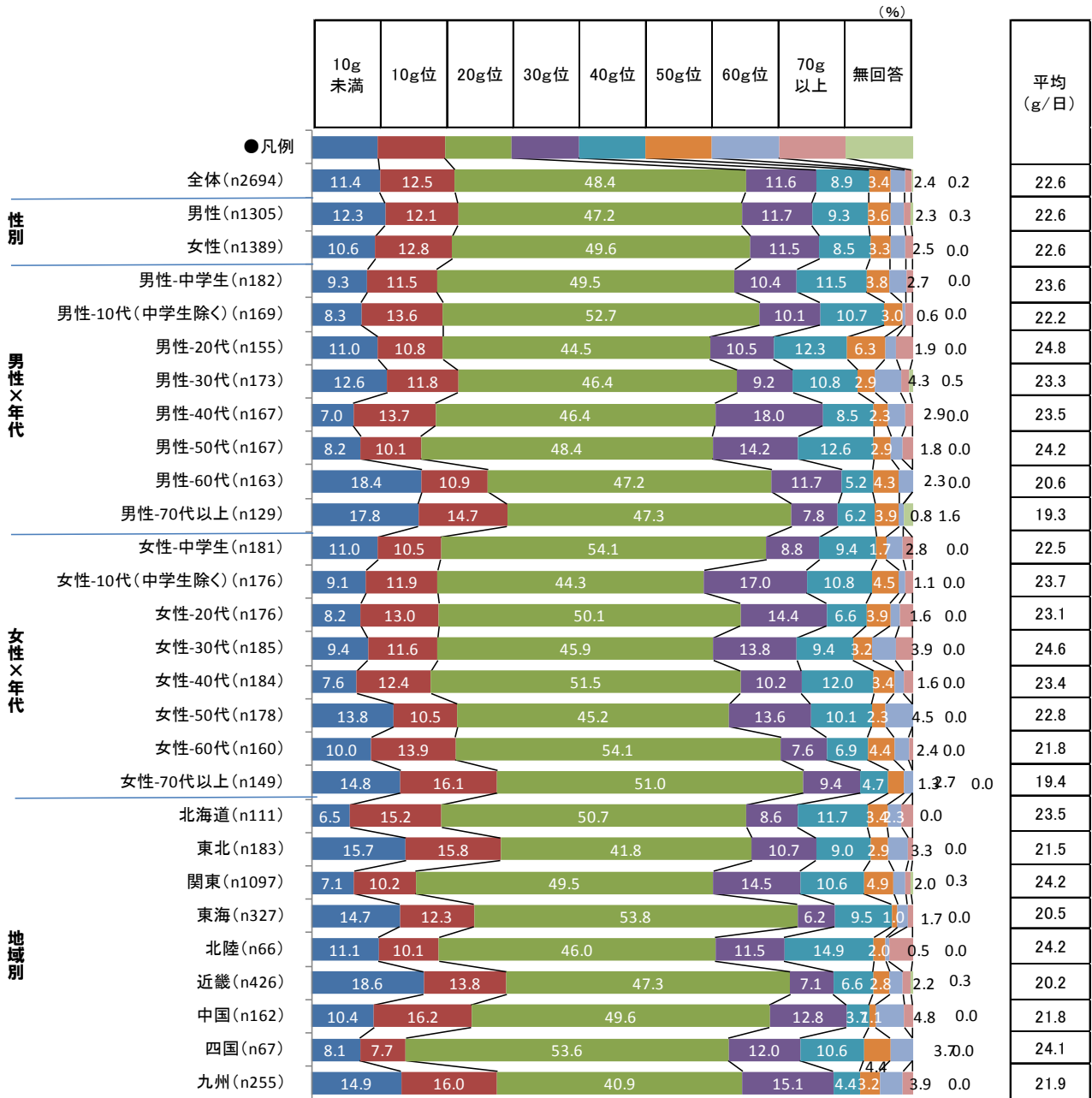
【図表VI-2-1】性・年代別・地域別 問23 日頃、チーズを食べる頻度 (SA)



(2) チーズを食べる量

- チーズを食べるときの一日の量を質問した。
- 全体では「20g位」と答えた人が48%を占め、平均では一日に合計22.6gとなっている。
- 性別では、男女で大きな差異は見られず、平均では男女ともに22.6gとなった。

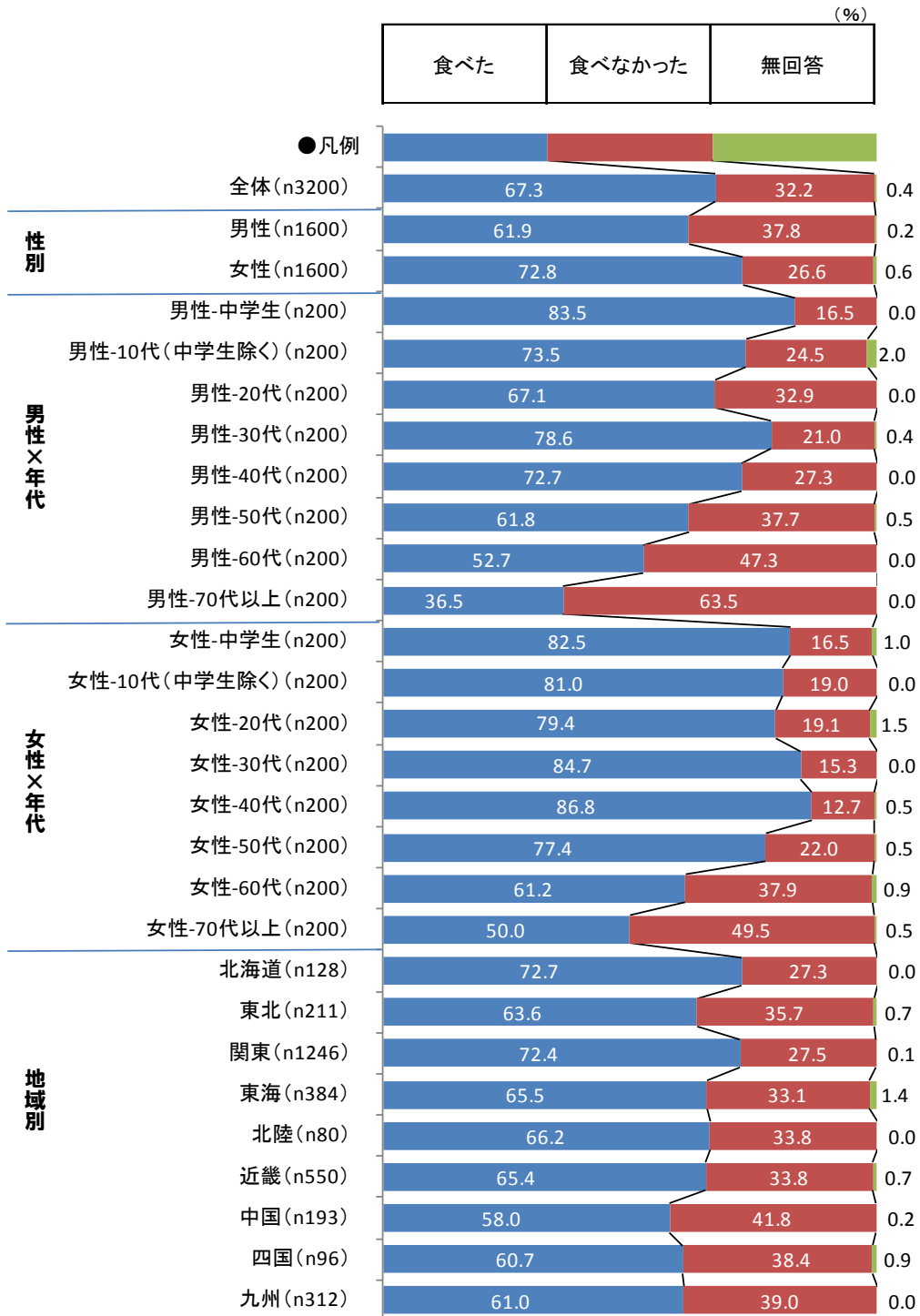
【図表VI-2-2】性・年代別・地域別 問24 1日に食べるチーズの合計量 (SA)



### (3) チーズ料理

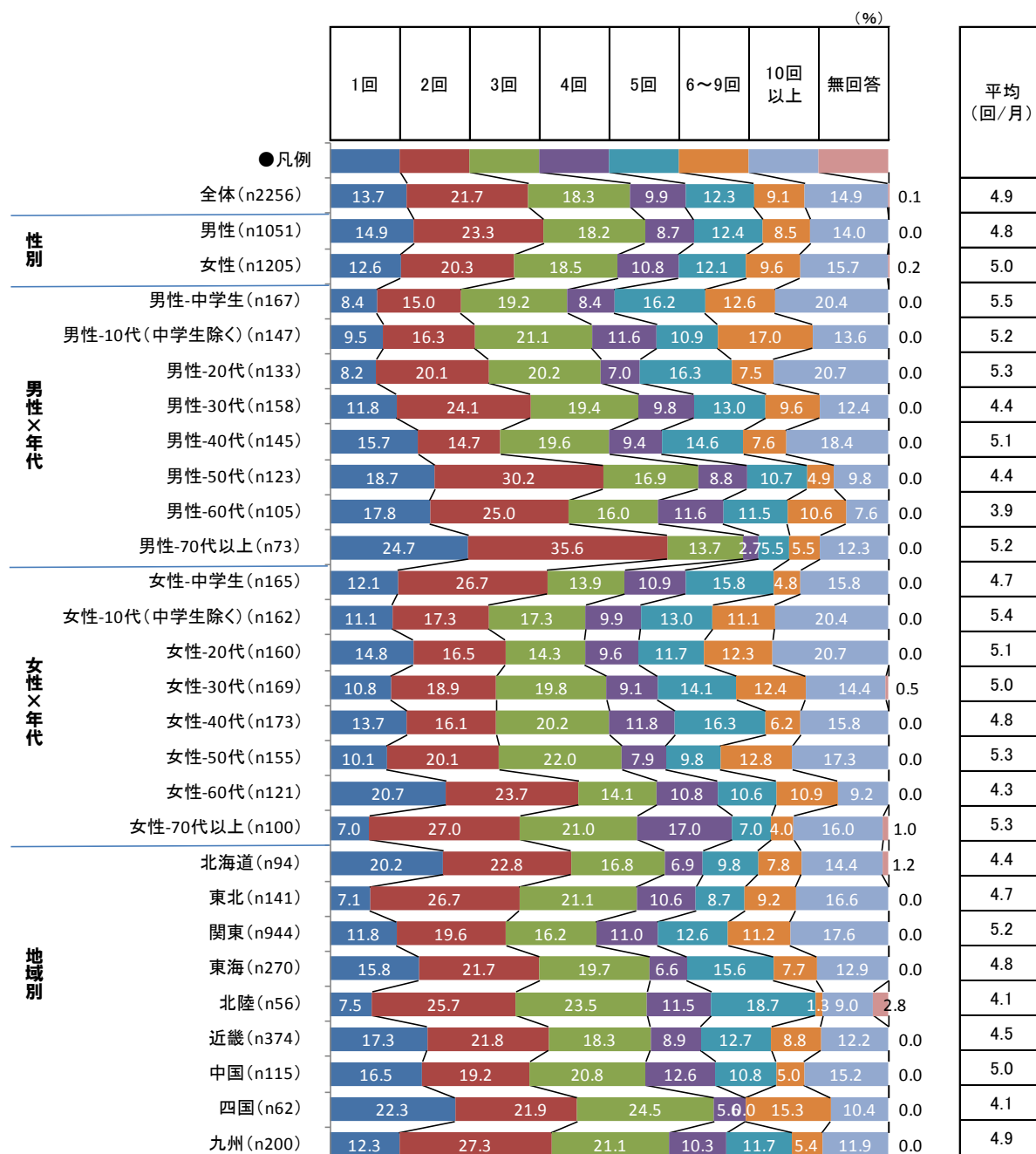
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズを使った料理を食べた人は、全体で67%となる。
- 性別で見ると、チーズ料理を食べた人は男性が62%、女性が73%となり、女性の方が割合は高い。
- 性年代別では、男女共に若年層の方がチーズ料理を食べている傾向がうかがえる。
- 地域別では、どちらかと言えば、東日本においてチーズ料理を食べる割合が高くなっている。

【図表VI-2-3】性・年代別・地域別 問25 この1ヶ月間にチーズ料理を食べたか（SA）



- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズ料理を食べた人の回数は、全体で「2回」が22%で最も高く、次いで「3回」が18%、「1回」が14%と続いている。平均では4.9回である。
- 性別で見ると、平均で男性が4.8回、女性が5.0回となり、女性の方が食べる回数はやや多い。
- 性年代別では、男性は20代以下・40代・70代以上、女性は10~20代・50代・70代以上で、チーズ料理を食べる回数は多いようである。

【図表VI-2-4】性・年代別・地域別 問25-1 この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数（SA）



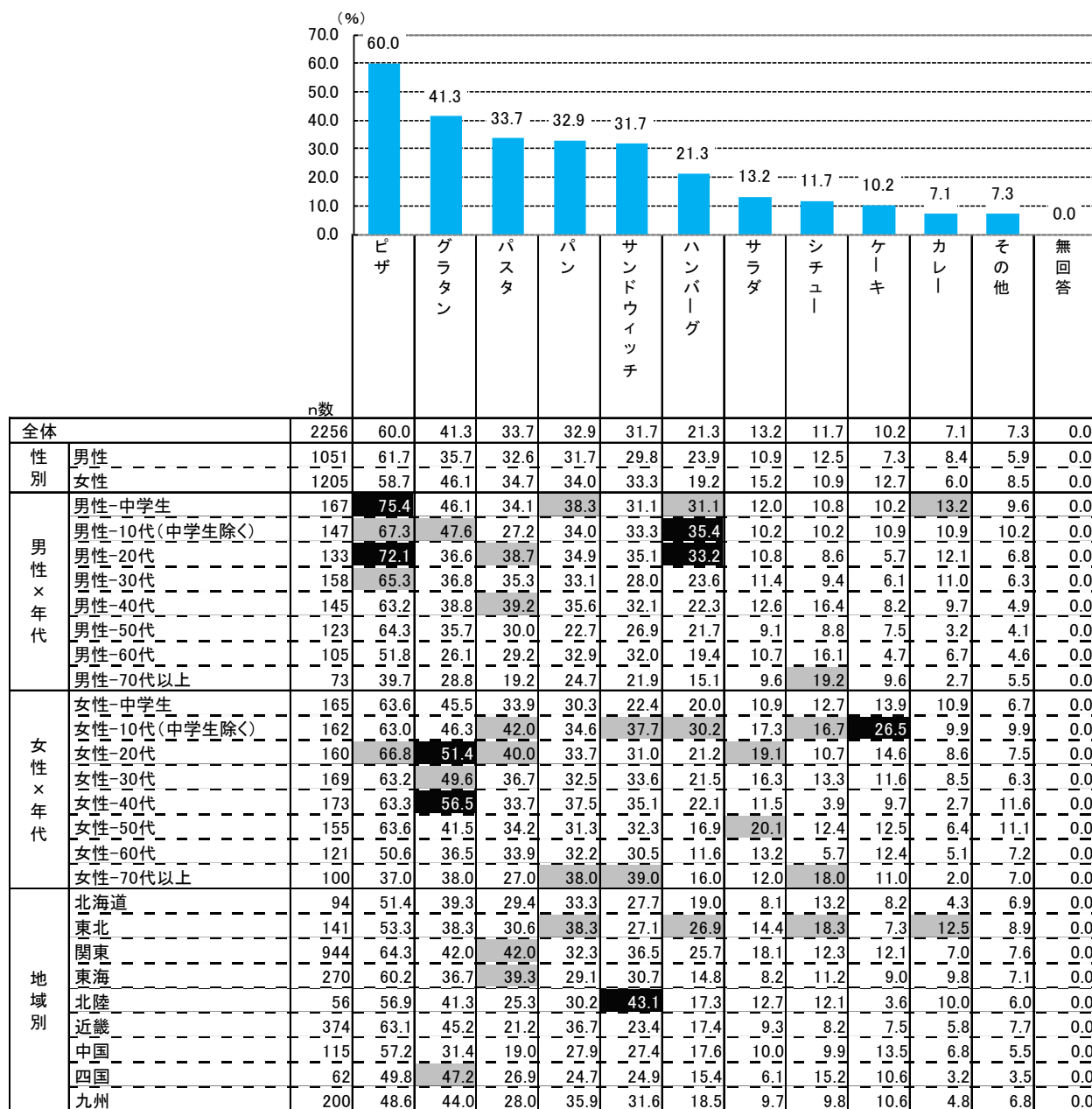


■ 1ヶ月間にどんなチーズ料理を食べたかを見ると、全体では「ピザ」が60%で最も多く、次いで「グラタン(41%)」、「パスタ(34%)」「パン(33%)」「サンドウィッチ(32%)」と続いている。

■ 性別では、女性の「グラタン」が46%が目立っている。

■ 性年代別では、男性の若年層で「ピザ」「ハンバーグ」を食べる割合が高くなっている。

【図表VI-2-5】 性・年代別・地域別 問25-2 飲食するチーズ料理 (MA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い

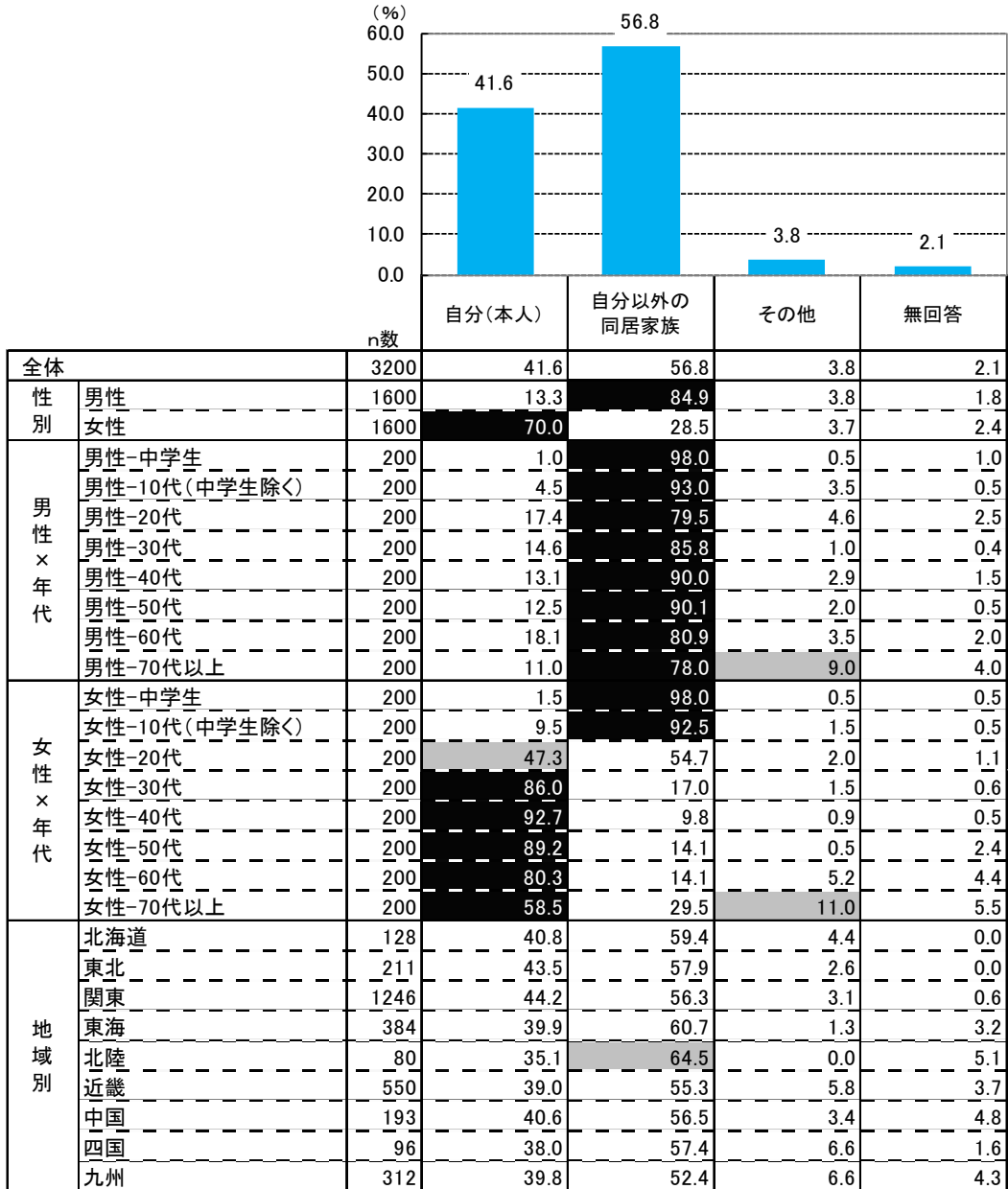
■ = 全体より、5%以上高い

(4) チーズを購入する人

■世帯の中でチーズを購入する人は誰か、複数回答で質問した。

■全体では、「自分(本人)」が42%、「自分以外の同居家族」が57%となっている(白もの牛乳の購入者と同程度の割合となっている)。

【図表VI-2-6】性・年代別・地域別 問26 チーズを購入する人(MA)

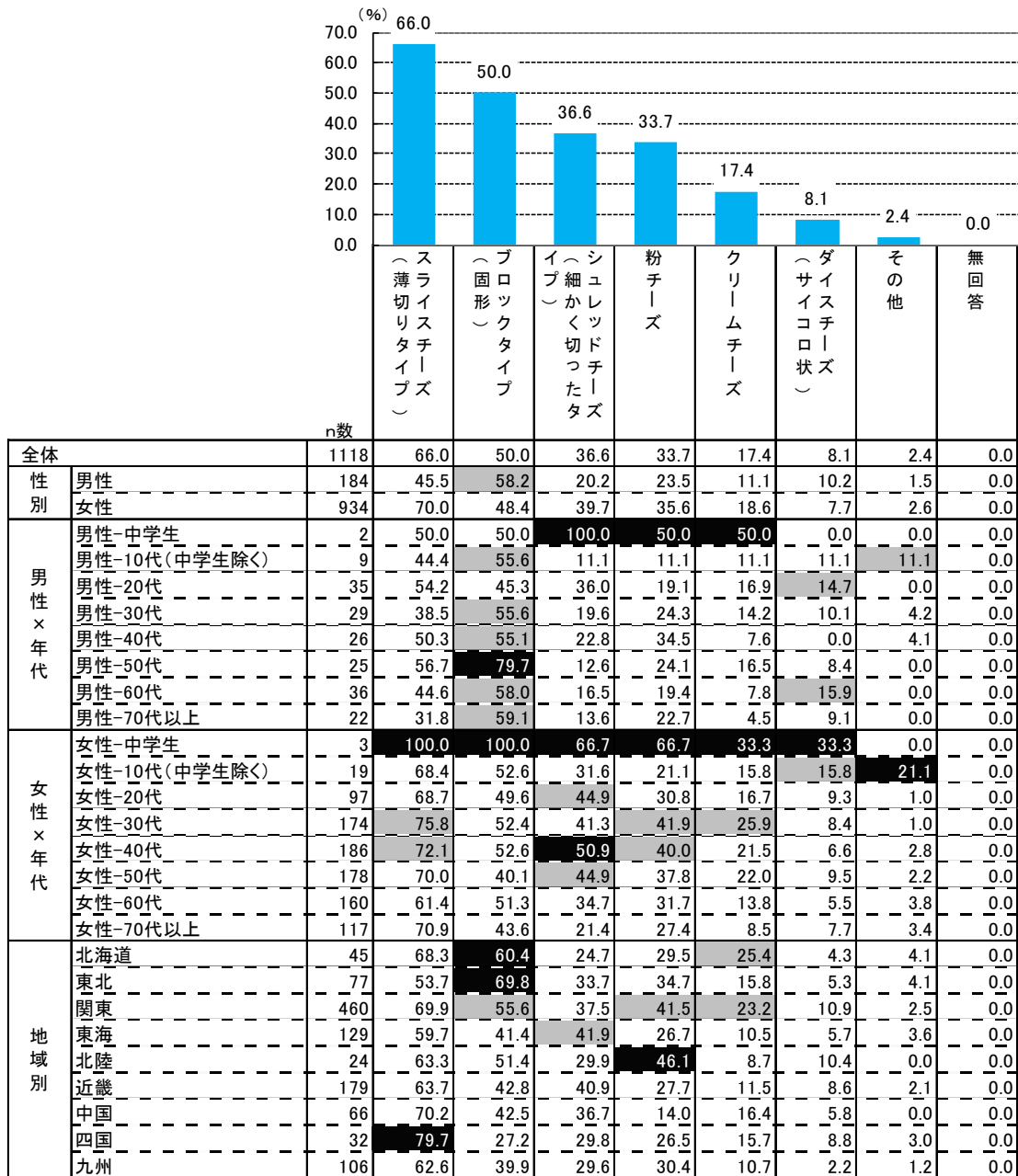


※                      = 全体より、10%以上高い  
                     = 全体より、5%以上高い

(5) 購入するチーズのタイプ

- 自分でチーズを購入する人に、どのようなタイプのチーズを購入することが多いか質問した。
- 形状は、「スライスチーズ」が66%で最も高く、次いで「ブロックタイプ」が50%、「シュレッドチーズ」が37%、「粉チーズ」が34%となっている。
- 性別では、男性は「ブロックタイプ (58%)」が全体よりも8ポイント高くなっている。
- 性年代別では、女性20～50代で、様々なタイプのチーズを購入している。

【図表VI-2-7】性・年代別・地域別 問27-1 購入するチーズのタイプ (MA) <チーズ購入者ベース>

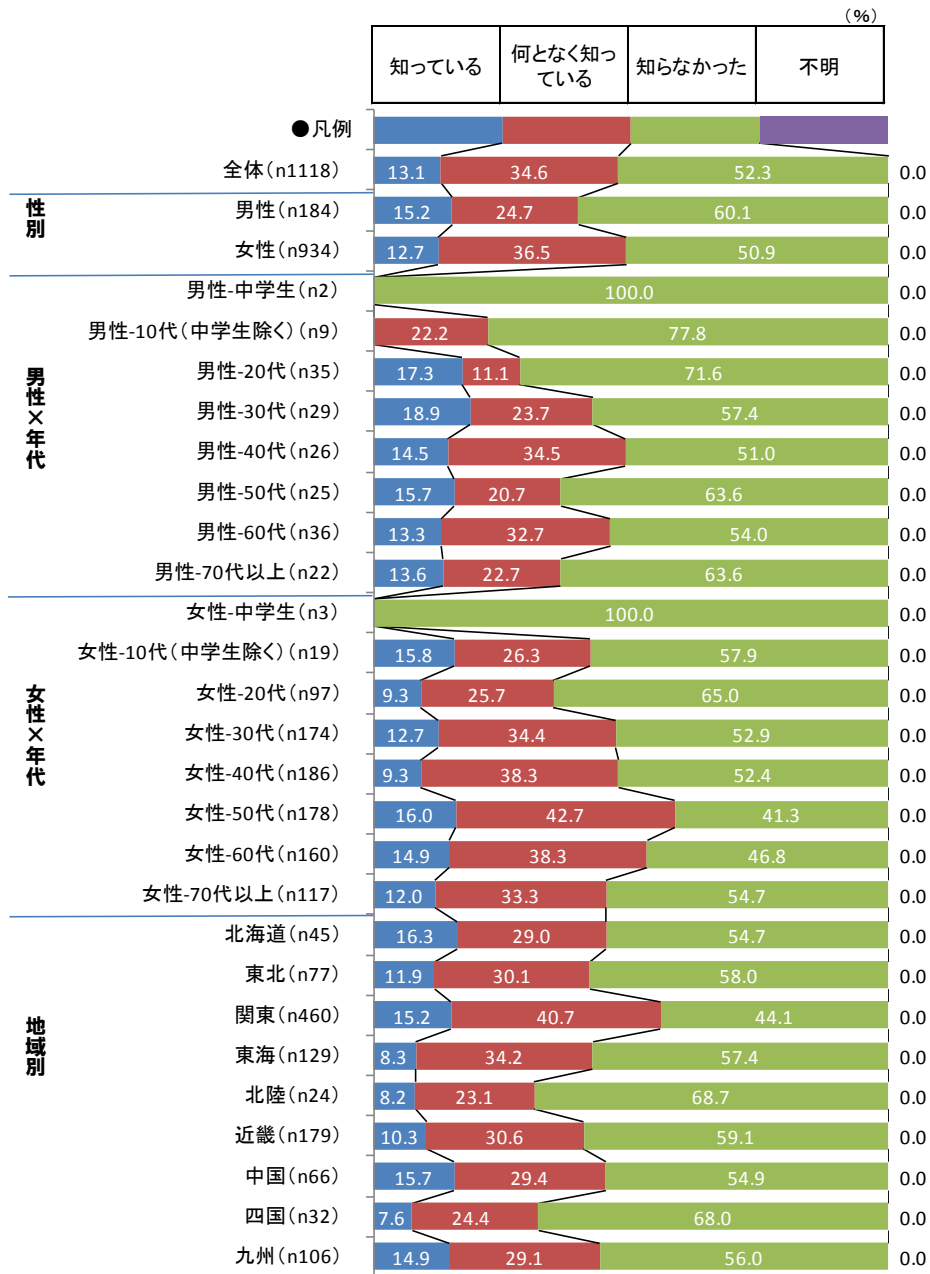


※ ■ = 全体より、10%以上高い  
■ = 全体より、5%以上高い

(6) ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況

- 自分でチーズを購入する人に、ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いを知っているか質問した。
- 全体では、「知っている」が13%、「何となく知っている」が35%となり、計48%となった。
- 性別では、「知っている」+「何となく知っている」の計は、女性の方が高く、49%となる。
- 性年代別で見ると、男女ともに30代以上では、「知っている」+「何となく知っている」の計が多くなる。
- 地域別では、北海道・中国の「知っている」割合が16%と高くなっている。

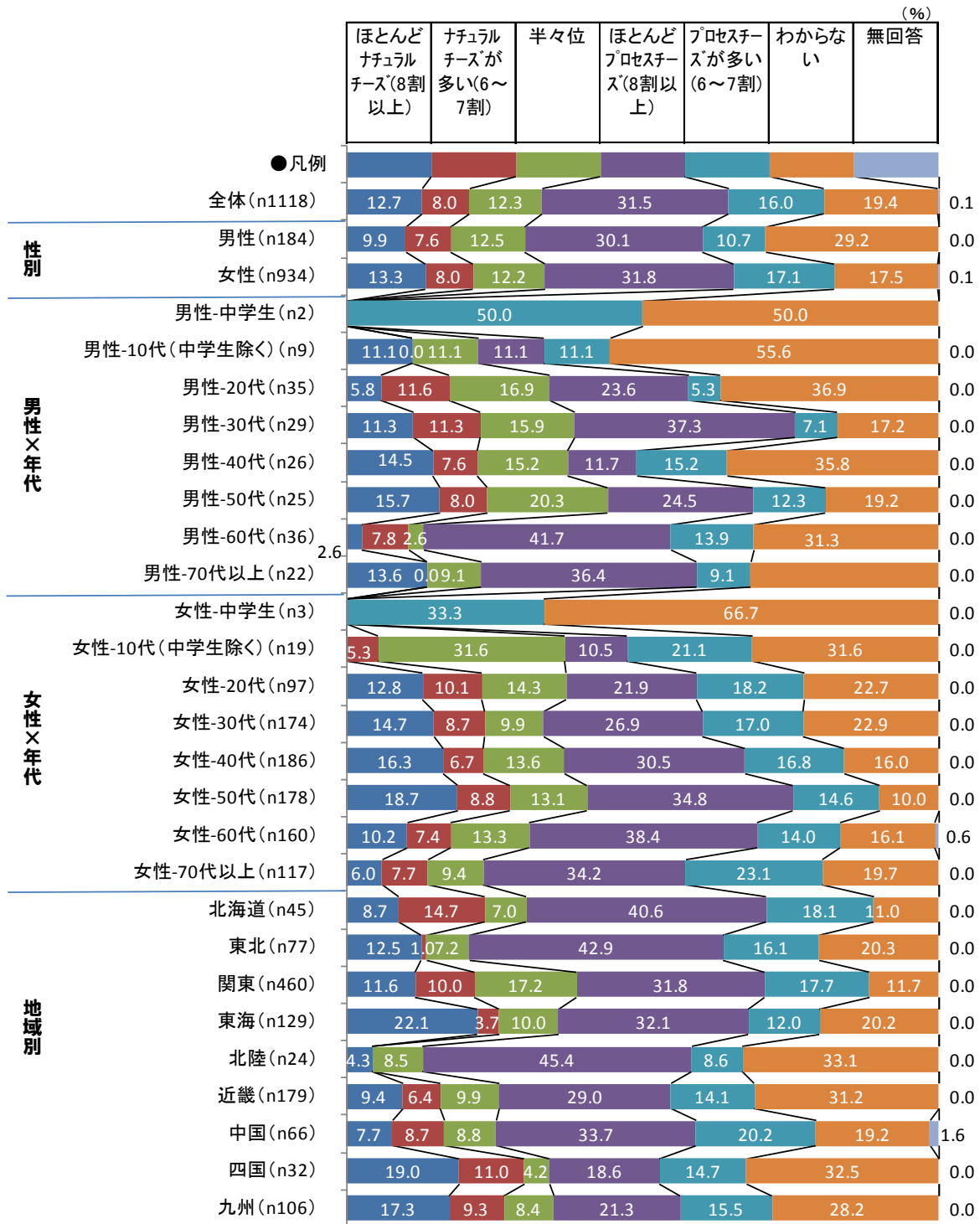
【図表VI-2-8】性・年代別・地域別 問27-2 ナチュラルチーズ、プロセスチーズの違いの認識（SA）＜チーズ購入者ベース＞



※この「ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況」という質問は、平成24年度（2012年度）から設定した。

- 自分で購入するチーズはナチュラルチーズかプロセスチーズかを質問したところ、全体では「ほとんどプロセスチーズ（8割以上）」という人が32%と最も多く、「プロセスチーズが多い（6～7割）」を合わせたプロセス派は48%を占めた。一方、ナチュラル派（「ほとんどナチュラルチーズ（8割以上）」＋「ナチュラルチーズが多い（6～7割）」は21%、「半々くらい」は12%、「わからない」が19%となっている。
- 性別では、女性は「ほとんどプロセスチーズ」＋「プロセスチーズが多い」の計は49%であり、半数近くがプロセス派である。

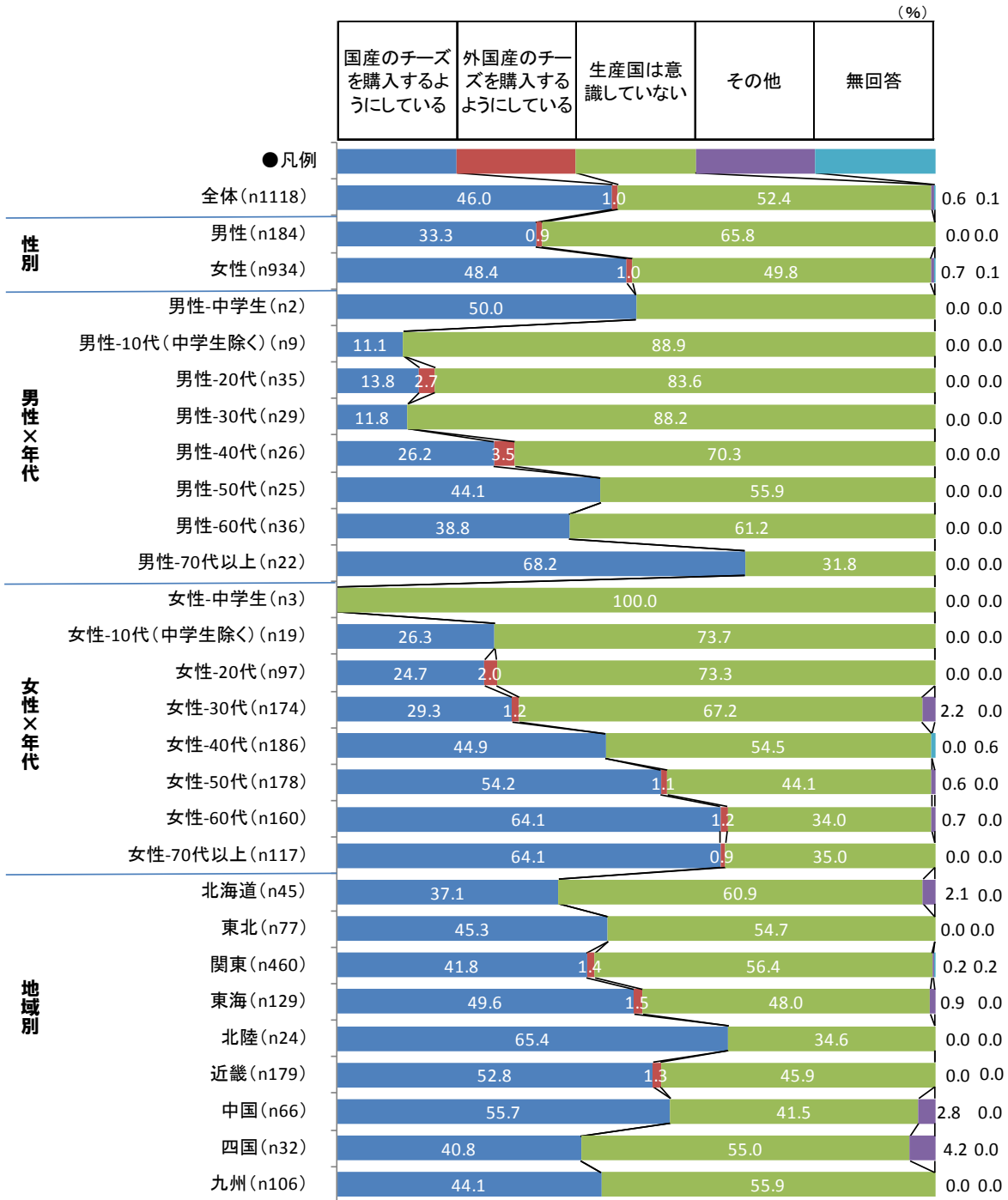
【図表VI-2-9】性・年代別・地域別 問28 購入するチーズの割合（ナチュラルかプロセス・SA）＜チーズ購入者ベース＞



(7) 普段チーズを購入する時に意識すること

- 普段チーズ購入時に意識することを質問したところ、全体では「国産のチーズを購入するようにしている」が46%、「生産国は意識していない」が52%、「外国産のチーズを購入するようにしている」が1%となった。
- 性別では、女性は「国産のチーズを購入するようにしている」割合がやや高く、48%を占める（男性は、産地を意識しない傾向が強い）。
- 性年代別で見ると、男女ともに年代の上昇に比例して、国産を選ぶ割合が高くなる。一方、若い世代は「産地を気にしない」と考える人が多いようである。

【図表VI-2-10】 性・年代別・地域別 問29 チーズ購入時の意識する事 (SA) <チーズ購入者ベース>



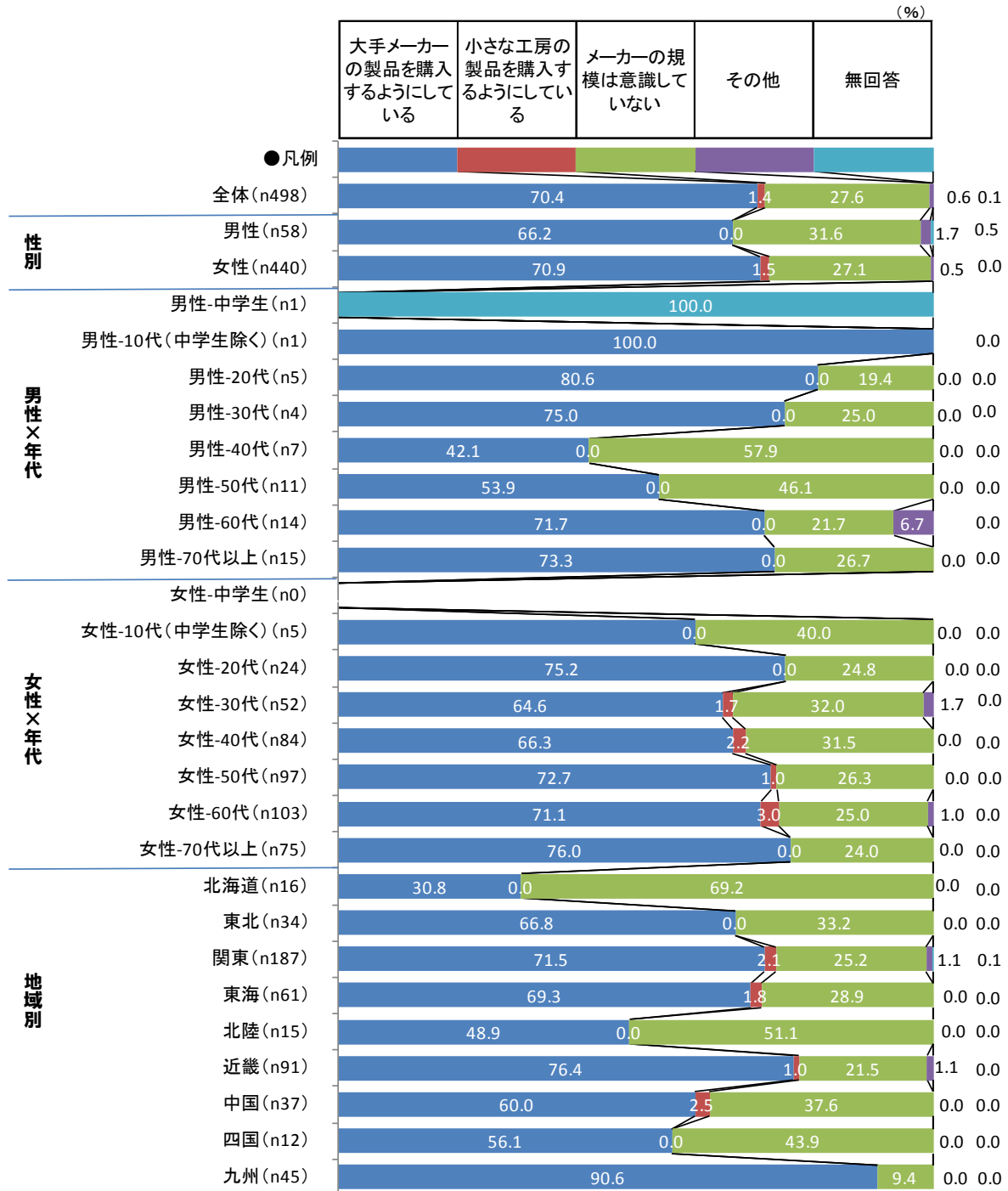
- 普段チーズ購入時に意識することの質問の中で、意識する理由を自由回答でたずねたところ、近年の食の安全性が意識されることを反映してか、「安全・安心感で選ぶ」が336件となった。
- 次いで、「値段の安い・セール品を買う・選ぶ」が176件、「美味しさ」が148件、「特に理由はない・こだわりはない」が139件などの意見が寄せられた。

【図表VI-2-11】 問28 チーズ購入時の意識する事・その理由（自由回答）

順位	問29 チーズ購入時に意識する事・その理由(自由回答)	件
1	安全・安心(国産は安全・安心、店を信用している)	336
2	値段が安い・セール品を買う・選ぶ	176
3	美味しさ	148
4	特に理由はない・こだわりはない	139
5	産地まで気にしない	87
6	メーカー・商品を決めている	63
7	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ・目立っている物	56
8	味に親しみがある	49
9	国産・外国産で味が変わらない	44
9	好みに合っている	44
11	国産が好き	24
11	料理や用途に合わせて	24
13	パッケージや見た目の良さ	19
14	味にクセがない	17
14	知名度のあるメーカー	17
16	外国産は分からない	15
17	どこでも売っている・買い易い	11
18	外国産が好き	10
20	中国産は避けたい、欧州ならば良い	9
21	色々な種類を食べたい	7
21	種類が多い	7
23	店に外国産がない	6
24	素材	5
25	本物を食べたい	4
26	外国産は高そう	3
26	テレビ等で見たものを買う	3
26	量で選ぶ	3
26	コンビニのものは生産国がわからない	3
26	わからない	3
31	外国産は大人向け	2
31	珍しそうなもの	2
31	形や包装(個別包装等)	2
31	塩分控えめな物を買う	2
-	その他	10

- 国産チーズ購入で意識する事を質問したところ、全体では「大手メーカーの製品を購入するようにしている」が半数以上の70%を占めた。
- 「小さな工場の製品を購入するようにしている」はわずかに1%にとどまるが、「メーカーの規模は意識していない」が28%を占める。

【図表VI-2-12】性・年代別・地域別 問29-1 国産チーズ購入で意識する事（SA）＜国産チーズ購入者ベース＞





■国産チーズ購入で意識する事を自由回答でたずねたところ、「安全・安心感がある」が215件と最も多くなっている。次いで、「特に理由はない・こだわりはない」が54件、「大手メーカーは安全・安心感がある」が47件、「値段が安い・手頃な価格」が46件、「美味しい・新鮮」が42件等となった。

【図表VI-2-13】問29-1 国産チーズ購入で意識する事・その理由（自由回答）

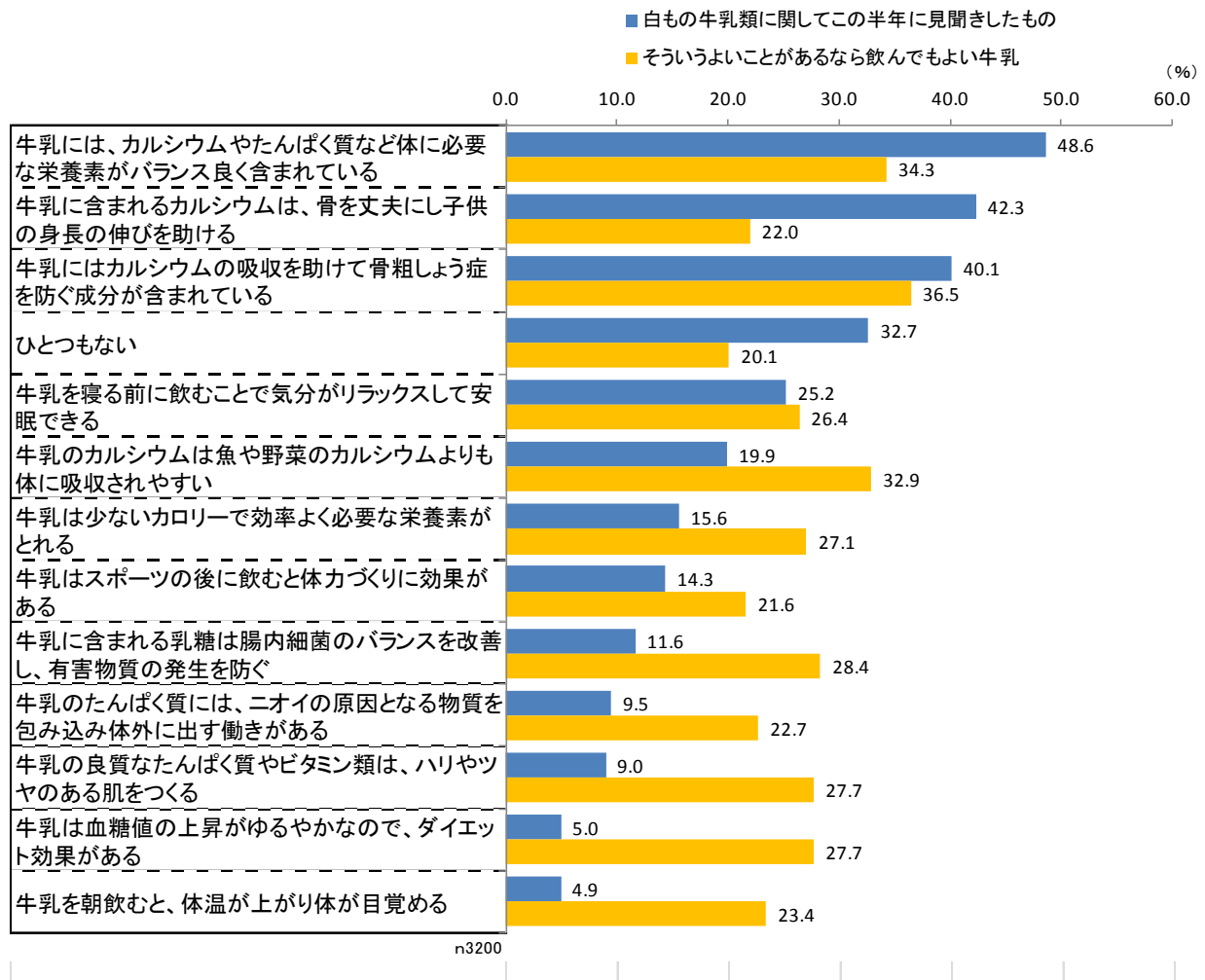
順位	問28-1 国産チーズ購入で意識する事	件
1	安全・安心感がある	215
2	特に理由はない・こだわりはない	54
3	大手メーカーは安全・安心感がある	47
4	値段が安い・手頃な価格	46
5	美味しい、新鮮	42
6	メーカー・商品を決めている(いつも買っている)	41
7	国産ならばメーカーの規模は関係ない、メーカーは関係ない	39
8	食べなれている	28
9	スーパーやコンビニで売っているから	18
10	好みに合っている	15
11	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ	12
12	どこも変わらない	11
13	種類の豊富さ	7
14	品質の良さで決める	5
15	店には大手メーカーのものしかない	4
15	小さなメーカーや工場の方が良い(品質・作り方)	4
17	テレビ等で見たものを買う	3
17	パッケージや見た目の良さ	3
19	産地を気にする	2
19	評判が良い	2
21	味にクセがない	1
21	国産が好き	1
21	食べやすさ・使い易さ(個別包装、味)	1
21	健康のため	1
21	小さなメーカーは高い	1
-	その他	6

## Ⅶ. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

### 1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

- 「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳」について質問した。
- 見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が49%で最も多かった。次いで、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長伸びを助ける」が42%、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が40%で続いている。
- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が37%と最も多く、次いで「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が34%、「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」が33%で続いている。全般的に、カルシウムに関連するニーズが高い様子がうかがえる。
- また、見聞されていないが、ニーズの高さがうかがえるものは、「牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」「牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める」といった効果にニーズがうかがえる。これらのベネフィットは、今後の牛乳普及の広報活動における訴求ポイントとして考えられる。

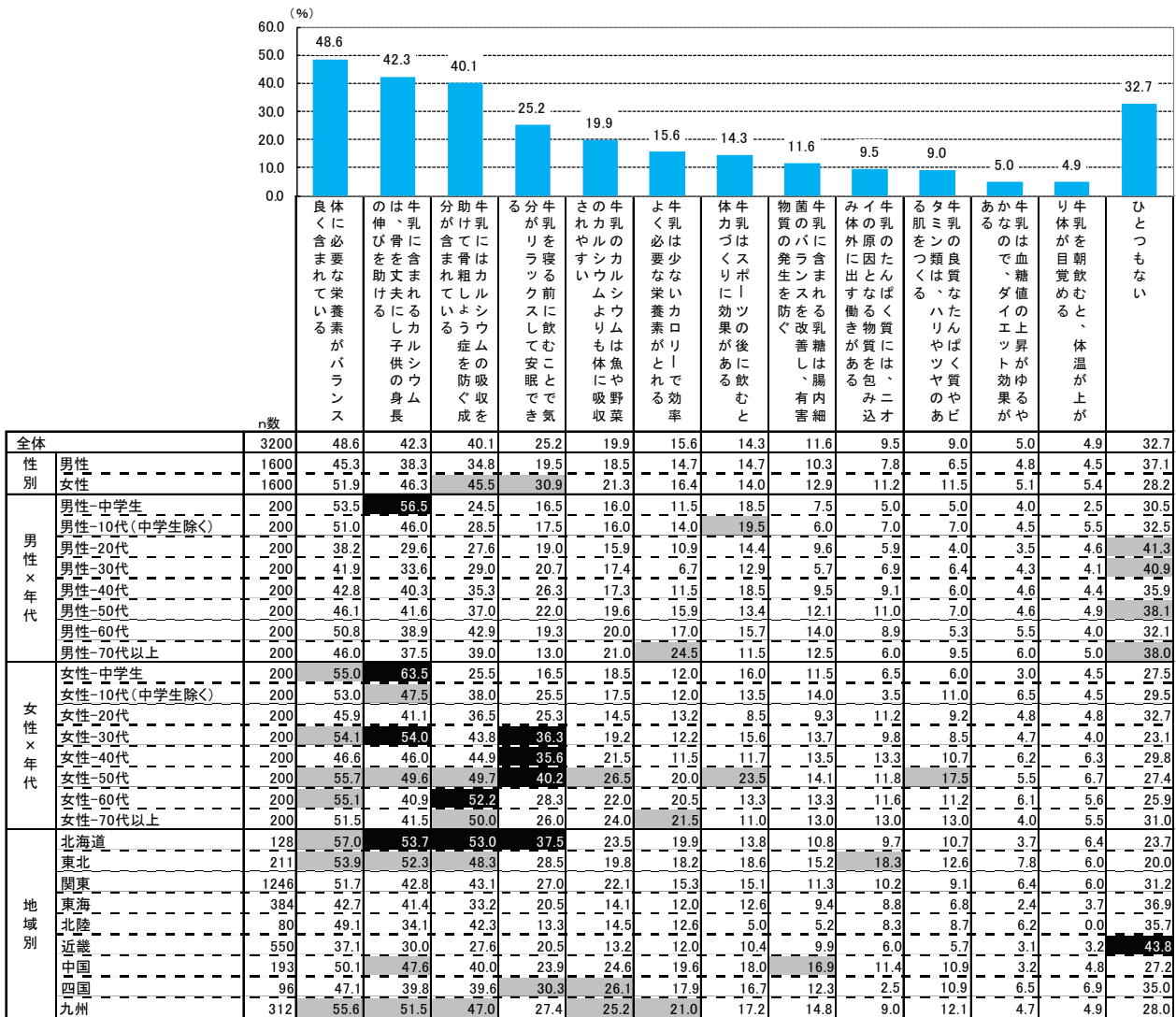
【図表Ⅶ-1】 問30 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィットとニーズ (MA)



## 2. 見聞きしたことの白もの牛乳類のベネフィット

- 白もの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたものについて、性別で見ると、女性は男性に比べ、「カルシウム（骨を丈夫にする、骨粗しょう症防止等）」や「リラックス効果」について見聞きしている割合が高い。
- 性年代別では、男女中学生や女性30代は、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし、子供の身長の伸びを助ける」、女性30～50代は「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」、女性60代は「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」などが、それぞれ全体よりも10%以上ポイントを上回っている。

【図表VII-2】性・年代別・地域別 問30（1） 白もの牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの（MA）

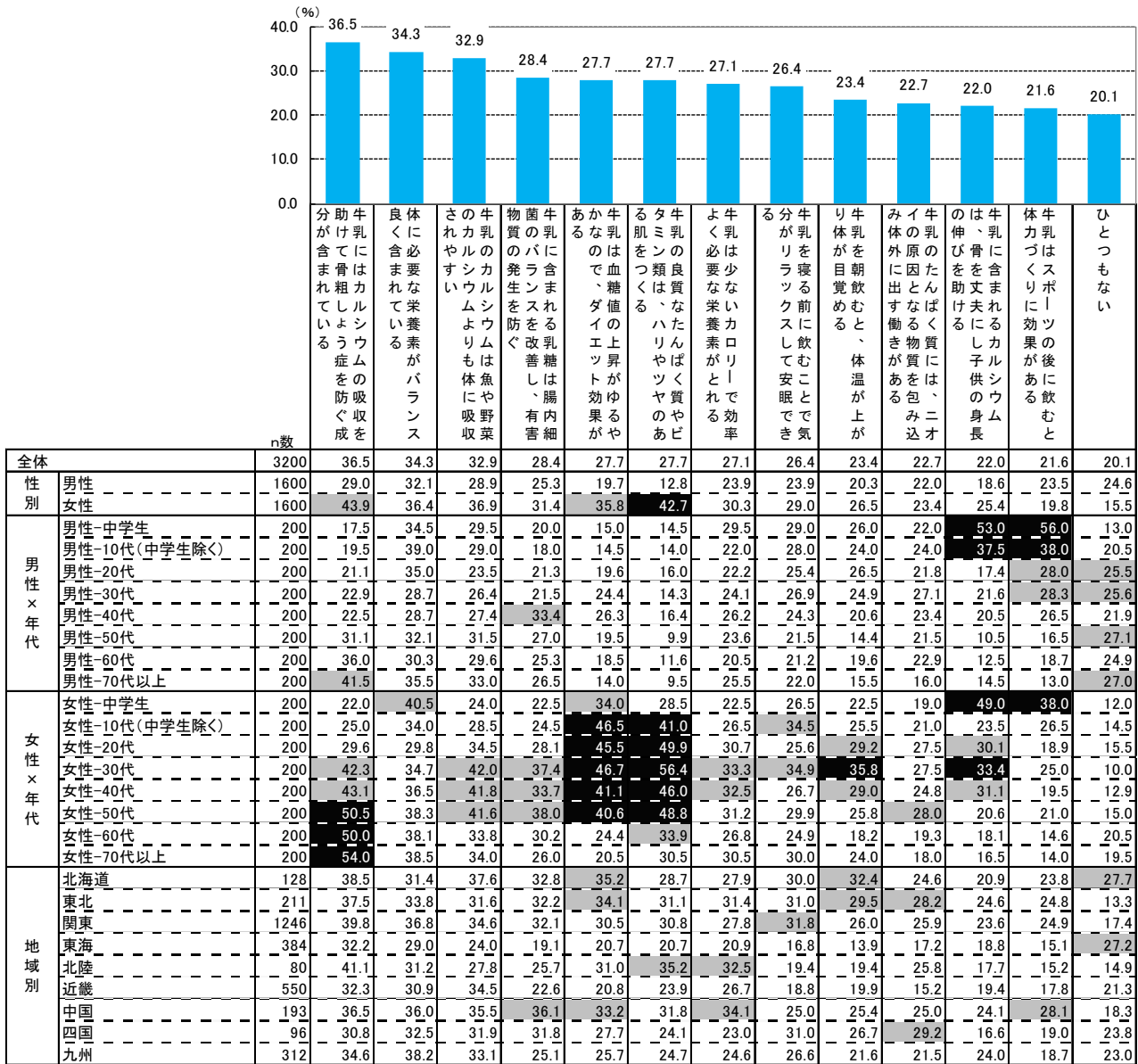


※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

### 3. 白もの牛乳類についてのニーズ

- 「そういうよいことがあるなら飲んでもよい」と思う牛乳について、性別で見ると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っている。特に「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」では、男性より30%もポイントを上回っている。
- 「美肌効果」「ダイエット効果」は女性10～50代で、高いニーズを示している。

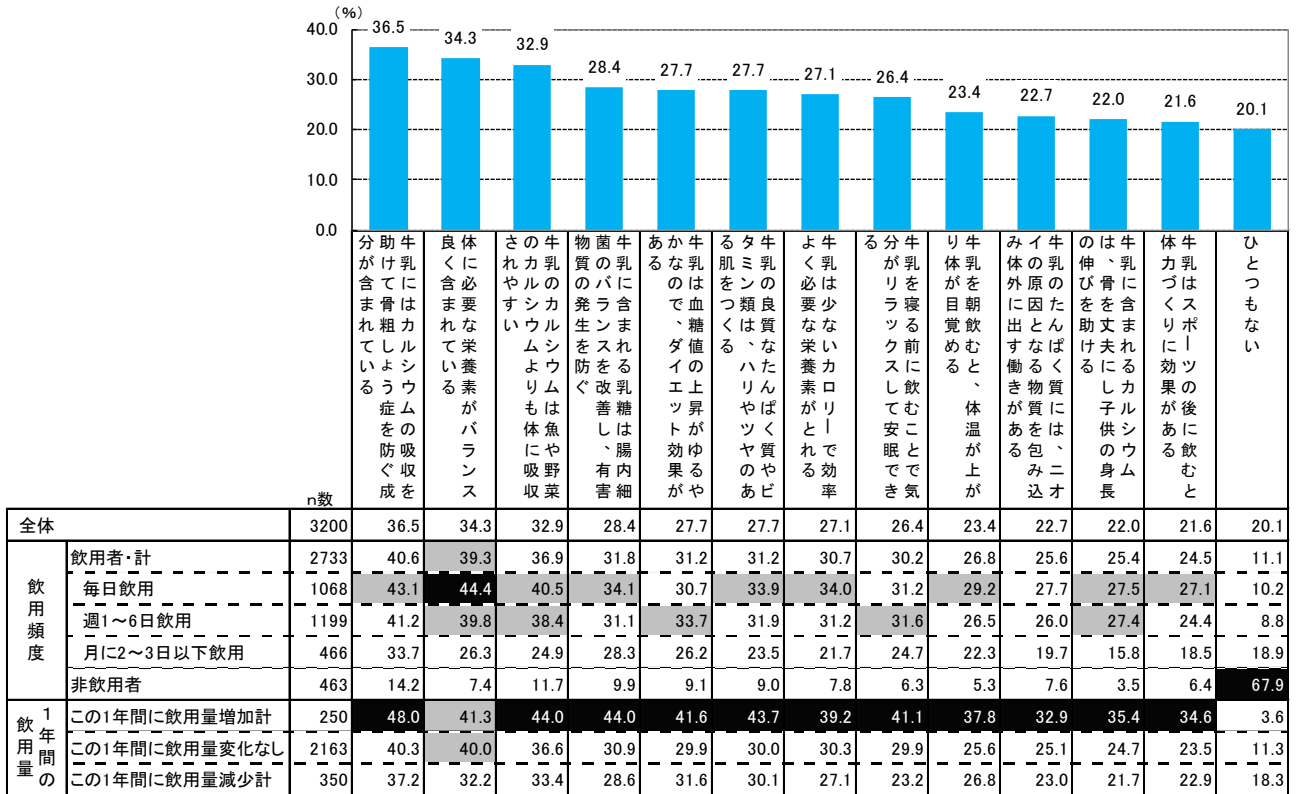
【図表VII-3-1】性・年代別・地域別 問30(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものについて、飲用行動別にみても、この1年間に白もの牛乳類の飲用量が増えた人は、ほとんどの項目で高い値を示しており、牛乳の持つ長所に高いニーズがある。毎日飲用する人も、カルシウム、栄養バランス等の点において、ニーズが高くなっている。
- 一方、非飲用者の68%は、「ひとつもない」と答えている。

【図表VII-3-2】 飲用行動別 問30 (2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳 (MA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

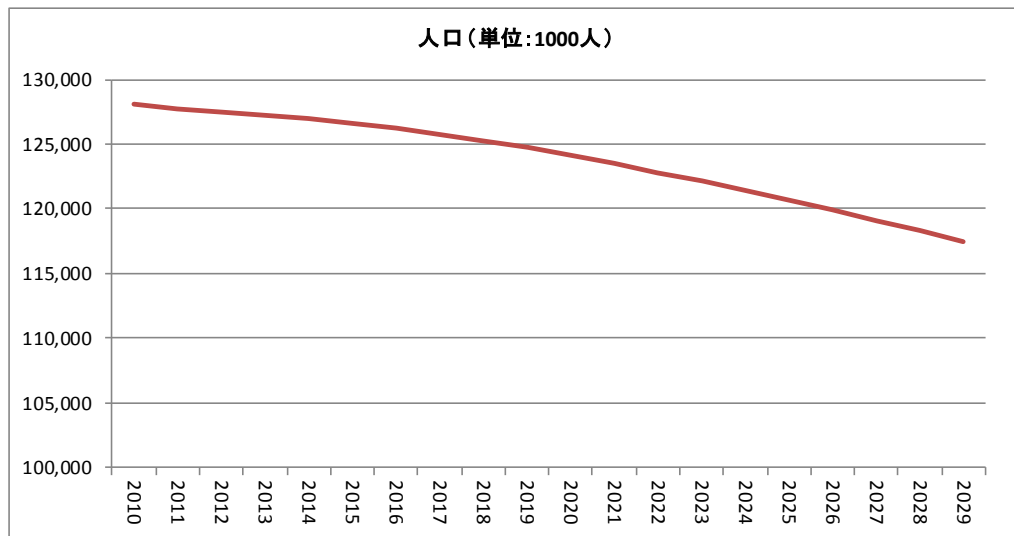
## Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向

### 1. 我が国の人口動向

■我が国の人口は2012年時点で約1億2750万人である。しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所によると、今後の我が国は人口減少が予測され、2020年には約1億2410万人となり、2011年との比較では▲2.7%となることと考えられる。牛乳・乳製品も人口減少の影響から、消費市場の縮小が懸念される。

■一方、世帯数に関しては、核家族化や晩婚化、高齢者単独世帯の増加などの背景があると考えられ、世帯数は緩やかに増加していき、2020年まで対前年比はプラスとなることが予測される。このことから牛乳・乳製品に関しては、容量の少量化や多品種少量生産などの少人数家族への対応が求められることが考えられる。

【図表Ⅷ-1-1】我が国の将来人口予測



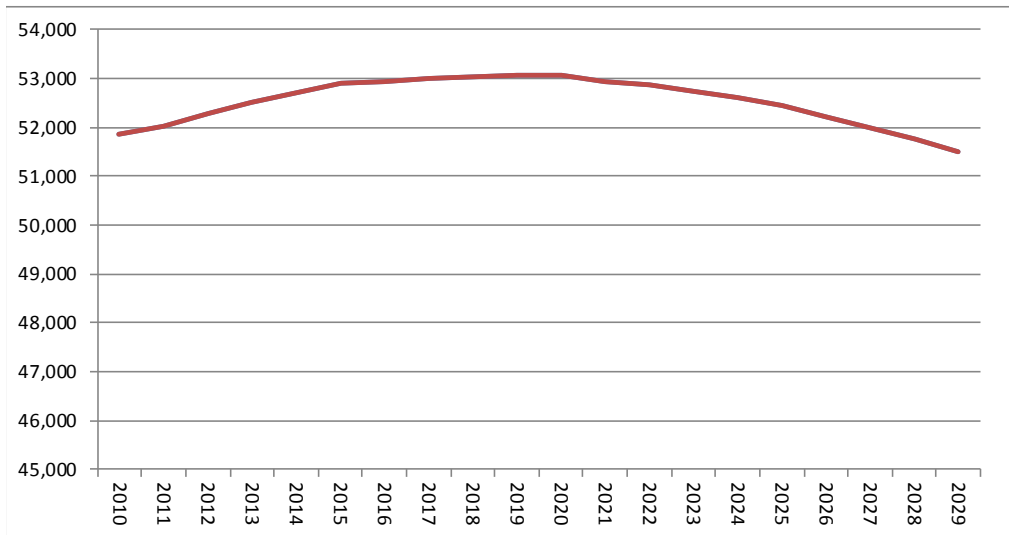
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

【図表Ⅷ-1-2】我が国の将来人口予測(詳細)

年次	人口(1,000人)				割合(%)		
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
平成 22(2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23(2011)	127,753	16,685	81,303	29,764	13.1	63.6	23.3
24(2012)	127,498	16,493	80,173	30,831	12.9	62.9	24.2
25(2013)	127,247	16,281	78,996	31,971	12.8	62.1	25.1
26(2014)	126,949	16,067	77,803	33,080	12.7	61.3	26.1
27(2015)	126,597	15,827	76,818	33,952	12.5	60.7	26.8
28(2016)	126,193	15,574	75,979	34,640	12.3	60.2	27.5
29(2017)	125,739	15,311	75,245	35,182	12.2	59.8	28.0
30(2018)	125,236	15,056	74,584	35,596	12.0	59.6	28.4
31(2019)	124,689	14,800	74,011	35,877	11.9	59.4	28.8
32(2020)	124,100	14,568	73,408	36,124	11.7	59.2	29.1
33(2021)	123,474	14,318	72,866	36,290	11.6	59.0	29.4
34(2022)	122,813	14,049	72,408	36,356	11.4	59.0	29.6
35(2023)	122,122	13,766	71,920	36,436	11.3	58.9	29.8
36(2024)	121,403	13,505	71,369	36,529	11.1	58.8	30.1
37(2025)	120,659	13,240	70,845	36,573	11.0	58.7	30.3
38(2026)	119,891	12,959	70,349	36,584	10.8	58.7	30.5
39(2027)	119,102	12,706	69,799	36,597	10.7	58.6	30.7
40(2028)	118,293	12,466	69,187	36,640	10.5	58.5	31.0
41(2029)	117,465	12,242	68,522	36,701	10.4	58.3	31.2

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

【図表Ⅷ-1-3】我が国の将来世帯数予測



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（平成20年3月推計）

【図表Ⅷ-1-4】我が国の将来世帯数予測（詳細）

年次	一般世帯数（1,000世帯）							一般世帯人員 (1,000人)	平均世帯人員 (人)
	総数	単独	核家族世帯				その他		
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子			
平成 22 (2010)	51,842	16,785	29,278	10,269	14,474	4,535	5,779	125,546	2.42
23 (2011)	52,033	16,923	29,455	10,376	14,457	4,622	5,655	125,218	2.41
24 (2012)	52,271	17,100	29,644	10,510	14,419	4,716	5,527	124,937	2.39
25 (2013)	52,503	17,279	29,824	10,639	14,377	4,808	5,400	124,660	2.37
26 (2014)	52,717	17,460	29,984	10,760	14,327	4,897	5,273	124,340	2.36
27 (2015)	52,904	17,637	30,116	10,861	14,274	4,982	5,150	123,968	2.34
28 (2016)	52,950	17,757	30,148	10,889	14,204	5,055	5,045	123,535	2.33
29 (2017)	53,006	17,895	30,177	10,932	14,113	5,132	4,934	123,051	2.32
30 (2018)	53,046	18,029	30,196	10,972	14,018	5,206	4,821	122,524	2.31
31 (2019)	53,065	18,156	30,202	11,010	13,918	5,274	4,707	121,961	2.30
32 (2020)	53,053	18,270	30,189	11,037	13,814	5,338	4,594	121,356	2.29
33 (2021)	52,949	18,348	30,096	11,013	13,696	5,387	4,505	120,706	2.28
34 (2022)	52,853	18,440	30,000	11,003	13,559	5,437	4,413	120,018	2.27
35 (2023)	52,739	18,524	29,896	10,995	13,418	5,483	4,319	119,307	2.26
36 (2024)	52,606	18,598	29,784	10,987	13,276	5,522	4,223	118,578	2.25
37 (2025)	52,439	18,648	29,664	10,973	13,132	5,558	4,127	117,824	2.25
38 (2026)	52,214	18,664	29,496	10,929	12,988	5,579	4,053	117,039	2.24
39 (2027)	51,989	18,687	29,324	10,891	12,827	5,605	3,979	116,216	2.24
40 (2028)	51,755	18,708	29,145	10,855	12,664	5,626	3,902	115,378	2.23
41 (2029)	51,501	18,716	28,961	10,815	12,500	5,646	3,824	114,522	2.22

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（平成20年3月推計）

## 2. 諸外国の消費動向

■世界の牛乳・乳製品の消費動向を見てみる。米国農務省によると、北米・南米・EU・アジア等の諸外国の牛乳の消費量は、2013年は1億7553万トンとなるものと予測しており、2009年から5.8%増になる模様。同様にチーズの消費量は2009年⇒2013年で7.1%増、2013年は1705.8万トンと予測。バターは2009年⇒2013年で14.7%増、2013年は865.1万トンと予測。世界的な視点で見ると、牛乳・乳製品の消費量は増加傾向にある。

【図表Ⅷ-2-1】世界の牛乳の消費量

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
※単位:千トン						
<b>North America</b>						
Canada	3,103	3,184	3,164	3,040	3,014	3,000
Mexico	5,206	5,167	4,100	4,168	4,171	4,209
United States	28,550	28,896	28,281	28,769	28,884	29,121
Sub-total	36,859	37,247	35,545	35,977	36,069	36,330
<b>South America</b>						
Argentina	2,100	2,130	2,093	2,133	2,155	2,200
Brazil	10,895	11,278	11,429	11,712	12,000	12,415
Sub-total	12,995	13,408	13,522	13,845	14,155	14,615
<b>European Union</b>	<b>33,700</b>	<b>33,738</b>	<b>33,870</b>	<b>33,800</b>	<b>33,500</b>	<b>33,400</b>
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	12,114	11,775	11,650	11,040	10,615	10,640
Ukraine	3,483	5,342	5,442	5,588	5,667	5,692
Sub-total	15,597	17,117	17,092	16,628	16,282	16,332
<b>South Asia</b>						
India	48,160	49,140	51,660	52,000	54,400	57,460
<b>Asia</b>						
China	11,791	12,060	12,600	13,517	14,350	15,460
Japan	4,264	4,150	4,058	4,045	3,950	3,950
Sub-total	16,055	16,210	16,658	17,562	18,300	19,410
<b>Oceania</b>						
Australia	2,272	2,284	2,422	2,511	2,525	2,550
New Zealand	300	300	300	275	300	300
Sub-total	2,572	2,584	2,722	2,786	2,825	2,850
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>165,938</b>	<b>169,444</b>	<b>171,069</b>	<b>172,598</b>	<b>175,531</b>	<b>180,397</b>

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2013、2013年:Preliminary、2014年:Forecast.

【図表Ⅷ-2-2】世界のチーズの消費量

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
※単位:千トン						
<b>North America</b>						
Canada	318	318	313	537	560	565
Mexico	311	338	344	349	366	366
United States	4,540	4,638	4,716	4,788	4,851	4,939
Sub-total	5,169	5,294	5,373	5,674	5,777	5,870
<b>South America</b>						
Argentina	495	490	514	513	518	528
Brazil	624	666	715	724	751	762
Sub-total	1,119	1,156	1,229	1,237	1,269	1,290
<b>European Union</b>	<b>8,245</b>	<b>8,367</b>	<b>8,374</b>	<b>8,444</b>	<b>8,450</b>	<b>8,500</b>
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	690	780	759	792	789	798
Ukraine	160	144	117	95	105	113
Sub-total	850	924	876	887	894	911
<b>Asia</b>						
Japan	229	247	260	282	290	295
Korea	72	88	101	101	112	113
Sub-total	301	335	361	383	402	408
<b>Oceania</b>						
Australia	220	225	256	240	232	248
New Zealand	24	24	30	32	34	35
Sub-total	244	249	286	272	266	283
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>15,928</b>	<b>16,325</b>	<b>16,499</b>	<b>16,897</b>	<b>17,058</b>	<b>17,262</b>



【図表Ⅷ-2-3】世界のバター消費量

※単位：千トン

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
<b>North America</b>						
Canada	96	90	96	97	95	95
Mexico	224	231	222	226	238	238
United States	694	683	757	793	780	809
Sub-total	1014	1,004	1,075	1,116	1,113	1,142
<b>South America</b>						
Argentina	34	37	35	38	40	40
Brazil	81	75	78	80	82	84
Sub-total	115	112	113	118	122	124
<b>European Union</b>						
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	349	319	330	335	348	348
Ukraine	90	84	78	96	101	105
Sub-total	439	403	408	431	449	453
<b>Asia</b>						
India	3,910	4,170	4,320	4,525	4,736	4,876
Japan	74	86	83	77	72	74
Taiwan	14	16	18	18	19	19
Sub-total	3,998	4,272	4,421	4,620	4,827	4,969
<b>Oceania</b>						
Australia	60	73	78	82	85	86
New Zealand	20	20	20	21	22	22
Sub-total	80	93	98	103	107	108
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>7,540</b>	<b>7,818</b>	<b>8,097</b>	<b>8,419</b>	<b>8,651</b>	<b>8,831</b>

※米国農務省「World Markets and Trade」 July 2012

■1人あたりの牛乳・乳製品の供給量を見ると（国際連合のデータベース「FAOSTAT」）、全世界では増加の傾向が見られる。日本では、特に牛乳・チーズの供給量が減少傾向にあり、今後、人口減少・少子高齢化が進行することが予想される中、さらに減少することと思われる。

【図表Ⅷ-2-4】世界の牛乳・チーズ・バター、1人1日あたりの供給量

牛乳

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	136.32	136.60	136.22	138.15	136.39	133.14	131.04	132.57	134.00	127.00	100.0
World + (Total)	122.79	124.26	121.48	124.14	127.99	130.13	131.99	137.29	137.00	139.00	109.4
Europe + (Total)	260.18	258.05	256.62	254.25	256.76	260.98	247.71	254.62	245.00	250.00	196.9
European Union + (Total)	228.05	223.71	232.75	224.09	225.35	221.60	212.02	213.83	214.00	208.00	163.8
Americas + (Total)	265.75	276.97	259.89	259.49	269.30	262.84	262.49	280.04	267.00	270.00	212.6
Asia + (Total)	74.31	74.46	74.23	79.14	83.36	87.97	93.06	96.49	99.00	101.00	79.5
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	89.46	90.81	92.55	94.45	93.71	93.42	99.29	101.93	117.00	118.00	92.9

チーズ

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	7.13	6.99	7.00	6.80	7.34	7.14	7.09	7.49	7.00	7.00	100.0
World + (Total)	7.32	7.47	7.54	7.56	7.61	7.70	7.69	7.77	8.00	8.00	114.3
Europe + (Total)	30.47	32.05	32.73	33.16	33.62	34.58	35.24	36.16	36.00	36.00	514.3
European Union + (Total)	41.40	42.75	43.14	43.05	43.39	44.11	44.90	45.85	45.00	45.00	642.9
Americas + (Total)	18.55	18.57	18.55	18.40	18.45	18.50	18.25	18.43	19.00	19.00	271.4
Asia + (Total)	1.08	1.07	1.07	1.07	1.19	1.21	1.19	1.22	1.00	1.00	14.3
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.40	2.37	2.49	2.74	2.58	2.54	2.53	2.64	3.00	3.00	42.9

バター

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	1.90	1.73	1.88	2.00	1.86	1.93	1.83	1.92	2.00	2.00	100.0
World + (Total)	3.28	3.36	3.45	3.50	3.52	3.55	3.61	3.60	4.00	4.00	200.0
Europe + (Total)	9.65	9.71	9.75	9.91	9.44	9.35	9.76	9.41	9.00	9.00	450.0
European Union + (Total)	11.46	11.21	11.14	11.18	10.93	10.88	11.23	10.81	10.00	10.00	500.0
Americas + (Total)	3.04	3.03	3.08	3.08	3.20	3.07	3.01	3.00	3.00	3.00	150.0
Asia + (Total)	2.50	2.66	2.81	2.86	3.00	3.09	3.16	3.25	3.00	3.00	150.0
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.18	2.13	2.18	2.22	2.18	2.23	2.17	2.17	2.00	2.00	100.0

※項目：Food supply quantity(単位：grams/capita/day)

※出典：FAOSTAT | © FAO Statistics Division

**調查票、參考資料**

## 牛乳・乳製品の消費に関するアンケート

### ■ ■ ■ ご記入にあたって ■ ■ ■

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に（1つだけ○印）とあれば「1つだけ」、（いくつでも○印）とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印（→）や【 】の指示に従ってお進みください。

### ■ ■ ■ 白もの牛乳類（注）についてお聞きします。 ■ ■ ■

（注）ここでいう白もの牛乳類とは、生乳100%の普通の牛乳や、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒーストック牛乳やフルーツ牛乳などは含まれません。

#### 【全ての方に】

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒーストック、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。  
ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。（1つだけ○印）

- |               |             |             |             |             |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日飲む       | 2. 週に5～6日飲む | 3. 週に3～4日飲む | 4. 週に1～2日飲む | 5. 月に2～3日飲む |
| 6. それ以下しか飲まない | 7. 全く飲まない   |             |             |             |

### ■ ■ ■ 白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします。 ■ ■ ■

#### 【全ての方に】

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。  
コーヒーストックなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。  
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含まれます。

	そのまま飲む						
	毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全 く 飲 ま ない
（それぞれ1つずつ○印） →							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

#### 【全ての方に】

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒーストック、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

	他のものと混ぜて飲む						
	毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全 く 飲 ま ない
（それぞれ1つずつ○印） →							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

白もの牛乳類を全く飲まない方（問1で「7」とお答えの方）は、問7にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。夏場、冬場、年間平均でお知らせください。コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	1日に白もの牛乳類を飲む量							
	50 ml 未 満	50 ml く ら い	100 ml (牛 乳 ビ ン 半 分 )	200 ml (牛 乳 ビ ン 1 本 )	400 ml (牛 乳 ビ ン 2 本 )	600 ml (牛 乳 ビ ン 3 本 )	800 ml (牛 乳 ビ ン 4 本 )	1 ℓ (牛 乳 ビ ン 5 本 ) 以 上
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7	8
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7	8

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問5 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。(いくつでも○印)

1. 朝、起きぬげに	7. おやつや、間食時	13. 勉強や仕事をしながら
2. 朝食をとりながら	8. 夜食時	14. レジャーやスポーツ時
3. 朝食後	9. 風呂上り	15. くつろいでいる時
4. 朝食代わりに	10. 夜寝る前	16. 乗り物での移動中
5. 昼食時	11. のどが渇いた時	17. 来客時
6. 夕食時	12. ちょっとおなかはずいた時	18. その他( )

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問6 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1. おいしいから	12. 良質のタンパク質があるから
2. 好きだから	13. 美容によいから
3. 栄養があるから	14. 便秘に効果があるから
4. カルシウムがあるから	15. 健康によいから
5. 朝食など食事代わりに	16. ぐっすり眠るために
6. 水などの代わりに	17. 気持ちをリラックスさせるために
7. 他のものと混ぜたり、他のものにかけてりするため	18. 背が高くなりたいから
8. 習慣で	19. 医師など医療関係者がすすめるから
9. いつも家にあるから	20. 他の飲み物に比べて安いから
10. 家族がすすめるから	21. その他( )
11. 骨粗しょう症が心配だから	

■■■この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア)そのまま飲む場合、(イ)混ぜて飲む場合、(ウ)全体では、それぞれについてお知らせください。

	非飲 むに 量 増 え た	や飲 む 増 え が た	変 わ ら な い	や飲 む 減 つ が た	非飲 むに 量 減 つ た	飲こ まの 1年 間位 で全 く	飲牛 乳は もも と
	ア) そのまま飲む場合	1	2	3	4	5	6
イ) 混ぜて飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 全体では	1	2	3	4	5	6	7

問7の(ウ)で「1」「2」「3」とお答えの方  
全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方  
⇒問9へ

問7の(ウ)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方  
全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方  
⇒問8へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問7の(ウ)で4、5、6、7」とお答えの方)に】

問8 次のア)～ソ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	あてはまらない
ア)	牛乳は味にクセがあるから	1	2	3	4	5
イ)	牛乳のニオイが嫌いだから	1	2	3	4	5
ウ)	牛乳は飲んだあと口に残るから	1	2	3	4	5
エ)	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから	1	2	3	4	5
オ)	牛乳を飲むと太ると思うから	1	2	3	4	5
カ)	牛乳はコレステロールが気になるから	1	2	3	4	5
キ)	牛乳は日持ちしないから	1	2	3	4	5
ク)	牛乳は持ち歩けないから	1	2	3	4	5
ケ)	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから	1	2	3	4	5
コ)	飲みたい牛乳がないから	1	2	3	4	5
サ)	牛乳が体によくないという情報を本などで得たから	1	2	3	4	5
シ)	医者に言われたから	1	2	3	4	5
ス)	牛乳アレルギーがあるから	1	2	3	4	5
セ)	不景気の影響で牛乳を買い控えるようになったから	1	2	3	4	5
ソ)	いつもの年より夏が暑かったから	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問9 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選び下さい。（1つだけ○印）

1. とても飲みたい	2. まあ飲みたい	3. どちらともいえない	4. あまり飲みたいくない	5. 全く飲みたいくない
------------	-----------	--------------	---------------	--------------

■■■白もの牛乳類の購入についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問10 お宅では、ふだん白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。（1つだけ○印）

1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回位	3. 週に1回位	4. 2週間に1回位	5. 月に1回位
6. ほとんど買わない	7. わからない			

【全ての方に】

問11 お宅では、平均すると1週間に白もの牛乳類をどのくらい購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。  
下記の記入例に従い、リットルを単位として小数点以下1位までお答えください。なお、白もの牛乳類を全く買わない場合は「0」とお書きください。わからない場合は、「\*わからない」をお選びください。

<記入例>

1週間に1リットルパックを2本と200ml瓶を3本買っている場合(100mlは0.1リットルです)

約   リットル

1週間に購入する量の合計 → 約    リットル

\*わからない

【全ての方に】

問12 お宅では、ふだんあなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。  
(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他( )
-----------	------------------	-----------

⇒ 「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒ 「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問16へ

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)

1. 購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	4. 牛乳以外の飲み物を購入し、代用するようになった
2. 牛乳を購入する頻度を減らした	5. これまでと変わらない
3. 1回に購入する牛乳の量を減らした	6. いずれもあてはまらない

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問14 あなたがふだん主に購入している白もの牛乳は、次のどれですか。(1つだけ○印)

1. 生乳100%の普通の牛乳	⇒問16へ	2. 成分調整牛乳	⇒問15へ
3. 低脂肪牛乳	⇒問15へ	4. その他の白もの牛乳	⇒問16へ

【問14で「2 成分調整牛乳」または「3 低脂肪牛乳」とお答えの方に】

問15 あなたはどのような理由で成分調整牛乳または低脂肪牛乳を購入していますか。

次のア～エ)のそれぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	いどちらもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(それぞれ1つずつ○印) →						
ア)	普通牛乳よりも価格が安いので	1	2	3	4	5
イ)	味が普通牛乳よりも好みなので	1	2	3	4	5
ウ)	普通牛乳より脂肪分が少なく体に良さそうなので	1	2	3	4	5
エ)	値段の割には普通牛乳と変わらないので	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問16-1 平成25年10月から、牛乳販売価格が値上げになったことを知っていますか。(1つだけ○印)

1. 値上げとその理由を知っている	2. 値上げを知っているが、その理由は知らない	3. 値上げを知らない
-------------------	-------------------------	-------------

※値上げの背景

昨年の米国における大干ばつによるトウモロコン価格の高騰に加え、年末から急速に進行した円安の影響により配合飼料価格など生乳生産に係るコストが上昇し、酪農家の経営が悪化しています。

このため、今年7月、10月出荷分から乳業メーカーが酪農家に支払う飲用牛乳向け乳価が引き上げられるとともに、10月から牛乳販売価格が引き上げられることが決定しました。

問16-2 牛乳販売価格が値上げになった場合、購入しますか(1リットルパックの場合。1つだけ○印)

1. 1～5円の値上げまでならこれまでどおり購入する	4. 16～20円の値上げまでならこれまでどおり購入する
2. 6～10円の値上げまでならこれまでどおり購入する	5. 値上げ幅(21円以上の値上げ)にかかわらずこれまでどおり購入する
3. 11～15円の値上げまでならこれまでどおり購入する	6. 値上げ幅にかかわらず購入を控えるか購入をやめる

■■■ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問17 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問18 では、あなたは、問17でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

		問17 ふだんよく飲む (いくつでも ○印)	問18 最もよく飲む (1つだけ○印)
ア)	白もの牛乳類	1	1
イ)	色もの乳飲料(いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	2	2
ウ)	ドリンクヨーグルト	3	3
エ)	乳酸菌飲料(ヤクルトなど)	4	4
オ)	果汁飲料	5	5
カ)	野菜ジュース	6	6
キ)	豆乳	7	7
ク)	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	8	8
ケ)	コーヒー(コーヒー飲料も含む)	9	9
コ)	紅茶(紅茶飲料も含む)	10	10
サ)	無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	11	11
シ)	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	12	12
ス)	栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)	13	13
セ)	ミネラルウォーター	14	14
ソ)	この中にはない	15	-

■■■牛乳を使った料理(デザートやお菓子を含む)についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問19 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理(デザートやお菓子を含む)をしましたか。(1つだけ○印)

1. した ⇒問19-1へ      2. しなかった ⇒問20へ

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数 →   回

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

- |              |               |              |            |
|--------------|---------------|--------------|------------|
| 1. シチュー      | 5. オムレツ、オムライス | 9. ケーキ       | 13. プリン    |
| 2. スープ、ポタージュ | 6. ハンバーグ      | 10. パン       | 14.ゼリー     |
| 3. グラタン      | 7. フレンチトースト   | 11. 手作りヨーグルト | 15. 杏仁豆腐   |
| 4. カレー       | 8. ホットケーキ     | 12. 牛乳寒天     | 16. その他( ) |

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-3 この1ヶ月間にあなたが料理(デザートやお菓子を含む)に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。(1つだけ○印)

- |                  |                |                  |                   |
|------------------|----------------|------------------|-------------------|
| 1. 小さじ1杯くらい(5ml) | 2. 大さじ1杯(15ml) | 3. 4分の1カップ(50ml) | 4. 2分の1カップ(100ml) |
| 5. 1カップ(200ml)   | 6. 2カップ(400ml) | 7. 500ml         | 8. 1ℓ以上           |

■■■ヨーグルトについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問20 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

1. 毎日食べる/飲む	2. 週に5~6日食べる/飲む	3. 週に3~4日食べる/飲む
4. 週に1~2日食べる/飲む	5. 月に2~3日食べる/飲む	6. それ以下しか食べない/飲まない
7. 全く食べない/飲まない ⇒問23へ		

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】

問21 あなたが、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。(1つだけ○印)

1. 50g未満	2. 50gくらい	3. 100gくらい	4. 150gくらい	5. 200gくらい
6. 250gくらい	7. 300gくらい	8. 400g以上		

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】

問22 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

1. プレーンヨーグルト(無糖)	4. ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	7. その他( )
2. 加糖のヨーグルト	5. 手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	
3. 果肉フルーツ入りのヨーグルト	6. フローズンヨーグルト	

■■■チーズについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問23 あなたは、日頃どの程度チーズを食べていますか。(1つだけ○印)

1. 毎日食べる	2. 週に5~6日食べる	3. 週に3~4日食べる
4. 週に1~2日食べる	5. 月に2~3日食べる	6. それ以下しか食べない/飲まない
7. 全く食べない ⇒問25へ		

【チーズを食べる方(問22で「1~6」とお答えの方)に】

問24 あなたは、チーズを食べるときは、1日に合計でどのくらいの量になりますか。市販のスライスチーズ1枚が約20gです。(1つだけ○印)

1. 10g未満	2. 10gくらい	3. 20gくらい	4. 30gくらい	5. 40gくらい
6. 50gくらい	7. 60gくらい	8. 70g以上		

【全ての方に】

問25 あなたは、この1ヶ月間にチーズ料理を食べましたか。(1つだけ○印)

1. 食べた ⇒問25-1へ	2. 食べなかった ⇒問26へ
----------------	-----------------

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問25-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
--------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問25-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. ピザ	4. ハンバーグ	7. サラダ	10. ケーキ
2. グラタン	5. シチュー	8. サンドウィッチ	11. その他( )
3. パスタ	6. カレー	9. パン	

【全ての方に】

問26 お宅では、ふだんあなたがチーズを購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他( )
-----------	------------------	-----------

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問27へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問30へ

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問27-1 あなたは、どのようなタイプのチーズを購入しますか。(いくつでも○印)

1. ブロックタイプ(固形)	4. ダイスチーズ(サイコロ状)	7. その他( )
2. スライスチーズ(薄切りタイプ)	5. 粉チーズ	
3. シュレッドチーズ(細かく切ったタイプ)	6. クリームチーズ	



問27-2 あなたは、「ナチュラルチーズ」「プロセスチーズ」の違いについて、ご存じですか。(1つだけ○印)

※「ナチュラルチーズ」とは、加熱処理を加えず、チーズ中にある乳酸菌や酵素、熟成目的に添加したカビ等がそのまま残っているチーズです。一方、「プロセスチーズ」は、数種類のチーズを混合し、加熱溶解し、殺菌した後成型したものです。

- |          |              |           |
|----------|--------------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 何となく知っている | 3. 知らなかった |
|----------|--------------|-----------|

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問28 あなたが購入するチーズは、ナチュラルチーズですか、プロセスチーズですか。(1つだけ○印)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ほとんどナチュラルチーズ(8割以上) | 4. ほとんどプロセスチーズ(8割以上) |
| 2. ナチュラルチーズが多い(6~7割)  | 5. プロセスチーズが多い(6~7割)  |
| 3. 半々くらい              | 6. わからない             |

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問29 あなたは、普段チーズを購入する時にどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1. 国産のチーズを購入するようにしている  | * その理由<br>( ) |
| 2. 外国産のチーズを購入するようにしている |               |
| 3. 生産国は意識していない         |               |
| 4. その他( )              |               |

⇒「1 国産のチーズを購入するようにしている」を選んだ方は問29-1へ

問29-1 あなたは、国産のチーズを購入するときどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 1. 大手メーカーの製品を購入するようにしている | * その理由<br>( ) |
| 2. 小さな工房の製品を購入するようにしている  |               |
| 3. メーカーの規模は意識していない       |               |
| 4. その他( )                |               |

■■■健康や食生活についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問30 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)  
 (2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

	↓	(1) この半年位の間に 見たり、聞いたり したもの (いくつでも○印)	(2) 「そういうよいこと があるなら飲んでも よい」と 思うもの (いくつでも○印)
ア) 牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている		1	1
イ) 牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める		2	2
ウ) 牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある		3	3
エ) 牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる		4	4
オ) 牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける		5	5
カ) 牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある		6	6
キ) 牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる		7	7
ク) 牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる		8	8
ケ) 牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ		9	9
コ) 牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある		10	10
サ) 牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい		11	11
シ) 牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている		12	12
ス) ひとつもない		13	13

■■■■あなたご自身についてお知らせください。統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。■■■■

【全ての方に】

F 1 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 年齢

	才
--	---

F 3 あなたは結婚されていますか。(1つだけ○印)

1. 未婚	2. 既婚	3. その他
-------	-------	--------

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

自営・家族従業 勤め	1. 農林漁業	2. 商工サービス業	3. 自由業	4. 内職
	5. 管理職	6. 専門・技術職	7. 事務職	8. 労務職
無職	9. 販売・サービス職	10. パート・アルバイト	11. 専業主婦	12. 中学生
	13. 高校生	14. 中高生以外の学生	15. 無職	

【学生および有職の方（F 5で「1～3、5～10、12～14」とお答えの方）へ】

F 5-1 あなたの学校や職場では、給食や食堂がありますか。(1つだけ○印)

1. 給食がある	2. 給食はないが学校や職場の食堂を利用している	3. どちらもない
----------	--------------------------	-----------

【全ての方に】

F 6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1. 1人(ひとり暮らし)	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人	7. 7人以上
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1. 料理をする	2. 食料品の買物をする	3. どちらもしていない
----------	--------------	--------------

【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。(1つだけ○印)

1. 夫婦2人	2. 二世帯世帯(親と子)	3. 三世帯世帯(親、子、孫)	4. その他( )
---------	---------------	-----------------	-----------

【F 8で「2、3、4」とお答えの方に】

F 9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。※ご本人は含めません。(いくつでも○印)

1. 乳児・幼児	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生	5. 大学・短大・専門学校生
6. この中にはいない				

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

【調査員記入欄】

エリア		都道府県名	市区町村名
1. 北海道	6. 近畿	都 道 府 県	
2. 東北	7. 中国		
3. 関東・甲信	8. 四国		
4. 東海	9. 九州		
5. 北陸			

調査実施(依頼)日	月 日
-----------	-----

担当調査員(カタカナ)	
-------------	--

参考資料

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア)そのまま飲む場合、(イ)混ぜて飲む場合、(ウ)全体では、それぞれについてお知らせください。

(1)そのまま飲む場合

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2013	3200	0.3	3.6	63.0	6.0	3.8	1.2	22.2	
2012	3200	0.5	3.9	63.1	5.1	3.8	1.0	22.6	
2011	3200	0.6	3.9	65	5.8	4.5	2	18	0.2
2010	3200	1.8	4.7	59.6	7.7	6.2	2.8	14.9	2.3
2008	3200	1.7	5	60.7	8.5	5	2.8	14.3	2.0
2007	3486	1.7	5.9	60.2	9.2	4.9	2.4	14.6	1.1

(2)混ぜて飲む場合

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2013	3200	0.6	6.0	56.5	3.7	2.8	1.4	29.1	
2012	3200	0.8	5.9	53.7	3.4	2.8	1.2	32.0	
2011	3200	0.7	5.2	65.8	4.1	3.1	2.2	18.8	0.1
2010	3200	2.5	8.3	58.2	5.2	4.4	3.9	14.5	3.0
2008	3200	2.3	7.4	59.4	4.9	3.1	3.4	15.4	4.1
2007	3486	1.9	8.4	58.4	5.1	3.3	3.2	15.9	3.9

(3)全体

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2013	3200	0.5	6.3	67.6	5.9	3.6	1.0	15.0	
2012	3200	0.7	6.1	68.2	5.5	3.4	0.8	15.3	
2011	3200	0.7	5.5	68.1	6.6	3.6	1.6	13.7	0.2
2010	3200	2.0	8.5	62.0	7.6	5.5	1.7	11.3	1.4
2008	3200	1.8	7.7	65.5	7.8	3.9	1.6	10.5	1.1
2007	3486	1.7	8.3	63.6	8.6	4.1	1.2	10.8	1.6

問8 次のア)～ソ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

(%)

	n数	牛乳は味にクセがある	牛乳のにおいが嫌い	牛乳は飲んだあと口に残る	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる	牛乳を飲むと太ると思う	牛乳はコレステロールが気になる	牛乳は日持ちしない	牛乳は持ち歩けない	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない	飲みたい牛乳がない	牛乳が体によくないという情報を本などで得た	医者に言われた	牛乳アレルギーがある	不景気の影響で牛乳を買い控えるようになった	いつもの年より夏が暑かった
2013	787	40.9	39.1	39.1	40.5	6.5	8.9	14.1	17.2	9.8	13.8	5.9	3.6	5.0	2.0	4.2
2012	763	40.3	40.0	37.4	44.0	7.4	10.7	12.4	13.2	6.0	10.3	4.5	3.6	6.0	2.8	2.6
2011	785	38.2	35.6	36.8	38.4	8.1	11.3	13.3	14.2	10.2	12.6	5.9	3.8	4.9	3.8	3.1
2010	807	29.7	27.1	31.5	34.6	6.8	8.5	15.1	16.6	9.5	11.3	6.3	3.7	3.9	5.4	4.5
2008	741	29.3	27.6	32	37.2	10.5	12.6	16.1	18.8	10.6	12.8	6.9	3.5	4.9	8.7	—

問 13 では、この1年くらいの中に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)  
(%)

年次	n数	購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	牛乳を購入する頻度を減らした	1回に購入する牛乳の量を減らした	牛乳以外の飲物を購入、代用する	これまでと変わらない	いずれもあてはまらない	無回答
2013	1158	6.1	1.9	1.1	2.1	84.6	4.0	0.2
2012	1137	5.6	1.9	1.0	2.2	83.8	5.4	0.0
2011	1138	7.4	2.5	2.3	2.5	80.2	5.1	0.0
2010	1167	10.5	3.1	1.8	3.7	77.3	3.3	0.4

問 19-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)  
(%)

年次	n数	シチュー	スープ、ポタージュ	グラタン	カレー	オムレツ、オムライス	ハンバーグ	フレンチトースト	ホットケーキ	ケーキ	パン	手作りヨーグルト	牛乳寒天	プリン	ゼリー	杏仁豆腐	その他	無回答
2013	815	74.1	26.0	31.3	17.3	18.1	20.2	17.7	34.4	8.2	6.0	4.5	4.2	5.5	1.9	1.6	6.4	0.0
2012	738	57.6	23.9	30.1	19.8	16.9	18.8	13.5	30.7	9.5	5.3	5.3	4.9	5.1	1.9	4.0	9.0	0.0
2011	822	65.3	22.4	33.6	18.6	15.6	18.6	12.0	28.8	8.7	5.7	6.5	4.4	7.1	2.0	2.2	8.2	0.4
2010	952	63.3	23.3	30.2	16.3	17.2	21.3	12.2	36	6.8	5.6	6.4	6.1	7.5	2.4	1.9	7.6	0.1